平成26年度

年次報告書

公益財団法人　ヤマト福祉財団

目　　次

1．平成26年度事業報告書 ……1
平成26年度中に実施した助成事業
Ⅰ．障がい者に対する奨学金の支給
Ⅱ．ジャンプアップ助成金
ジャンプアップ助成金贈呈施設の報告
Ⅲ．ステップアップ助成金
Ⅳ．障がい者福祉助成金
平成26年度障がい者の働く場パワーアップフォーラム実施報告
平成26年度「夢へのかけ橋実践塾」実施報告
各塾活動報告（武田・新堂・亀井・楠元各塾）
実践塾成果 ―PDCA サイクルによる成果―
事業改革モデル化資金　助成先施設の報告
「収支管理システム」について
「障がい者のクロネコ DM便配達事業」進捗状況
「障がい者のクロネコ DM便配達事業」参入作業所一覧
2014年度「障がい者のクロネコ DM便配達実績」時系列集計表
経済的自立力達成事業所紹介サイト「夢へのかけ橋」開設報告
東日本大震災復興支援事業
2．平成26年度収支決算報告書 …… 93
貸借対照表
正味財産増減計算書
正味財産増減計算書内訳表
財務諸表に対する注記
財産目録
附属明細書
平成26年度事業報告　附属明細書
収支決算書
勘定明細表
監査報告書
3．財団主催の諸会議…… 111
4．寄付金寄贈者名簿…… 112
賛成会員数一覧
5．役員名簿…… 113
6．平成27年度事業計画 …… 117
同　　収支予算書 …… 119

平成26年度事業報告書

平成26年度事業報告書

（自・平成26年4月1日～至・平成27年3月31日）

1. 庶務事項

（1）財団設立年月日　平成5年9月10日

（2）基本財産（平成27年3月31日現在）

投資有価証券

ヤマトホールディングス株式会社（株式）

3,575,900株　9,912,394,800円

（3）役員等（平成27年3月31日現在）

①理事長	1名
②理事	8名
③監事	2名
④評議員	8名
⑤福祉助成金選考委員	5名
⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員	5名
⑦「東日本大震災生活・産業基盤復興再生募金」復興支援選考委員	5名

（4）賛助会員（平成27年3月31日現在）

個人会員	65,258人

（5）事務局

①常務理事	1名
②事務局長	1名
③職員	2名

2. 事業の概要

（1）はじめに

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」と実践塾を連動させた「夢へのかけ橋プロジェクト」は、2年目に入りました。パワーアップフォーラムは、夢へのかけ橋プロジェクトの“入口”と位置付け、「経済的自立力を備えた新しい福祉」を講座や事例報告、シンポジウムを交えて開催し、東京、大阪の2か所で387名が受講しました。

また、フォーラム参加者から公募した「夢へのかけ橋」実践塾は、今年新たに弁当・配食事業に特化した実践塾を立ち上げ、4塾52名が経済的な自立力を備えた新しい福祉を実践しています。

福祉助成金は、本年度も経済的な自立力を備えた新しい福祉を実現するための給料増額支援助成金と、会議・研修・出版などの福祉助成金の2種類を設定しています。給料増額支援助成金のうち、上限500万円を助成するジャンプアップ助成金は、3回目の公募となり、10件に対して助成を完了しました。

また、ヤマト運輸㈱の協力を得て実施している「障がい者のクロネコメール便配達事業」は、全国323事業所で1,651名が従事し、社会福祉法人ヤマト自立センターは、平成27年3月までに事業開始累計116名の一般就労実績となっています。

東日本大震災生活産業基盤復興・再生募金は、平成27年3月31日現在、31件全件について総額124億1849万円の助成金を払い込み、口座を閉じました。現地の事業の進行状況を随時ホームページ・財団ニュース・出版で広報し、最後まで「見える支援」に努めています。

（公1）助成事業

①奨学金

平成26年3月1日から4月25日まで応募書類請求期間、同年5月7日から5月23日を申請期間とし48

名の応募がありました。選考委員会で16名を選考追加して、40名の奨学生に奨学金を提供しています。
（所属校別の一覧は、P.6を参照）

②助成金

今年度も、昨年に引き続き助成金事業を障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額助成金」と一般的な福祉助成金の２つに分け、「障がい者給料増額助成金」の中に、ジャンプアップ助成金（上限500万円）・ステップアップ助成金（上限100万円）の2種の助成金を設定しました。

平成25年12月1日から12月31日までを公募期間として、144件の応募があり、平成26年3月20日に選考委員会を実施、同年4月から5月にかけて各支部毎にヤマト運輸（株）の協力を得ながら贈呈式を行いました。

助　成　部　門	応募	決定	決定金額
①ジャンプアップ助成金（上限500万円）	23件	10件	49,800千円
②ステップアップ助成金（上限100万円）	34件	29件	26,010千円
小　　計		39件	75,810千円
③福祉助成金（会議・出版・文化・スポーツ）	87件	15件	12,470千円
合　　計		54件	88,280千円

（公２）研修・育成事業

①セミナー事業「障害者の働く場パワーアップフォーラム」

対象者を施設職員から障がい者の働く場に関心のある方とし、日帰り形式の研修を実施した。全国2箇所で387名が参加し、これまでのセミナー受講者と合わせ累計8,528名となりました。

受講者数

開催地	会場	開催日	参加人数
前年までの累計			8,141
東京	全社協・灘尾ホール	7月11日	199
大阪	大阪国際会議場	7月25日	188
合　　計			387
本年累計			8,528

（講座・講師・実施報告は、P24 ～ 25を参照）

②雇用・促進事業

「障がい者によるクロネコメール便配達事業」は、全国323事業所で1,651人の障がい者が配達を行っています。また、社会福祉法人ヤマト自立センター　スワン工舎新座・羽田クロノゲートの就労移行支援事業では、今期14名累計116名が一般就労しました。平成23年に立ち上げた就業・生活支援事業では今期は31名の登録者に対して就労支援・就労先での定着支援・金銭管理や一人暮らしなどの生活支援を行い、実習43名、就業者28名の実績をあげました。また、就労につながった方々との結びつきを図るため第7回スワン工舎卒業者の集いを開催しました。

③夢へのかけ橋実践塾

小倉昌男賞受賞者によるプロジェクトとして平成22年より始まった「受賞者リーダープロジェクト」は、「夢へのかけ橋実践塾」と名を変え、前年度よりパワーアップフォーラムと一体化した「夢へのかけ橋プ

ロジェクト」のひとつとして始まりました。昨年の武田　元氏（第3回受賞者）亀井　勝氏（第7回受賞者）新堂　薫氏（第8回受賞者）をリーダーとする3つの塾に加えて、本年は楠元洋子氏（第14回受賞者）を塾長とする弁当・配食サービスに特化した実践塾を公募し、3月末現在、52名が参加して半年に一度の間隔で実践塾を開催し、PDCAサイクルをかけています。また、塾生が申請して活用する事業改革モデル化資金については、塾長による書類審査を経て決裁し、事業改革モデルづくりを行っています。また、8月よりクラウド型会計管理システムを稼働させて、塾生が売上や経費を管理できるようにしました。このシステムについては、フォーラム参加者で利用を希望した施設にも無償で提供しています。（実践塾の実施報告・事業改革モデル化資金等P26 ～ 62参照）

（公３）表彰事業

障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、本年もヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。7月1日から9月15日まで公募を行い、10月16日の選考委員会で、北海道新得町の宮嶋　望氏と愛媛県松山市の佐伯康人氏に受賞が決定しました。また、贈呈式は12月4日に一般社団法人日本工業倶楽部にて、各界の方々やヤマトグループ役員、ヤマトグループ企業労働組合連合会役員をお迎えし開催いたしました。

（公４）広報・啓発等事業

①広報事業

財団ニュースを第42号から第45号まで年4回発行し「コラボメール便」としてヤマトグループ健康保険組合と共同で社員自宅まで配布しました。また、一般購読希望者1,157名と福祉施設作業所3,628箇所に無料配布を行いました。助成先や奨学生のレポートに加えて夢へのかけ橋プロジェクトの考え方を広げる紙面づくりを行ったほか東日本大震災復興支援に関しても事業の経過報告を増ページして行っています。

②事業モデル別実践事例サイトの構築・運用

小倉昌男賞や助成金の事例、実践塾の成果を資料化して福祉施設の経営者が施設の利用者増や工賃向上に役立つビジネスモデルを参照できる「経済的自立力達成事業所紹介サイト　夢へのかけ橋」をインターネット上に公開しました。このサイトでは、障害基礎年金と合わせて、年収112万円の貧困線※1を超えることの出来る工賃3万円を達成した事業所を経済的自立力達成事業所として紹介しています。（P76 ～ 77参照）

③啓発事業

障がい者本人によるクロネコメール便特別報告会を東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市の3箇所にて地元でお世話になっている方々を招待し、ミニ報告会を開催しました。

（公５）復興・再生支援事業

「東日本大震災生活・産業基盤復興再生募金」は、平成24年に「東日本大震災　復興支援選考委員会」で選考された31の事業に総額142億1,849万8,102円の助成金を払い込み、3月末現在、福島県楢葉町の「仮設校舎敷地造成工事仮設校舎設置事業」と「福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業」の2事業の完了を残すのみとなりました。各事業の取り組みについては、全てホームページにて公開しています。（P79 ～ 91参照）

3. 賛助会員の状況

当財団の母体であるヤマトホールディングス（株）とそのグループ会社で組織する賛助会員数は65,258人となっています。

※1　相対的貧困線について…OECDが決めた「相対貧困線」は、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割ったもの）の中央値の半分の金額のラインです。先進国では、単に必要最低限の衣食住が満たされても、それは貧困未満であるとして娯楽や嗜好品も加算しています。日本国の等価可処分所得の中央値は、国税庁の2009年国民生活基礎調査によると224万円で、相対的貧困線は112万円となります。

平成26年度中に実施した助成事業

Ⅰ．障がい者に対する奨学金の支給

◆**障がい者学生 40 名**

	大学名	学年	氏　名		大学名	学年	氏　名
1	佐賀大学	5 年生	吉田　　翔	21	大阪大学	3 年生	米田　　啓
2	大阪経済法科大学	4 年生	柏岡　翔太	22	愛知県立大学	2 年生	平尾　　梢
3	日本大学	4 年生	吉澤　千尋	23	東京国際大学	2 年生	南舘　和希
4	名古屋市立大学	4 年生	川島　　生	24	筑波技術大学	2 年生	杉　　夏彦
5	ルーテル学院大学	4 年生	森　　敦史	25	広島大学	2 年生	谷岡　憲太
6	東北大学	4 年生	佐々木　塁	26	鳥取大学	2 年生	西海　朱理
7	奈良教育大学	4 年生	畝岡　志保	27	和光大学	2 年生	松本　　葵
8	金沢大学	4 年生	永野　椎奈	28	鹿児島大学	2 年生	吉田　麻乃
9	奈良県立医科大学	4 年生	塩谷早紀子	29	長野大学	2 年生	細野　真衣
10	大東文化大学	4 年生	山岸　怜奈	30	熊本学園大学	2 年生	中野　睦子
11	熊本保健科学大学	3 年生	原口彩央里	31	立命館アジア太平洋	1 年生	川口　真実
12	神戸芸術工科大学	3 年生	長谷川沙英	32	久留米大学	1 年生	藤崎　大輝
13	はこだて未来	3 年生	水澤　吉博	33	国際基督教大学	1 年生	糸野　海生
14	筑波大学	3 年生	藤原　大輔	34	日本社会事業大学	1 年生	櫻井　未来
15	帝京科学大学	3 年生	唐家　華子	35	ルーテル学院大学	1 年生	中村ひとみ
16	慶應義塾大学	3 年生	木下　　昌	36	花園大学	1 年生	宇津木三徳
17	国立佐賀大学	3 年生	高橋　禎喜	37	関西福祉大学	1 年生	藤原　一成
18	富山大学	3 年生	高井　　稟	38	大阪教育大学	1 年生	山森　一希
19	桜美林大学	3 年生	油木　愛美	39	専修大学	1 年生	吉田　伸吾
20	下関市立大学	3 年生	宇都宮　諒	40	大東文化大学	1 年生	阿部有里香

Ⅱ.ジャンプアップ助成金

助成先

助成対象事業の内容および助成額

01 岩手県

NPO法人
イーハトーブとりもと

●真空煮炊き釜の購入資金
●助成金　4,800,000 円
レトルトカレー工場に短時間での生産が可能な真空煮炊き釜を導入し、売上を拡大

02 宮城県

NPO法人
きらら女川

●水産加工にかかる機器購入資金
●助成金　5,000,000 円
冷蔵・冷凍設備を導入し、原材料を大量買い付け。魚介類などの加工品を全国に販売

03 福島県

就労支援センター
未来工房

●『果実酒』醸造用設備購入資金
●助成金　5,000,000 円
ワイン（果実酒）の醸造を開始。いわき初のワイナリーとして、地域活性化への貢献も目指す

助成先

助成対象事業の内容および助成額

04 福島県

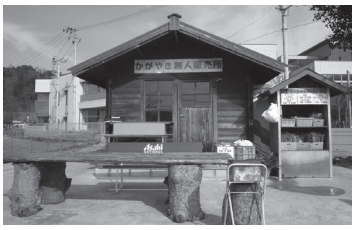
共働作業所
ピーターパン

●新規就労事業立ち上げに伴う、用途変更工事（厨房改修工事）費用
●助成金　5,000,000 円
仕出し弁当事業を開始。食品残渣や廃油も有効に活かし収益を向上

05 福島県

福祉サービス事業所
かがやき

●農産物直売所＆カフェレストラン新築工事資金
●助成金　5,000,000 円
売上好調な農耕班の農産物を室内作業班が直売、また調理することで給料を増額



06 新潟県

ワークセンター
あんしん

●きのこペレット燃料及び灰の運搬車輌購入資金
●助成金　5,000,000 円
市のバイオマス事業に参加。ペレット運搬車を導入し、販売実績を伸ばす

助成先

助成対象事業の内容および助成額

07 長野県

障害者就労継続支援
センター　わっこ

●型締力110 t プラスチック射出成形機、取出し機、購入資金
●助成金　5,000,000 円
新たに中型成形機と周辺機器、冷却装置を導入し、受注量と給料増大を図る

08 滋賀県

障害福祉サービス事業所
第二むつみ園

●クリーニング配送車購入資金
●助成金　5,000,000 円
配送車輌を増台し、新設される老人ホームへの配送を効率的に行い５万円台への給料増額を目指す

09 岡山県

NPO法人
ドリーム・プラネット

●ハウス温室新規設置のための資金
●助成金　5,000,000 円
花苗の栽培に適した専用のハウス温室を新設。高品質のポット花を生産し、数量・単価アップを図る

平成26年度
ジャンプアップ助成金
贈呈施設の報告

ジャンプアップ助成金は、利用者の給料増額を目標に事業計画を立てた事業所の中から選考を行い、上限500万円を助成します。その対象は平均給料月額２万円以上、総事業費500万円以上の事業を平成27年３月までに開始する事業所です。平成26年度は、九つの事業所に助成を行いました。

02 NPO法人　きらら女川

宮城県牡鹿郡女川町
鷲神浜字鷲神

●対象事業の事業内容：パン・菓子・かりんとう・水産加工・製造販売事業	●業態：食品加工
●助成内容　：水産加工にかかる機器購入資金	●助成金額：平成26年度ジャンプアップ助成金 500万円
●事業形態　：就労継続B型	●利用者種別：混合
●利用者合計人数（事業所全体）　：17人	●平成26（2014）年度月額平均給料（事業所全体）：36,190円
●事業所のある環境：宮城県東部牡鹿半島・女川に位置。被災により女川町の高台住宅地に移転。	
●ホームページ・連絡先等：宮城県牡鹿郡女川町鷲神浜字鷲神144-7	

月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		単月 平成27(2015)年3月	平成26(2014)年度	平成25(2013)年度
売上	対象事業	1,547,569	15,343,000	6,536,000
	その他	0	0	0
	合計	1,547,569	15,343,000	6,536,000
人数	対象事業	11	17	12
	その他	0	0	0
	合計	11	17	12
給料支給総額	対象事業	568,050	5,718,000	3,467,000
	その他	0	0	0
	合計	568,050	5,718,000	3,467,000
月額平均給料	対象事業	51,641	36,190	27,516
	その他			
事業所全体月額平均給料		**51,641**	**36,190**	**27,516**

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料･賃料
土地	賃貸（0）	0	
建物	購入	46,287	
設備	購入	19,203	
備品	購入	341	
その他	購入	0	
合計	—	**65,831**	**0**

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	5,831
借入金	3,000
ヤマト助成金	5,000
その他助成金	52,000
合計	**65,831**

町の象徴である水産加工で、名実ともに再生を

事業展開の経緯

◆ 事業所の再スタートに欠かせぬ水産加工事業

東日本大震災により甚大な被害を受けた土地の一つ、女川町は漁業で栄えた町です。津波によりすべてを失った「ＮＰＯ法人 きらら女川」は、地域のアイデンティティーとも言える水産加工事業に挑み、収益の拡大を目指しています。

食品加工会社を経営し、かりんとう製造のノウハウを提供するなどして障がい者福祉に積極的に関わっていた阿部雄悦理事長が、鳥取で作業所の立ち上げに携わっていた松原千晶氏と組んで、地域初の障がい者就労支援施設「きらら女川」をオープンさせたのは、平成22年12月のことです。利用者の増加もあり、飲食スペースも備えた町中の新店舗に移転した翌年３月11日その日に、あの地震に遭いました。施設は全壊流失。利用者にも２名の犠牲がありました。

町そのものが壊滅的な状況にある中、「きらら女川」はやむなく鳥取に拠点を移し、かりんとう製造から再生の糸口をつかむ判断を下します。パン製造・水産加工

きらら女川

「電子レンジで本格の味シリーズ」
炙りさんま（左）炙りほたて（右）

へと急ピッチで事業分野を広げ、鳥取での活動を軌道に乗せると平成25年７月、ふたたび女川に事業所を開設するに至りました。

鳥取での再始動と同様、かりんとうやパンの製造から女川での事業をスタートさせましたが、「被災地で仕事を生み、被災地から発信していくには、水産加工部門が不可欠」との考えから、本財団の助成を活用し冷凍冷蔵設備を平成26年10月に導入しました。

整備した冷凍庫・冷蔵庫の前でサンマの水切り作業を行うきらら女川のみなさん

給料増額への取り組み

◆ 販路拡大に手応え十分

冷凍冷蔵設備の稼働で、原材料や製造した商品ストックの保存が可能となり、鳥取の事業所に頼らず、女川単独で本格的にビジネス展開できる状況がいよいよ整いました。

阿部理事長は以前より「魚介類などの生鮮食品を、風味を損なうことなく冷凍保存することができる」特許技術を有しており、調理は電子レンジで温めるだけですむ「炙りさんま」「炙りほたて」など、競争力の高い商品ラインナップが可能です。

平成26年３月には京王百貨店新宿店で開催された販売会「みちのく いいもん うまいもん」に出展し、６日間で約80万円を売り上げました。平成27年度以降は、スーパーマーケットや大手百貨店で継続的に販売ができるよう働きかけを行っている最中で、大幅な給料増額も見込めます。

また、平成27年３月にはJR石巻線が全線運転再開し、それにともない駅舎を起点とする復興計画が本格化します。平成27年内にはプロムナードに整備される商店街への入居もすでに決定。喫茶・軽食店を運営し、きらら女川が生産した食品を調理して提供するとともに、お土産品として商品を販売する計画です。

残念ながら、初年度である平成26年度は、設備の稼働が秋にずれこんだことから、旬の魚介を原材料として潤沢に確保するには至りませんでした。加工はほとんどを手作業で賄っており、簡単ではないものの今後は増産を図り、商品ストックを十分に準備しておくことが課題です。

水産加工部門以外も活発な展開を見せています。かりんとう製造は独自販路の拡大のほか、青森の事業所のOEM製造も受注。女川駅の温泉設備に納入しているパンも好評で、ともに生産量を大きく伸ばしています。

助成金で整備した大型の冷蔵庫・冷凍庫

独自の冷凍保存製法で、女川の味を全国へ

おからかりんとうの製造。ここにも特許技術が生かされている

商品・仕事のPR

◆ 三陸の海の幸を、特許製法ならそのままに

鮮度を保ちつつ美味しく熟成。さらに長期の冷凍保存が可能な特許製法は、市場で十分競争できるものとの確信があります。

この製法を生かした商品ならば、三陸の旬の風味を手軽にいつでも家庭で味わっていただくことができます。「電子レンジで本格の味」シリーズとして、新しい食のライフスタイルを提案します。ご進物にも最適です。

女川名物･さんまパン

04 NPO法人ピーターパンネットワーク 共働作業所ピーターパン

楠元塾第１期
福島県大沼郡会津美里町

●対象事業の事業内容：宅配弁当事業	●業態：弁当･配食サービス
●助成内容　：宅配弁当部　立上げに伴う改修工事費用	●助成金額：平成26年度ジャンプアップ助成金 500万円
●事業形態　：就労継続Ｂ型	●利用者種別：混合
●利用者合計人数（事業所全体）　：38人	●平成26（2014）年度月額平均給料（事業所全体）：22,476円
●事業所のある環境：福島県会津地方にある人口２万人の町。農村地が多く、人口の４割が高齢者ののどかな町。事業所の近くには、警察署・消防署・役場・県立高校などが建ち並ぶ。	
●ホームページ・連絡先等：福島県大沼郡会津美里町字外川原甲4260-7 http://aizu-pipanet.or.jp	

月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		単月 平成27(2015)年3月	平成26(2014)年度	平成25(2013)年度
売上	対象事業	890,580	6,919,245	
	その他	1,599,611	31,626,454	37,616,112
	合計	2,490,191	38,545,699	37,616,112
人数	対象事業	7	7	
	その他	29	29	31
	合計	36	36	31
給料支給総額	対象事業	205,950	1,916,950	0
	その他	930,800	7,792,525	9,255,538
	合計	1,136,750	9,709,475	9,255,538
月額平均給料	対象事業	29,421	22,821	0
	その他	0	0	0
事業所全体月額平均給料		**31,576**	**22,476**	**24,880**

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料･賃料
土地	賃貸（無償）		
建物	購入		
設備	購入	9,612	
備品	購入	4,188	
その他			
合計	—	**13,800**	**0**

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	3,800
借入金	5,000
ヤマト助成金	5,000
その他助成金	0
合計	**13,800**

弁当事業をゼロからスタート、順調な滑り出し

事業展開の経緯

◆ 養鶏事業からの撤退と、新たな収益源の模索

共働作業所ピーターパンは、バイオディーゼル燃料の製造や施設外就労をはじめとするさまざまな事業に取り組んできましたが、新たに宅配弁当事業を立ち上げ、給料増額を図っています。

宅配弁当事業を立案した背景には、赤字事業からの撤退があります。

ピーターパンは、平成21年に200羽からスタートさせた養鶏事業の採算割れに苦しんでいました。地元の有名地鶏を育てて、鶏卵や食肉として販売する試みでした。しかし、ノウハウの不足、歩留まりの悪さ、飼料代の高さから赤字を招きました。規模の拡大で状況を改善するにも資金が足りません。

４年が経過した平成25年、ついに養鶏事業の継続を断念し、ゆるやかな縮小を決断しましたが、代わって給料アップが見込める自主事業として、宅配弁当事業への進出を計画しました。食品事業はまったくの未経験で、設備投資も一からとなります。

資金調達にあたってジャンプアップ助成制度に申請しましたが、事業計画を当財団とも吟味し評価する過程において、当初計画より規模を拡大し、しっかりとした設備投資を行うこととしました。

共働作業所ピーターパン

鶏舎には元気な会津地鶏が。現在は140羽が飼育されている

会津美里町には当時、弁当店がなく、食品の宅配に特化した企業も存在しませんでした。近隣には三つの工業団地が稼働しているほか、かつて３町が合併して発足した経緯から、区域も広く役場機能も３ヵ所に置かれており、宅配弁当に対する潜在的な需要が予測できたためです。

新たな銀行借入を含め自己資金を増額。これに助成金を併せて、75㎡の機能的な厨房を平成26年５月に新設するとともに、会津地鶏の料理コンクールで優勝の経歴もある調理師を雇用して、準備を整えました。

調理台、洗い場、配膳台２列を設備した広い厨房

給料増額への取り組み

◆ 先行他者の好事例やアドバイスから実直に学ぶ

７月にオープンした「ウェンディのお弁当屋さん」の目玉メニューは、新鮮な地鶏卵をつかったオムライス（500円）です。事業縮小で対外販売を止めた鶏卵を利用しており、看板メニューとして一定の認知を得ています。

日替わり弁当（500円）は飽きがこないよう、メリハリを持たせたメニュー構成を工夫。給料日あとには、『自分へのご褒美、ステーキ弁当』など、そそるコピーを添えて単価の高い（800円）弁当をラインナップに加えるなどしています。オープンから約半年の時点で、販売数１日200個、毎月100万円という売上目標に対し、コンスタントに約８割の数字が達成できるところまでになりました。

平成27年４月からは近隣高校１校での弁当販売を開始し、１日につき7000円程度（月15万円程度）の売上増を目指しつつ、さらにもう１校でも販売できるよう、交渉を進めている最中です。また、行政による高齢者への配食サービスへの参入も予定されています。

生産性向上と働く場の意識づくり、職員の意識改革という面では、まず「楠元塾」への参加が挙げられます。原価計算や棚卸、メニュー作成など、事例の研究や指導を受け、ゼロからのノウハウ構築に励んでいます。また、自身でできることとして、毎月のPDCAを確実に実施。当月の反省点と来月実践することを明確にし、『職員が実行すること』『利用者が目標とすること』の共有を図っています。その成果は、売上アップの意識づけ・責任感の向上などに現れ、顧客開拓や利用者からの自発的な提案に結びつく成果が得られました。

なお、宅配弁当事業以外においても、バイオディーゼル燃料の製造販売は利幅も大きく堅調に推移しており、こちらも伸び代が期待できます。

基本メニューはオムライスと日替わり弁当の２種

会津地鶏の卵をぜいたくに使ったオムライス

新しく設備したものの一つ、スチームコンベクション。導入によりメニューのレパートリーが一段と増えた

良質の廃油を購入して、バイオディーゼル燃料を製造・販売するBDF事業は堅調に業績を上げている

商品・仕事のPR

◆ 自信のオムレツと心遣いの効いたメニュー

「日替わり弁当」は、肉・魚・野菜をバランスよく取り入れ、ボリューム感のある仕上がりが売りです。９品目が華やかな「松花堂弁当」はイベント時にとくに好評で多くの注文があります。

看板メニューである「会津地鶏のふわとろオムライス」は、３種のソースからチョイスができます。夏のレモンソース、冬のホワイトソースも変わり種でお勧めです。

08 社会福祉法人しあわせ会　障害福祉サービス事業所第二むつみ園

新堂塾第２期
滋賀県草津市山寺町

●対象事業の事業内容：老人介護施設・病院に入院されている方の私物クリーニングおよびタオルシーツのクリーニング	●業態：クリーニング
●助成内容　：クリーニング配送車	●助成金額：平成26年度ジャンプアップ助成金　500万円
●事業形態　：就労継続Ｂ型　自立訓練　就労移行支援	●利用者種別：知的　精神
●利用者合計人数（事業所全体）　：26人	●平成26（2014）年度月額平均給料（事業所全体）：38,836円
●事業所のある環境：日本で最大の面積を持つ琵琶湖の近く、草津市の中心部まで車で10分ほどのところ。草津の郊外に位置する事業所は田んぼと山に囲まれ、緑豊かな田園風景が広がります。近くに工業地域もあります。	
●ホームページ・連絡先等：滋賀県草津市山寺町666－１ http://swc-shiawasekai.p-kit.com/sp/page16708.html	

月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		単月 平成27(2015)年3月	平成26(2014)年度	平成25(2013)年度
売上	対象事業	2,114,726	17,867,532	15,840,999
	その他			0
	合計	2,114,726	17,867,532	15,840,999
人数	対象事業	19	19	13
	その他			0
	合計	19	19	13
給料支給総額	対象事業	1,065,058	8,854,634	5,434,910
	その他			0
	合計	1,065,058	8,854,634	5,434,910
月額平均給料	対象事業	56,055	38,836	36,722
	その他			
事業所全体月額平均給料		**56,055**	**38,836**	**36,722**

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料･賃料
土地	賃貸（無償）		
建物	購入	76,619	
設備	購入	20,462	
備品	購入	16,378	
その他			
合計	—	**113,459**	**0**

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	19,709
借入金	
ヤマト助成金	5,000
その他助成金	88,750
合計	**113,459**

仕事の成果が目に見えるクリーニング事業へ

事業展開の経緯

◆ もっと働きたい、給料がほしいという利用者に応えて

第二むつみ園は、私物クリーニング事業などで平成25年の売上は1584万円、平均月額給料は３万6722円を実現しています。

第二むつみ園が私物クリーニングをはじめた背景には、二つの理由があります。

平成20年、ボルトナットの袋詰めや箱折りなどの下請け作業を行っていた（社福）しあわせ会の「むつみ園（昭和58年に開所）」で「もっと働きたい、お給料がほしい、就職がしたい」という利用者の声が高まってきました。そんな時、（社福）しあわせ会の老人ホームの私物クリーニングをグループ内で行えないかとの話もあり、新事業所として第二むつみ園を立ち上げ、クリーニング事業を行うことにしました。

第二むつみ園の周りは緑豊かな田園風景が広がる

クリーニングは利用者にとって、結果が見えるわかりやすい仕事

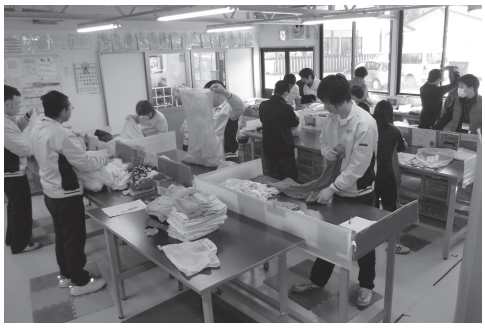
給料増額への取り組み

◆ 企業や事業所からクリーニングをゼロから学ぶ

「当初、クリーニング事業について知る職員もおらず、クリーニング師の国家資格者がいなければ事業を行えないことも知りました」と、坂本孝行課長は話します。

「プロのクリーニング師に来てもらうということも考えましたが“障がいのある利用者さんのことをよく知っているのは自分たちなので、自分たちが資格を取ればよいのではないか”となり、所長が資格を取得しました」。その４年後には坂元さんも資格を取得します。職員はクリーニング工場へ研修に行き、ノウハウを学び、利用者に適した技術指導や作業環境を模索しながら準備を進めていきました。

平成20年の開所時に導入した設備は、業務用27kgの洗濯機が３台、高温洗濯機（93度で洗濯、感染症があった場合の洗濯はこの洗濯機で行う）が１台、乾燥機30kgが5台です。この設備を使って当時通所していた８名の利用者を中心にして、効率的に仕事を進められるシステムを考えていきました。


洗濯物が混じらないよう、仕切りを作って作業

写真右が高温洗濯機

いただいた洗濯物を２レーンで検品します。手前の白い作業台でネットからカゴに出しポケットチェック、その後写真奥の緑の作業台で点数を数え、書き出します

◆ 利用者が働きやすい工程に分業

仕事は、洗濯物が入ったネットを回収し、特別養護老人ホーム、病院などお客様別に分け、検品作業を行います。ネットの中の洗濯物の枚数を数え、ポケットの中身に異物がないかをチェック。名前、お客様番号をメモし、お客様番号プレートをネットに取り付けます。洗濯・乾燥とクリーニングを進め、でき上がった衣類を折りたたんで袋に入れ、新しいネットとともにお客様にお届けするサイクルになっています。

「この流れを大きく五つの工程に分け、利用者さんの能力に応じてこなせる作業に分業・分担できるようにしました。どんな作業を行うのかを目で見て確認できるように写真付きのマニュアルをつくり、職員と一緒に繰り返し作業しながら担当工程の仕事を行えるようにしていきました」と坂元さん。

平成20年に立ち上げた時は１日に検品できる量は30 ～ 40袋程度で、利用者の１ヵ月の給料は約１万6000円にしかなりませんでした。

◆ 利用者の技術が上がると、生産性も上がる

「高い給料を望む利用者さんに応えるには、営業はもちろんのこと、生産性を上げるしかありません。目で見てわかりやすい環境をつくり、作業の細分化も図りました。週に一度、自己評価・職員評価を行い、品質改善としてたたみ訓練の時間も設けていきました」。

平成21年には、一般の老人ホームから私物クリーニングを受注することになり、平均月額給料は１万8000円に。契約する老人ホームも増え、平成22年には月額給料も平均２万円を超えます。生産性とクオリティが上がるとともに口コミで評判が伝わり、新たな個人のお客様も徐々に広がっていきました。地域のお祭りで使われたハッピや運動会で使われたハチマキ、行政からの依頼で座布団カバーや椅子カバーなどの仕事も受注しました。平成25年に平均月額給料は３万円を突破。さらなる給料増額を目指し、平成25年に第二むつみ園は、夢へのかけ橋実践塾の新堂塾に参加します。そこで“効率を上げるライン化”の手法を学びました。

「新堂塾長に、洗濯物を検品する作業を１レーンで行っているのを、２レーンにすればもっと効率が上がると指摘いただきました。改善するとスピードも上がり、次の工程の『待ち』もなくなり、全体の流れがよりスムーズに変わりました」と坂元さん。いまでは利用者が中心となり、すべての仕事を進められるようになりました。平成25年には１日に200袋を検品できるようになり、給料は３万6700円を超えています。

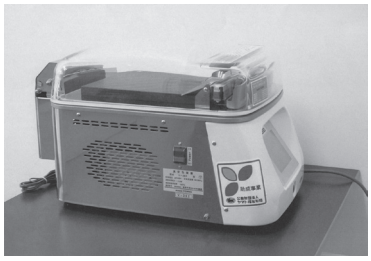
商品・仕事のPR

◆「きちん・きれい・ていねい」がモットー

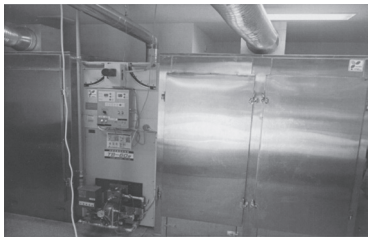
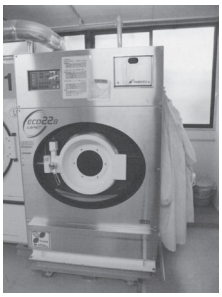
老人介護施設、病院などの衣類、タオル類の回収・入庫チェック・洗浄・乾燥・たたみ・配送・納品まで一連のクリーニング業務を行っています。クリーニング専用配送車は、洗濯をした納品物と、回収物の入る場所が区切られ、衛生面でもお客様に安心してもらえる車両となっています。

現在、１日ネット約200袋、枚数にして1200点以上の衣類・バスタオルなどに対応でき、「きちん・きれい・ていねい」をモットーに、日々心を込めて取り組んでいます。

Ⅲ. ステップアップ助成金

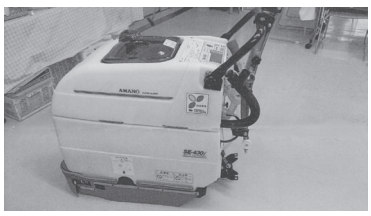
助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額	
01 北海道 社会福祉法人伊達コスモス21 第2ふみだす	➡印字・脱気機能付きシーラー機及び電気式卓上ウォーマー購入資金 **助成金　650,000**	
02 北海道 社会福祉法人空知の風 きっちんどう	➡機器整備（スチームコンベクションオーブン購入）の資金 **助成金　1,000,000円**	
03 福島県 福島あすなろ会	➡農作業に伴う機材の購入資金 **助成金　930,000円**	
04 福島県 社会福祉法人優樹福祉会 地域生活サポートセンターフラット白河	➡加熱温度コントロール卓上型ノズル式脱気シーラー及び規格袋 **助成金　1,000,000円**	
05 群馬県 社会福祉法人萌希の丘 ほほえみ工舎	➡デジタルスクリーン製版機購入資金 **助成金　1,000,000円**	

助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額	
06 群馬県 社会福祉法人協栄会	➡農業機器（田植機）の購入 **助成金　1,000,000円**	
07 埼玉県 社会福祉法幸仁会 ウッドワーク川本	➡油性インクジェットプリンター購入資金 **助成金　1,000,000円**	
08 千葉県 社会福祉法人あかね ワークアイ・船橋	➡クイックシーラー購入 **助成金　600,000円**	
09 神奈川県 社会福祉法人ひばり ハートピア湘南第二	➡喫茶業務にかかる電磁調理器、スチームコンベクションオーブン購入資金 **助成金　1,000,000円**	
10 神奈川県 NPO法人ぷかぷか カフェベーカリーぷかぷか	➡スチームコンベクションオーブンの購入 **助成金　1,000,000円**	

助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額	
山 梨 県 11 特定非営利活動法人かしのみ 就労支援事業所かしのみ	➡電気乾燥機、包装機（シーラー）、冷凍冷蔵庫購入資金 **助成金　1,000,000円**	
富 山 県 12 社会福祉法人秀愛会 多機能事業所ステップ	➡暖房設備付きビニールハウスの購入整備 **助成金　1,000,000円**	
石 川 県 13 社会福祉法人朋友会 はるかぜワーク	➡ 22kg 小型乾燥機購入資金 **助成金　750,000円**	
長 野 県 14 社会福祉法人いなりやま福祉会 いなりやま共同作業所	➡フードプリンター購入資金 **助成金　1,000,000円**	
愛 知 県 15 社会福祉法人常滑市社会福祉協議会 ワークセンターかじま	➡清掃作業機材一式購入資金 **助成金　1,000,000円**	

助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額	
愛 知 県 16 一般財団法人地球子ども村 地球子ども村Link	➡ローゼル畑を生産拠点として必要な栽培ハウスおよび付随する農機具の購入資金 **助成金　1,000,000円**	
京 都 府 17 社会福祉法人宇治東福祉会 ワークセンター宇治作業所	➡ラベルプリンター購入資金 **助成金　800,000円**	
大 阪 府 18 社会福祉法人くるみ福祉会 夢工房くるみ	➡手動空き缶プレス機（カンペコプレス）購入資金 **助成金　1,000,000円**	
大 阪 府 19 社会福祉法人いずみ野福祉会 高石障害者作業所	➡自動分割丸め機購入資金 **助成金　1,000,000円**	
兵 庫 県 20 一般社団法人一圭会 一圭会深江事業所	➡おしぼり包装機購入事業 **助成金　1,000,000円**	

助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額	
21 和歌山県 社会福祉法人有田つくし福祉会 つくし共同作業所	➡タテ型冷凍庫・台下冷蔵庫購入資金 **助成金　700,000円**	
22 和歌山県 社会福祉法人きびコスモス会 コスモス作業所	➡軽トラックの冷凍車購入資金 **助成金　1,000,000円**	
23 鳥取県 社会福祉法人養和会 エポック翼	➡ホームページ作成費 **助成金　500,000円**	
24 山口県 社会福祉法人同朋福祉会 あそかの園	➡パソコン対応ラベルプリンターの導入資金 **助成金　1,000,000円**	
25 山口県 社会福祉法人ふしの学園 ふしのエコ事業所	➡回転板式パッカー車 **助成金　1,000,000円**	

	助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額	
26	佐賀県 特定非営利活動法人ともしび 就労継続支援Ｂ型事業所 アクティブ	➡除草機器・工具機器購入資金 **助成金　650,000円**	
27	熊本県 社会福祉法人立正福祉会 就労支援センターたかもり	➡洗卵機の購入資金 **助成金　780,000円**	
28	熊本県 NPO法人がまだすサポート	➡野菜販売用車両購入資金 **助成金　1,000,000円**	
29	大分県 社会福祉法人県南福祉会 さつき園中江	➡床面洗浄機購入資金 **助成金　640,000円**	

Ⅳ．障がい者福祉助成金

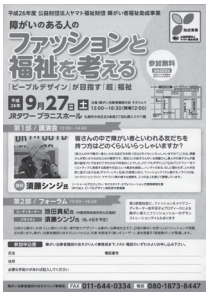
助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額

01 北海道

障がい当事者講師の会すぷりんぐ

➡フォーラム障がいのある人のファッションと福祉

助成金　800,000円



02 北海道

社会福祉法人はるにれの里
札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる

➡アメリカ・ノースカロライナでの先進的な自閉症支援を学ぶ公開講座

助成金　1,000,000円

03 福島県

特定非営利活動法人
SWELL・IN・FUKUSHIMA

➡「3. 11から3年福島からありがとう復興支援報告会」

助成金　420,000円

04 群馬県

早期発達支援研究会

➡発達障害児の早期支援について学ぼう

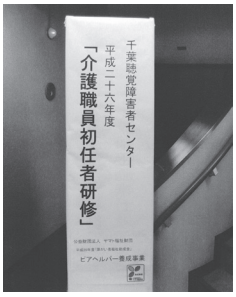
助成金　900,000円

05 千葉県

社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会
千葉聴覚障害者センター

➡ピアヘルパー養成事業

助成金　1,000,000円



助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額

06

東京都

公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を

➡病気と闘う家族の QOL 向上に関する調査（研究）

助成金　1,000,000円

07

東京都

社会福祉法人日本盲人会連合

➡権利条約批准後における視覚障害者理解への啓発資料等発行事業

助成金　670,000円

08

東京都

社会福祉法人桜雲会

➡バリアフリー絵本てんじ手作り絵本「つかっちゃ王」啓発推進事業

助成金　880,000円

09

東京都

特定非営利活動法人多摩草むらの会

➡ノーマライゼーション社会実現に向けた正しい精神障がい理解普及啓発活動の為のシンポジウムの開催

助成金　650,000円

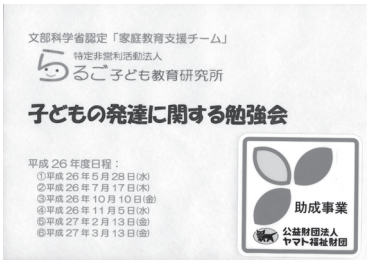
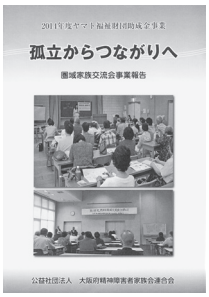
10

東京都

一般社団法人 ArtsAlive

➡「スイミー：壁画プロジェクト」（自閉症児を対象とした作家との協働による壁画創作、発表、壁画の対話型鑑賞・商品化、販売

助成金　1,000,000円

助　成　先	助成対象事業の内容及び助成額	
11 **愛 知 県** NPO法人らるご子ども教育研究所	➡発達障害の子どもを持つ親向けの子育て支援プログラム **助成金　380,000円**	
12 **大 阪 府** 社団法人大阪府精神障害者家族会連合会	➡孤立する精神障害者家族のつながり支援事業 **助成金　1,000,000円**	
13 **愛 媛 県** 特定非営利活動法人ぶうしすてむ えひめICTチャレンジド事業組合	➡障がい者就労支援11団体共同による営業～受注～納品の事業構築と展開 **助成金　1,000,000円**	
14 **福 岡 県** NPO法人SHUTTLE-ONE	➡アジア車いすバドミントン交流会 **助成金　1,000,000円**	

平成26年度 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム実施報告

1. 実施体制

パワーアップフォーラムは、実践塾、事業改革モデル化資金を合わせた、いわば三位一体のしくみで福祉施設が経済的自立力を備えるために学ぶ場です。平成26年度のパワーアップフォーラムでは、２期目を迎えた「夢へのかけ橋プロジェクト」の入口としての役目を果たすとともに、より多くの方々に、障がい者の経済的自立力を備えるための行動を起こしていただくようにプログラムを構成しています。シンポジウムの終了後には、「夢へのかけ橋 実践塾」の新たな塾として開講する楠元塾のエントリーシートを配布し、具体的な実践を促しました。

2. プログラム内容

講　座	内　容
基調講演	「経済的自立力を備えた新しい福祉に向かって」 講師：有富慶二氏（公益財団法人ヤマト福祉財団　理事長）
時流講座	「障がいのある人のディーセントワーク」 講師：藤井克徳氏（きょうされん　専務理事）
小倉昌男賞 受賞者講演	「～実践現場でわかったこと～新しい福祉に向かって歩みつづけてきた受賞者の講演」 ・東京会場：熊田芳江氏（社会福祉法人こころん　常務理事・施設長） ・大阪会場：楠元洋子氏（社会福祉法人キャンバスの会　理事長）
夢へのかけ橋 実践塾報告	「昨年から始まった三つの塾と今年新たに始まる塾について様々な取り組みをご紹介します」 ・東京会場：亀井 勝氏（社会福祉法人ひびき福祉会　理事長） ・大阪会場：武田 元氏（社会福祉法人はらから福祉会　理事長） 新堂　薫氏（社会福祉法人武蔵野千川福祉会　常務理事）
助成金報告	「農業に挑む」 ～地元に広がる耕地を障がい者の働く場に～ ジャンプアップ助成金　500万円活用事例報告 ・東京会場：なし園の経営　林 博文氏（NPO法人ピアファーム　就労継続B型事業所　所長） ・大阪会場：九条ネギ栽培　小谷勝己氏 （社会福祉法人よさのうみ福祉会　野田川共同作業所　所長）
ビデオ	「夢へのかけ橋」 Ⅱ　上映
シンポジウム	「経済的な自立力を備えた経営」 シンポジスト ・東京会場：亀井 勝氏・熊田芳江氏・林 博文氏 ・大阪会場：武田 元氏・新堂　薫氏・楠元洋子氏・小谷勝己氏 コーディネータ ・東京・大阪会場：藤井克徳氏（きょうされん　専務理事）

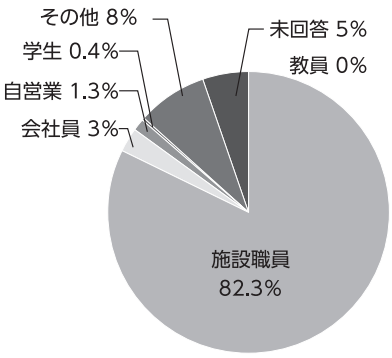
3. 実施日・場所・人数

開催日	開催地	会　場	参加人数
7月11日	東京	全社協　灘尾ホール	199名
7月25日	大阪	大阪国際会議場	188名
合　計			387名

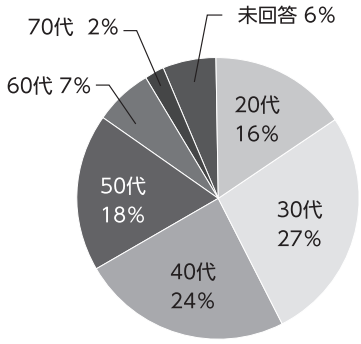
4. 平成26年度　障がい者の働く場パワーアップフォーラム　参加者の傾向

※アンケート回答者237名

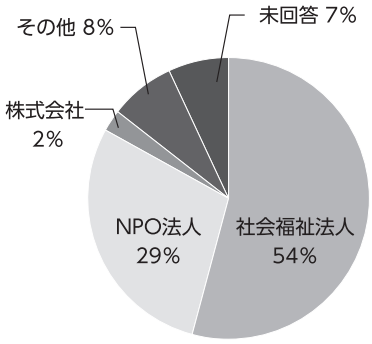
職業



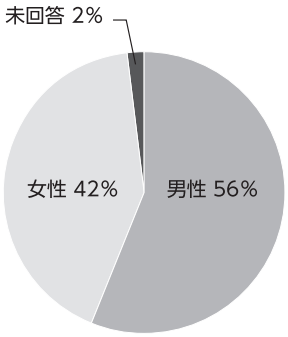
年齢



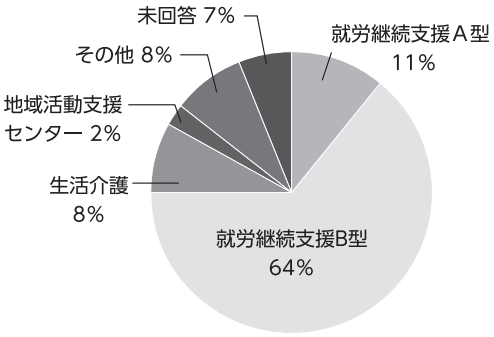
所属



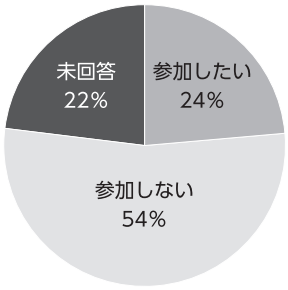
性別



事業区分

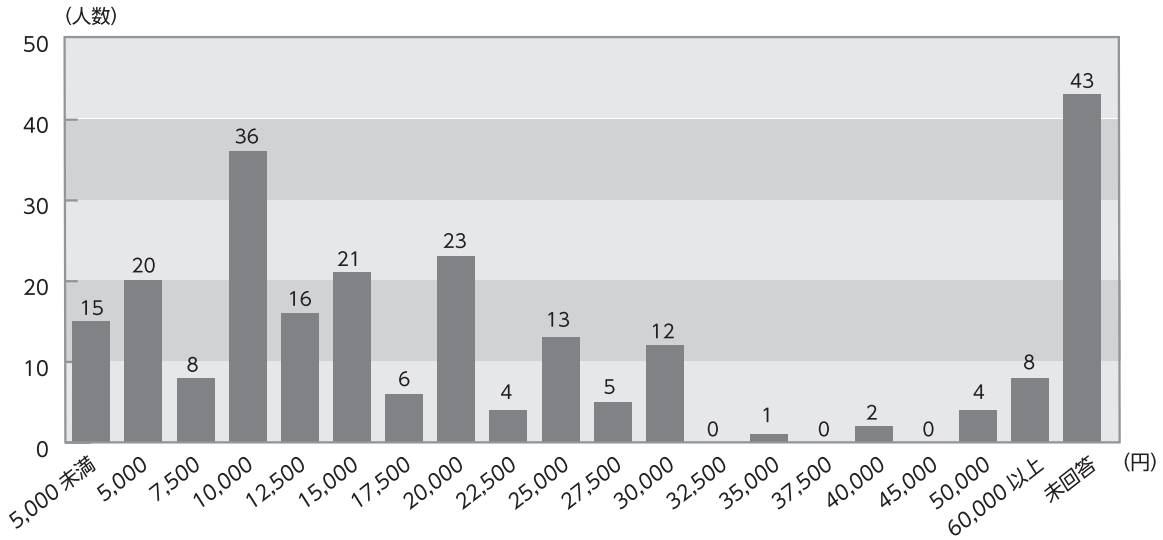


実践塾への参加意思



参加施設の平均給料の分布

計194名　※未回答：43名



平成26年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

1. 夢へのかけ橋 実践塾とは

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ“経済的自立力を備えた新しい福祉”に向かって行動を起こす施設職員を塾生とし、利用者の給料増額を達成するための研修会です。平成25年９月に開講した武田塾・新堂塾・亀井塾の三つの塾は、平成27年９月まで２年間、平成26年９月に開講した楠元塾は、平成28年９月まで２年間実施します。

武田塾・新堂塾・亀井塾の塾生は、平成25年に開催したパワーアップフォーラムで、楠元塾の塾生は、平成26年のパワーアップフォーラムでそれぞれ募集しました。武田塾・新堂塾・亀井塾には計43の塾生（平成27年３月現在）が、楠元塾には９の塾生が参加し「１年後３万円、２年後５万円」の給料増額を目指し、事業改革に取り組んでいます。

塾生には、クラウドサービスによる「収支管理システム」を提供。また、塾生が起こす事業をモデル化して水平展開するための資金（「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金）を用意し、塾生が立てた事業プランから、効果が高いと認められるものに対して助成しました。

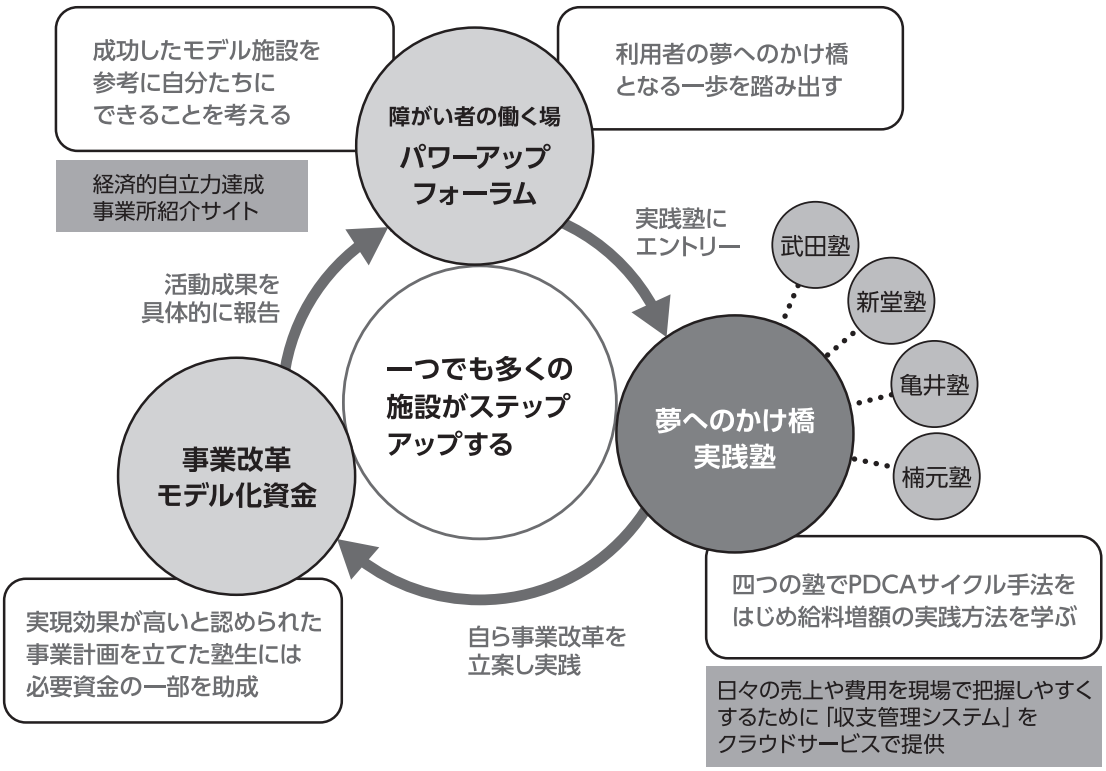
2. 研修内容

各塾は独自に研修会、見学会、勉強会を開催し、塾生一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できるように取り組みました。また複数の塾が一つの会場で合同研修会を開くことで、互いに情報交換を行えるなどの利点を生み、給料増額の目標達成へつながる効果を狙っています。

・販路拡大や商品開発など営業に関する新規事業や改善について事業プランを作成。
・２年間を通じて合同研修をはじめ、各塾ごとに研修会や勉強会を開催し、自分の目標の進捗や他の参加者の進捗などを確認。
・先行している施設より現場の課題などを説明。
・グループディスカッション・合同パネルディスカッションなども取り入れる。
・２年間、PDCAサイクル手法を実行して成果を出す。

武田塾	新堂塾	亀井塾	楠元塾
収支管理システム研修会（平成26年５月30日）			
	・塾生施設の見学・勉強会（平成26年６月30日）	・第４回亀井塾（平成26年６月13・14日） ・お菓子分科会（平成26年７月12・13日）	・パワーアップフォーラムで塾生募集（東京会場 平成26年７月11日・大阪会場７月25日）
第４回合同研修会（平成26年９月26・27日）			
・第４回武田塾	・第４回新堂塾	・第５回亀井塾	・開講式・第１回楠元塾
・第５回武田塾（平成26年11月７・８日） ・第６回武田塾（平成27年３月６・７日）	・塾生施設の見学・勉強会（平成26年９月16日） ・第５回新堂塾（平成26年12月19・20日） ・第６回新堂塾（平成27年２月10・11日）	・塾長の塾生施設視察（平成26年12月10・11日） ・塾長の塾生施設視察（平成27年１月20・21日） ・第６回亀井塾（平成27年２月27・28日）	・第２回楠元塾・塾長施設見学会（平成26年10月14・15日） ・塾生施設の見学・勉強会（平成27年1月22・23日） ・第３回楠元塾（平成27年２月20・21日）

三位一体で展開する
『夢へのかけ橋プロジェクト』実践塾の役割とは



事業改革モデル化資金とは

「夢へのかけ橋」実践塾の参加施設の立てた事業プランから、効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、また事業改革を進めるために必要な道具や働く環境整備の資金を助成しています。

参加塾	申請施設名	件　名	金　額
武田塾	NPO法人吉野コスモス会	スチームコンベクション・業務用冷蔵庫・殺菌庫の導入	2,189,300円
	サポートスクエアぱおぱお	自然卵養鶏を中心とした循環型農業事業	2,750,000円
	社会福祉法人ゆずりは会	枝豆定量袋詰機の導入	551,650円
	NPO法人コンパスの会	パン販売のための常設店設置事業	2,858,297円
	第三かめおか作業所	洋菓子オーブンの購入ほか	2,831,112円
	就労支援事業所かしのみ	スチームコンベクション、真空包装機、電解水生成装置導入・設置費用	2,958,300円
	社会福祉法人ゆずりは会	トラクターにつける播種機	737,856円
新堂塾	武蔵境ワーキングセンター	エアー給紙丁合機（10点）購入	2,800,000円
亀井塾	社会福祉法人いわみ福祉会	いわみ蜜衛門（サツマイモ）の干しいも製造の設備導入	1,501,500円
	社会福祉法人茄田町社会福祉協議会	レストラン厨房機器整備事業	2,984,724円
	NPOデフNet.かごしまぶどうの木 B型事業所ぶどうの木	薩摩ワッフル新規出店事業	3,000,000円
	NPO法人サポートセンター木立	クッキー製造部門の新設	3,000,000円
	あゆみ福祉会	新商品ベークド酒粕チーズケーキ製造に関わる設備導入	1,837,261円
合計	13件		30,000,000円

武田塾

塾長の（社福）はらから福祉会武田理事長は“事業経営と福祉支援を別物と考えずに、給料アップを支援力のバロメーターとして捉えていく”ことを塾生に説いています。塾生は、給料増額のために経営者として当たり前のことをきちんと実行できるようになるため、会計・賃金の計算、PDCAの徹底などを押し進めながら、事業改革に取り組んでいます。

塾　長：（社福）はらから福祉会　理事長　武田　元 氏

○ 略歴

1966年より宮城県公立学校教員として31年間勤務後、1979年に「はらから会」を立ち上げる。2004 ～ 2010年度まできょうされん宮城支部長。2010年9月～ 2013年3月『障がい者の暮らし変革塾』塾長。第３回ヤマト福祉財団賞受賞。

武田塾塾生：15 施設（2015 年 3 月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【現在、取り組んでいる事業（要旨）】
（社福）旭川旭親会	きたのまちジョブリハセンター	地域活動支援センター	ラーメン、就労訓練	乾麺の開発および販路拡大、経費の削減、利用者の労働意欲の向上
（社福）つくしの里福祉会	第2つくしの里	就労継続B型・生活介護	豆腐等製造販売	注文販売を伸ばすためチラシを作成、新商品開発、仕入れ商品の販売も開始
（NPO）あさがお	いっぽいっぽあさがお	地域活動支援センター	豆腐製造販売など	豆腐製造ができる利用者の育成、販売ルートや顧客拡大に合わせた製造・販売体制の強化
（社福）奈良県手をつなぐ育成会	やすらぎの丘・たかとりワークス	生活介護	内職、リサイクル、パン	新事業として農業を開始、収益の高いネギ班がハウス管理だけではなく生産も行い、畑班全体の給料増額に反映する
（NPO）吉野コスモス会	うぃる工房	就労継続B型	いなり、寿司の製造販売	事業改革モデル化資金で導入した冷凍特殊技術を活かした冷凍野菜・寿司の販路を拡大
（社福）わくわく	ふれあいワーク	就労継続B型	自主製品、清掃、リサイクル、下請	新たに仕入れ販売を開始、土曜市の毎月実施、ポスティング作業などで売上を拡大
（社福）結い	ワークハウス・わくわく！	就労継続B型	洗濯・宅配弁当事業	新たに病院内にショップを開き、利用者のみで店頭業務・発注業務を行う
（社福）清樹会	ブライトハウス住吉	就労継続B型	配食サービス	季節の行事に伴って物品販売を企画、高齢者配食サービスの契約者を増やし配食サービスの売上を拡大
（NPO）コンパスの会	コンパス	就労継続B型	パン、内職、農業	事業改革モデル化資金でパン、仕入れ商品の直売所をオープン、また定期的に開く『市』で認知度を上げ、売上を拡大
（社福）亀岡福祉会	第三かめおか作業所	就労継続B型	菓子の製造販売、施設外就労（清掃）	事業改革モデル化資金でオーブンを購入、新商品開発、OEM商品の取引を拡大
（社福）ゆずりは会	ゆずりは	就労継続B型	野菜の製造販売	事業改革モデル化資金で導入した枝豆定量袋詰機、播種機を使い生産性を上げて出荷量を増大
（NPO）障害者の地域生活を支援する会	サポートスクエアばおばお	就労継続B型	豆腐製造販売、農作物生産卸売	事業改革モデル化資金で鶏舎を拡大、自然卵養鶏を事業の柱に転換
（社福）キャンバスの会	給食センターキャンバス	就労継続B型	受託作業、エコ事業	仕入れ商品の販売、麺（ラーメン、焼きそば）の製造販売を開始し、販路拡大を推進
（NPO）樫の実作業所	就労支援事業所かしのみ	就労継続B型	ドライフルーツ、メール便・封入	事業改革モデル化資金でドライフルーツの製造設備を整え、商品を増やし新規取引先を開拓
（NPO）バイタルフレンド	多機能型マザーワート	就労継続B型	パン・菓子・洋食レストラン	イベントや外販を拡大、テイクアウトの商品を開発、店舗の集約などで経費を削減

新堂塾

新堂塾は、生産効率を高めるライン化の実現で給料増額を目指しています。塾長である（社福）武蔵野千川福祉会新堂常務理事 は“ライン化とは、いままで一人で行っていた仕事を、いくつかの工程に分け、複数人で分担作業することで生産性を上げ、売り上げを伸ばすこと”と伝え、塾生は、働く環境の改善、ビジネスマナー、業者へのアプローチなど総合的な改善に取り組んでいます。

塾　長：（社福）武蔵野千川福祉会　常務理事　新堂　薫 氏

○ 略歴

1985年、千川作業所に指導員として就職。1987年のチャレンジャー設立とともに異動し、1999年に同施設長に就任。社会福祉士。2010年9月～2013年3月『障がい者の働くちから革新塾』塾長。第９回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。

新堂塾塾生：14 施設（2015 年 3 月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【現在、取り組んでいる事業（要旨）】
（社福）かるべの郷福祉会	かるべの郷ドリームワークス	就労継続B型	清掃、農業、自主製品	農作業の効率化を図るとともに、プロの農作物も仕入れ販売、直売所の開設を計画
（社福）自立更生会	盛岡杉生園	就労継続B型	受託事業（下請け）、自主事業	働く環境の整理整頓、収益の高い事業に集約、クリーニング工場の準備を進行
（社福）キリスト者奉仕会	障害福祉サービス事業恵愛ワークセンター	就労継続B型	パン製造販売、タオル縫製、軽作業	５Ｓ委員会を立ち上げる、清掃チェック表を作成、施設の環境づくり・ルールを徹底
（社福）池田町社会福祉協議会	池田町障害福祉サービス事業所ふれ愛の家	就労継続B型、生活介護	下請け、クリーニング	作業環境の整理整頓と効率化を図る、新規農業で収穫したジャガイモを保育園、高齢者施設、ファーマーズへ販売
（社福）あかね	ワークアイ・船橋	就労継続B型	録音、翻訳、テープ作製等	一つの作業台で２種類の作業を行えるスペースを確保、単価の高い仕事の受注を目指す
（社福）武蔵野千川福祉会	ワークイン中町	就労継続B型、生活介護	DM簡易封入作業	５Ｓを徹底、事業所全体で同時に二つの案件を進められるように生産ラインを２本化
（社福）武蔵野千川福祉会	武蔵境ワーキングセンター	就労継続B型・就労移行	DM加工業務（封入等）	利用者の技術を高め、事業改革モデル化資金で導入したエアー給紙丁合機で生産性を向上
（社福）武蔵野千川福祉会	八幡作業所	就労継続B型・就労移行	DM封緘封入作業	自動丁合機の導入に伴い生産ラインを改善、職員は利用者の能力を高めることを目的に個別指導を進める
（社福）同朋福祉会	あそかの園	就労継続B型	ビルメンテナンス、農作業など	田圃を拡大するとともに利用者の仕事をライン化、ビニールハウスや倉庫の整理整頓を徹底
（社福）京都聴覚言語障害者福祉協会	いこいの村・栗の木寮	生活介護	パン・ピザの製造販売・喫茶営業	委託販売先、移動販売先を拡大、ライン化により袋詰めと仕込み作業の生産効率を改善
（社福）キリスト者奉仕会	障害者就労・自立支援センターたんぽぽ	就労継続Ａ型・就労継続Ｂ型・就労移行	弁当製造販売・レストラン事業	ベルトコンベアでの弁当詰めのライン配置を改善、配達エリアを拡大
（NPO）工房はづき	工房はづき	就労継続B型	DM封入封緘、その他委託事業	収益の高い事業を拡大し新たに機器も導入、全職員で５Ｓの徹底と営業力を強化
（社福）新潟市中央福祉会	ワークセンター日和山	就労継続B型、生活介護	クリーニング、縫製、ウエスなど	ジャンプアップ助成により私物専用乾燥機ムーンサルトを購入し、私物クリーニングを強化
（社福）しあわせ会	障害福祉サービス事業所第二むつみ園	就労移行・就労継続B型・自立訓練	老人ホーム・病院・個人のクリーニング	検品時の確認レーン、洗濯物のたたみ机を増やすなど作業環境を改善、ジャンプアップ助成で配送車輌を導入、仕事の効率化、生産増を図る

亀井塾

“賃金規定に則り、決められた金額の給料を支払える施設へ”。そのためには原価から、収入・支出、利益計算までをきちんと行い、数値目標を決定すべきであると、塾長である（社福）ひびき福祉会亀井理事長は塾生に説いています。塾生は、マーケティングをベースに接客・集客活動と連動した販路拡大や顧客開拓、商品開発の具体的な計画・実践を目指しています。

塾　長：（社福）ひびき福祉会　理事長　亀井　勝 氏

○ 略歴

1977年ひびき共同作業所を開設。1984年に社会福祉法人の認可を得て常任理事、施設長へ。大阪府社会福祉協議会セルプ部会部会長、ハイ・ワークひびき施設長、全国社会福祉協議会全国社会就労センター事業推進委員長などを務め、定年退職後は全役職を辞任し（社福）ひびき福祉会理事長に。第７回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。

亀井塾塾生：14 施設 (2015 年 3 月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【現在、取り組んでいる事業（要旨）】
（社福）いわみ福祉会	ワークくわの木江津事業所	就労継続B型	レストラン、農業、加工販売	事業改革モデル化資金で野菜乾燥機2台、水分活性測定器を導入し、干しいも「いわみ蜜衛門」のブランド化を目指す
（NPO）MAMMA	夢中club	就労継続B型・その他	和菓子・農作業	弁当、和菓子、お惣菜の製造販売に加え仕入れ販売も開始、今後はごぼう茶の内部加工、外注加工にも注力
（社福）釧路のぞみ協会	はしどい学園	就労継続B型	加工、手芸、包装、厨房など	イベントでの販売で手応えを得た珍味を天ぷらにする２次加工品の販売実績を伸ばす
（NPO）あさがお	きぼうのあさがお	就労継続B型	菓子・弁当・青ばた味噌製造など	青ばた豆のパウダーを使用したパウンドケーキなど菓子の製造
（NPO）ほっとスペースひだまり	ふくふく亭	就労継続B型	弁当製造販売・レストランなど	採算の悪い中華レストランを閉鎖し宅配弁当事業に専念
（社福）結い	ワークハウス・わくわく！	就労継続B型・就労移行	宅配弁当サービス（１日100食）	病院内に売店をオープン、宅配弁当事業と連携し高齢者を対象とした日用品の配達を計画
（NPO）NPOデフNet.かごしま	ぶどうの木	就労継続B型	自主製品、内職	事業改革モデル化資金で薩摩ワッフル専門店を新規オープン
（NPO）花の花	ほっとステーションおひより	就労継続B型	米・野菜作りとその販売	新商品「いきなり団子」で売上を増加、宅配弁当や野菜の加工品の製造販売にも着手
（NPO）生活自立研究会	就労継続支援B型富浦作業所	就労継続B型	びわ茶製造、パン、さおり織	パン・クッキーの製造販売促進のため、製造技術者を育成し製造機器も導入
（NPO）サポートセンター木立	軽食・喫茶の木立	地域活動支援センター	軽食、喫茶、弁当	事業改革モデル化資金で店舗を改装し、クッキー製造部門を新設
（社福）北日野こもれび会	ぴーぷるファン	就労移行・就労継続Ｂ型・生活介護	ビニール加工、縫製など	菓子製造部を本格的な事業へ、越前市のお菓子としての定着を目指す
（社福）苅田町社会福祉協議会	くすのき作業所	就労継続B型・生活介護	下請け作業・手芸品・印刷	事業改革モデル化資金でレストランを開店、弁当製造販売も開始し事業を拡大
（社福）あおぞら福祉会	工房シティ	就労継続B型・生活介護	食品加工・ウエス・リサイクル	クッキー、シフォンケーキの新商品開発、各商品をセットにしてカフェやショップで販売
（社福）あゆみ福祉会	あゆみ作業所	就労継続B型	ふきん入れ・下請け・生チーズケーキ	事業改革モデル化資金でトークオーブンを購入、酒粕チーズケーキを軸とした地域ブランドを構築

楠元塾

平成26年９月「弁当・配食サービス事業」を対象とした給料増額を目指す楠元塾を開講しました。塾長となった（社福）キャンバスの会 楠元理事長は、“自分たちのつくりたいものではなく、お客様が求めるメニューづくり。また、利用者さんのことを考えた働く環境づくりを進めていきましょう”と塾生に呼びかけています。さらに、成功者のノウハウを学び、取り入れることが、実績を上げる近道になると実践的な指導を行っています。

塾　長：（社福）キャンバスの会　理事長　楠元　洋子 氏

○ 略歴

2007年に（社福）キャンバスの会を立ち上げ、「障がいの重さに関係なく、一人でも多くの利用者さんに働く場とお給料を」のテーマで弁当・配食サービス事業を開始。現在１日2000食以上を販売。その他にもリネン事業、レストランの運営など、幅広く障がいのある方の働く場を創出している。第13回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞。

楠元塾塾生：９施設

法人名	事業所名	事業種形態	事業内容（要旨）	取り組みたい事業（要旨）
（NPO）夢・サポート	就労継続支援Ａ型事業所 夢・さぽーと	就労継続Ａ型・就労移行	味噌・にんにく味噌製造、農家の収穫手伝い	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）どんぐりパン	NPO法人　どんぐりパン	就労継続Ｂ型・生活介護	オールスクラッチによるパン製造、菓子製造、カフェ事業、公園清掃ほか	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（社福）おおさきさくら福祉会	指定障害福祉サービス事業所すずかけの里	就労継続Ｂ型・就労移行	餃子・シュウマイ・コロッケ・温泉卵・菓子製造	弁当・配食サービス事業の拡大、焼き鳥串刺し作業内製化
（NPO）ピーターパンネットワーク	共働作業所ピーターパン	就労継続Ｂ型	バイオディーゼル燃料事業、地鶏生産、弁当配達、施設外就労ほか	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）シャロームの会	アトリエぶどうの木・オリーブの樹	生活訓練・就労移行・就労継続Ａ・Ｂ型	喫茶・ランチ・レストラン事業、お惣菜製造	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）さくらんぼのお家	さくらんぼのお家	就労継続Ａ・Ｂ型	レストラン事業、パン・菓子製造	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）岡山県精神障害者家族会連合会	ふぁみりお	就労継続Ｂ型	弁当製造販売	弁当製造販売の拡大
（社福）扶老会	障害者福祉サービス事業所サムラ	就労継続Ｂ型・就労移行	レストラン事業、パン・弁当製造販売	弁当製造販売事業の拡大と効率化
（NPO）Creer	Creer	就労継続Ｂ型	日替わりランチ・ビュッフェ、日替わり弁当・焼き菓子製造販売	安心安全のおいしい地産の手づくり弁当の製造･販売

第４回合同研修会

日 時：平成26年９月26・27日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

平成26年９月26･27日､晴海グランドホテルで『第４回合同研修会』を開き、武田塾・新堂塾・亀井塾、そしてこの日からスタートする楠元塾の塾生が一堂に集いました。

初日は、２年目に入った３塾の塾生がこれまでの成果を報告。まず事業改革モデル化資金を受領した９施設が成果を伝え、その後は各塾生がそれぞれの取り組みを報告しました。塾生たちは、自分とは異なる事業で成果を上げた塾生の話を聞くことで、今後の改善を図る参考としました。報告会の後、有富理事長は「利用者さんの夢をかなえるには商売のプロへと変わらなければなりません。これならお客様も増えていく、そう思える改革案を練り、職員もトップも一丸となって目標を達成してください」と講評しました。

二日目は、（有）ドアーズ 柴田智宏代表取締役による講演からスタート。柴田氏が行うペットフード事業とはどのようなものか、その働く仕組みづくりなどを受講しました。その後は各塾ごとで分科会を開催。最後に各塾長が総括を行い、いかにしてこれから目標を達成していくか、その取り組みについて説明を行いました。

■ 合同研修会の内容

日　程	プログラム
９月26日	■ ３塾成果報告会　・事業改革モデル化資金受領者 ・月額平均給料３万円以上達成者 ・月額平均給料３万円未達成者 ■ 理事長　講評 ■ 懇親会（楠元塾塾生自己紹介を含む）
９月27日	■（有）ドアーズ 柴田智宏代表取締役 講演 ■ 分科会　・第４回武田塾 ・第４回新堂塾 ・第５回亀井塾 ・第１回楠元塾（開講式） ■ 塾長総括

●「経験こそ力になります」柴田氏講演

二日目に講演された（有）ドアーズの柴田智宏代表取締役は、かつて岡山県の福祉施設で製麺所を立ち上げ、利用者の働く場の拡大と給料増額を達成し第12回小倉昌男賞を受賞された方です。現在は、製麺所を他の職員に託し、生まれ故郷の鳥取県で新たにペットフード事業の会社を設立。障がいのある方だけではなく母子家庭や高齢者などの就労難民となった方の働く機会を創出しています。

「私もかつては、みなさんと同じようにヤマト福祉財団の勉強会に参加し、利用者さんの給料増額をどうすれば達成できるのかを学んできた仲間です。最初は、市場とか、原価とか言われてもわかりませんでしたし、自分のやり方にダメだしをされてもなにが悪いのか理解すらできませんでした。それでも“利用者さんのために絶対にやり遂げてみせる”と、改善案を練り実行し続けていくうちに、段々と売上も伸び、利用者さんの給料も上がってきました。そこでやっと自分の間違いを実感できるようになったのです。壁にぶつかっても継続すること、経験こそが力になると思います。みなさんも失敗を恐れず、決してあきらめずに挑戦を続けてください」と柴田氏は塾生たちに呼びかけました。

武田塾活動報告

第４回武田塾

日 時：平成26年９月26・27日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

平成26年９月26・27日、『第４回合同研修会』の二日目で『第４回武田塾』を行いました。

午前中は、ゲストにお招きした（有）ドアーズ 柴田智宏代表取締役への質問を行い、柴田氏の体験談やアドバイスを聞き、各自の今後の取り組みの参考としました。

午後からは、武田塾で残り１年間の取り組みをどういった方法で進めていくかを検討。今後は利用者の月額平均給料３万円以上を目指すグループ、５万円以上を目指すグループに分かれて目標達成に向けて取り組んでいくことを決めました。

最後に武田塾長は「いま行っている延長線上に、目標とする給料増額のゴールが見えていない塾生も多いはずです。ということはやり方を転換する必要がある。事業のあり方、ものづくりのあり方、利用者支援のあり方、その辺をもう一度検証する必要性を確認できたと思います」と総括しました。

■ 研修会（分科会）の内容

日　程	プログラム
９月27日	■（有）ドアーズ 柴田智宏代表取締役を囲んで ■ 残り１年間の取り組み方の検討 ■ 塾長総括

●（有）ドアーズ 柴田智宏代表取締役を囲んで

「柴田さんは次々と新事業に挑まれているが、どのようにして思いついているのだろうか？」。塾生の問いに柴田氏は「研修会などで指摘された問題点をどう解決すれば、給料を上げることができるのか。どこに行っても頭の中でずっと考えています。新しい仕事のチャンスがあれば、その作業や商品についてすぐに調べ、検討しチャレンジします。例えばペットフードの袋詰めのお話をいただいた時は、ホームセンターに出かけ、どのような袋なのかを見て、その工程を考え、自分たちにできること、できないことはどうすればできるようになるのかを検討しました。大切なのは、自ら考え工夫し行動することです。でも新しい仕事の声をかけていただき、挑戦ができるのも納期などの約束を守り信頼を得るように心がけてきたからです」と話しました。

武田塾長は「“障がい者施設だから”と言い訳をしてきた人はいませんか。柴田さんのお話には、どのようにやり方を変えていけばよいかのヒントが隠されています。これまでのことを振り返り、今後のあり方を検討していきましょう」と呼びかけました。

意識を変える「塾長名言」

「方法を変えるのは当たり前のことがきちんとできてから」

武田塾長は開塾時より「全職員がPDCAをきちんと行い、目標に向かって進む、この基本さえできれば利用者さんの給料は自ずと増額できるはずです」と話してきました。「その上で次の目標の達成が難しい場合、いま行っていることからの方向転換も必要となります。だが、その前にやるべきことをやり遂げているのかを検証してほしい」と話しました。

第５回武田塾・プロジェクトH参画

日 時：平成26年11月７・８日
場 所：（社福）はらから福祉会（宮城県柴田郡）

目標３万円、目標５万円の二つのグループに分かれて、それぞれ活動を開始した武田塾。平成26年11月７・８日に行われた第５回武田塾では給料増額に結び付く具体的な手段の一つとして『プロジェクトH』に参加しました。プロジェクトHの名称は「震災からの復興（Hukko）と、給料保障（Hosho）」の頭文字を取っています。

塾生たちは、東日本大震災で被災した材料提供会社、加工会社を訪問。震災後の現状について話を聞きました。被災事業所と協働し、OEM商品の開発から販売促進の方法までを研修会の中で討議。ともに売上を伸ばしていくことで、被災地支援にもつながる取り組みを考えていきました。

■ 研修会の内容

日　程	プログラム
11月７日	■ 被災地の現状視察（宮城県女川町） ■ 被災地の企業訪問：（株）岡清（女川町） ：（株）大地フーズ（石巻市）
11月８日	■ 塾生の商品企画提案と協議 ■ 官公需と大口受注対策について ■ 独自販路の開拓について

● いかにして売れる商品、販路を創出するか

初日に見学した（株）大地フーズは、ハンバーグ製造の優れた加工技術と実績を持っています。塾生は「どのような工程が可能か、肉以外の水産食材での加工実績はあるのか、果物を材料に使えるのか」など次々と商品開発に関する積極的な質問を投げかけました。

（社福）共生シンフォニー
中崎ひとみ常務理事

翌日、塾生たちは、塾長より課題とされていた被災地の会社と協働で開発するオリジナルハンバーグの企画を発表。塾生たちが提案したゆるキャラハンバーグ、おからハンバーグなどのアイデアに対し、商品化にあたって冷凍保存やレトルト加工方法をどう行うのか、だれにどう販売するかなどを協議しました。こうしたアイデアは、ハンバーグだけに留まらずクッキーや他の商品にも転化することで、塾生たちの施設の特性を活かして売上と給料増額に直結していけると話し合いは盛り上がりました。

プロジェクトHには、亀井塾長、第10回小倉昌男賞受賞者である社会福祉法人共生シンフォニーの中崎ひとみ常務理事も参加し、商品企画や販売促進などについてアドバイスをいただきました。

意識を変える「塾長名言」

「利用者さんの給料は利用者支援のバロメーターだ」

「利用者さんの給料より利用者さんのケアが大事では」。そんな意見に対し武田塾長は「利用者さんが当たり前の暮らしを営み、自立した生活を送れるように支援する、それが利用者支援の真の目的です」といつも答えています。「私たちは、一人でも多くの利用者さんが働けるように、少しでも多くの給料を支払えるように努力しなければなりません。利用者さんの給料は、利用者支援のバロメーターなのです」。

第６回武田塾・実地見学会

日 時：平成27年３月６・７日
場 所：東横イン埼玉三郷駅前（埼玉県三郷市）

平成27年３月７日、武田塾参加施設の一つ『コンパス』が、事業改革モデル化資金の助成を受け「手づくりパンの直売所」をオープンしました。第６回武田塾は、その実地見学会をかねて３月６・７日に埼玉県三郷市で開催しました。

初日は、三郷市のホテルに集まり、研修・勉強会を開催。コンパスとともに事業改革モデル化資金の助成を受けた『かしのみ』が現在の進捗状況を発表しました。

武田塾長は、塾生たちの参考となるように、武田塾長のはらから福祉会が進めている新たな取り組みについて報告。「はらから福祉会は、これ以上取引先を増やし、仕事量を増やすにはキャパシティとして限界にきています。いまよりも売上を伸ばし、給料増額を達成するには、レベルの高い取引先を相手にできる事業所へと変わっていかなければなりません。例えばゴミ一つ落ちていない、整理整頓と衛生管理の行き届いた事業所とし、訪れた人がこんなにきれいなのかと驚くくらいに変わっていくこと。職員全員が営業マンとなり、我々の商品、施設について、なぜ自分がここで働いているかを語ることで、共感者をつくり、ファンをつくります。これができない職員には辞めてもらう、その決意でいます」と話しました。

翌日は、塾生施設のコンパスを訪ねオープンした直売所を実地見学しました。この直売所ではコンパスが製造する手づくりパンに加え、他の塾生から仕入れた商品も販売し、武田塾のアンテナショップとしての役割も担っています。塾生は、コンパスの置かれた状況や環境を見ながら、自分なりの改善策を考え意見を交換。それを参考に、自分たちの施設で今後なにを行うべきかを検討していきました。

■ 研修会の内容

日　程	プログラム
3月6日	■ 事業改革モデル化資金受領施設の報告・質疑応答 ：(NPO) コンパスの会　コンパス ：(NPO) 樫の実作業所　就労支援事業所　かしのみ
3月7日	■ 実地見学会　：コンパス（埼玉県三郷市） ■ 給料アップについての意見交換

武田塾 塾生の変化

（NPO）樫の実作業所 「就労支援事業所　かしのみ」

食品加工事業（山梨県甲府市）

○平成25年に下請け主体の体制から、自主生産・販売体制へ転換。フルーツ大国山梨という地の利を活かし「ドライフルーツの加工・販売」を開始。
○武田塾で学んだPDCA手法を徹底し、商品力、販路拡大を進め、平成26年に入り平均月額給料２万円以上に到達。
○カステラ、かりんとうなどの菓子類の仕入れ販売も開始したが、このままでは目標３万円以上に届かない。
○既に数社からの受注予約も受けている「業務用食材の生産」をもう一つの自主生産事業の柱とするため、事業改革モデル化資金に申請。調理の効率を飛躍的に向上させる「スチームコンベクション」を導入。
○惣菜から業務用食材まで幅広い商品化を企画。また新たな事業所の開設も計画。一人でも多くの利用者に、平均月額給料３万5000円以上の支給を目指す。

【給料増額の推移】

ドライフルーツの加工

●平成25年７月
平均給料：１万584円
利用者　：５名

▼

●平成26年７月
平均給料：２万2179円
利用者　：７名

▼

業務用食材の生産

●平成27年３月
平均給料：３万4116円
利用者　：10名

● 恵まれた環境をどう活かすか「実地見学会」

実地見学会で武田塾長は、コンパスの周辺環境に注目しました。

「周辺にたくさんの人が住んでいることが、コンパスの最大の財産。今後は、いかにしてこの人たちを直売所に集め、商品を買っていただくかです。商品力があれば、お客様はまた来店してくれますし、その魅力を口コミで伝え、さらなる集客につながります。全職員が必ず給料増額を達成すると覚悟を決め、よりよい商品開発やPR、営業方法などの戦略を立て必ず実践してください」。

●「全職員が覚悟を決め、後半年で結果を出す」武田塾長

実地見学会を終えた後、塾生たちは、コンパスのこれからの改善点を話し合いながら、新たに気づいた点を自分たちの施設で今後どう活かしていくかを見直していきました。武田塾長は「給料を増額したい、目標を達成したいのではなく“なんとしてもやり遂げてみせる”その覚悟が必要です」と全員に呼びかけました。

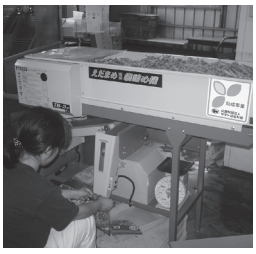
「原価60円の商品を100円で売りたいなら、40円の付加価値を考え出すことが職員の仕事です。この価値が低ければ、給料も低くなります。いくら商品に魅力があっても、つくり手の考える魅力と買い手が感じる魅力がマッチしなければ、数は売れません。大切なのは、需要と供給のバランスです。つくった物をどう売るかではなく、売れる物をどうつくるか。マーケットインにしてください。次に大切なのは、その商品を利用者さんが生産できるように工夫することです。これまで同じように学んできた塾生でも成果が異なるのは“だれのためにこの仕事をしているのかを、どれだけ強く自覚しているか”の違いにあります。全職員がなんとしても目標を達成するという覚悟を決め、残り半年で結果を出してください」と塾生に決意を促しました。

武田塾 塾生の変化

（社福）ゆずりは会「ゆずりは」

農　業（群馬県前橋市）

○いままで行ってきた各事業の収支を検証し、より成長できる事業に絞り込む。
○ゆずりはでの優先順位は、農作業。そのためタマネギのトリミング・皮むき事業を縮小。
○機械の導入で生産量を増やせる枝豆に力を入れる。
○事業改革モデル化資金を申請し、枝豆定量袋詰機、播種機を導入。
○農業による生産性を上げ出荷量のさらなる増大を実現し、利用者の給料５万円の達成を目指す。


枝豆定量袋詰機

【給料増額の推移】

●平成25年７月
平均給料：３万100円
利用者　：24名

▶

●平成26年７月
平均給料：３万6320円
利用者　：28名

▶

●平成27年３月
平均給料：３万6999円
利用者　：26名

意識を変える「塾長名言」

「利用者さんにとっては結果がすべてです」

「いかに売れる商品を考え出すか、利用者さんを育て働く機会を広げ、給料を増額できるか。我々の支援力が、利用者さんの暮らしに直結していることを改めて自覚してください。利用者さんの給料が1万円なら、それは自分たちの支援力がそれだけしかないということ。利用者さんにとって結果がすべてであり、我々が一生懸命やったとかは関係ないのです。なんとしても目標給料を達成する、その結果を出すことこそ、いまの私たちの使命です」と武田塾長は話しています。

新堂塾活動報告

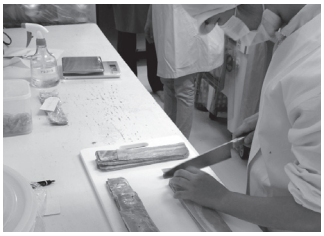
塾生施設の見学・勉強会

日 時：平成26年６月30日
場 所：恵愛ワークセンター・自立支援センター たんぽぽ（福岡県大牟田市）

新堂塾の塾生が取り組んでいるのは、“作業の工程分析”と“ライン化”です。作業内容を簡単な動作でも行うことができるように細かく工程分けすれば、障がいの重さに関係なく利用者は自分に合った仕事を担当できます。訓練すれば別の仕事も担当できるようにもなります。さらに、全体の仕事の流れ、動線などを配慮してライン化することで、生産性を高め売上を伸ばし、給料増額を目指すことができます。

新堂塾では、各塾生の施設を訪ねて取り組み成果を視察しながら、今後の改善点を他の塾生と一緒に考える見学・勉強会を開いています。

平成26年６月30日には、福岡県大牟田市で弁当・配食サービス事業を行う『たんぽぽ』とパン製造販売を行う『恵愛ワークセンター』を訪問。問題点などを相互に確認し合い、見学先の塾生だけではなく、参加した他の塾生も自身の改善に役立てるようにしました。



恵愛ワークセンター

■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
６月30日	■ 塾生施設の見学・勉強会（福岡県大牟田市） ：障害者就労・自立センター たんぽぽ ：障害者福祉サービス事業 恵愛ワークセンター

● 見学・勉強会「障害者就労・自立支援センター たんぽぽ」

自立センター たんぽぽ

たんぽぽでは、開所時より弁当の盛りつけ作業にベルトコンベアを導入し、生産性を高めるように工夫してきました。しかし、いま一つ売上を伸ばすことができていません。見学勉強会では「流れてくる弁当が遅い」「ラインに人が多すぎる」「指示出しが遅い」「利用者さんにできることしかさせていない」などの指摘を受けました。早速、弁当、厨房の責任者と改善策を検討。まず取りかかったのは“作業の見える化”です。ベルトコンベアに次になにが何個流れてくるのかを「文字と色」で表示。指示出しを口頭からホワイトボードへの記入に変え、利用者が自ら仕事内容を確認し前準備に取りかかれるようにしました。

また、塾長、管野教授から「ベルトコンベアに頼った盛りつけはボトルネックが起きて生産性が上がらない。一人ひとりの技能を上げ、ベルトコンベアに頼らない手法を考えるべき」と次の課題を受けました。

意識を変える「塾長名言」

「利用者さんがどこでなにをするのか〝見える化〟する」

「“いつ・どこで・なにをするのかが、目で見てわかる”それが利用者さんにとって働きやすい環境です。利用者さんが得意な作業を担当できるように工程分けしても、どこに行けばよいのか迷ってしまうようでは意味がありません。どこで、どんな作業を、どの手順で行うのか。口頭ではなく“見える化”して指示することで、作業効率は大幅に向上します」。

塾生施設の見学・勉強会

日 時：平成26年９月16日
場 所：ワークアイ・船橋（千葉県船橋市）

入塾から約１年、塾生がどのように改革を進めているのか。平成26年９月16日、千葉県船橋市で点字名刺作成、印刷、テープ起こしなどを行う『ワークアイ・船橋』で、見学・勉強会を開催しました。ワークアイ・船橋では、中間業者からまわってくるさまざまな仕事を約40名の利用者が作業していますが、受け身の営業体制からどう脱却するかに悩んでいます。新堂塾長は、参加した塾生と一緒に現場の取り組み状況をチェック。問題点の洗い出しと解決方法を参加者全員で議論しました。

■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
９月16日	■ 塾生施設の見学・勉強会（千葉県船橋市） ：（社福）あかね　ワークアイ・船橋

● 見学・勉強会「ワークアイ・船橋」

ワークアイ・船橋

ワークアイ・船橋では、ケーブルテレビのレンタル用機材の清掃、チラシの折り込み、景品の袋詰めといった軽作業も受注しています。現場を視察した新堂塾長とオブザーバーであり講師である東京学芸大学の菅野 敦教授は「たくさん仕事の種類がありますが、事業の柱を決めることが大切です」と話しました。点字やテープ起こしは特殊な技術と経験を要するため、限られた利用者のみが担当し、職員が横にいてサポートしています。これを利用者だけで担当できるように育てることで、職員は他の利用者の指導や営業を行うことができます。仕事の質が向上していけば、それに見合った料金を交渉。給料が増額することで利用者の意欲も全体の技術も上がり、料金の高い事業を柱にしていけます。そのためにも収支管理を正確に行い、事業ごとの売上をきちんと出すようにと指示。利用者の能力を把握し、事業所の強みをアピールしてほしいとアドバイスしました。

第４回新堂塾

日 時：平成26年９月26・27日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

平成26年９月26・27日、新堂塾は『第４回合同研修会』に参加し、二日目の分科会で『第４回新堂塾』を開きました。

午前中は、各塾生が現在の取り組み状況を報告。午後は、新堂塾長と菅野教授がそれぞれの報告に対し、アドバイスを行いました。

最後に新堂塾長は「“職員の仕事は、利用者さんの仕事をつくること”。菅野先生からお話しいただいた私たち職員の本来果たすべき役割をしっかりと見つめ直して、残り１年間取り組んでほしいと思います」と話しました。

また新堂塾長は、塾生たちの次の取り組みテーマとして“５Ｓの徹底”を挙げています。「私は、お弁当の楠元塾長が理事長をされている（社福）キャンバスの会の施設を見学する機会を得て、働く環境とはどうあるべきかを改めて考えることができました。整理整頓、衛生管理などを徹底できた事業所には、仕事が自然と舞い込んできます。そんな環境づくりを目指していきましょう」と締めくくりました。

■ **研修会（分科会）の内容**

日　程	プログラム
9月27日	■ 塾生の進捗報告 ■ 新堂塾長と菅野教授による講評 ■ 塾長総括

●“利用者さんのため”という目的を再確認
新堂塾　アドバイザー・講師　菅野教授

新堂塾では、開塾以来、東京学芸大学の菅野 敦教授にアドバイザー、講師としてご協力をいただいています。菅野教授は、塾生施設の見学勉強会にも同行し、具体的にアドバイスを行ってきました。

「塾生として残された時間は、後１年です。いまみなさんに気をつけてほしいのは、給料を上げることだけが目標になっていないかということ。仕事量をたくさん持ってくれば給料が上がると勘違いをしている人はいませんか。そこには重大な落とし穴があります。例えば、仕事量が増えたので生産力を上げるために機械を導入したとします。しかし、機械化でどういう工程をつくるかまでをきちんと考えていないと、利用者さんの仕事量が増えないどころか、逆に仕事を奪ってしまうことになるのです。

みなさんが目指しているのは、すべての利用者さんに月額平均給料３万円以上を支給し、社会的に自立できるように支援することです。それには、一人ひとりの能力、特性に応じた仕事を考える必要があります。大切なのは、普段からちゃんと利用者さんを見ているか、どう関わっているかです。日頃から利用者さんに仕事の準備や片付けを担当してもらい、どれだけ動くことができているのかを見ることが、よいアセスメントになると思います。いま利用者さんが担当している作業種目は、本当にその人に適していますか？　利用者さんをしっかりと見つめ、能力を高める指導を行い、アセスメントしていく。それが職員の仕事なのです」。

第５回新堂塾 見学・勉強会

日 時：平成26年12月19・20日
場 所：工房はづき・キャンバスの会（宮崎県宮崎市・都城市）

平成26年12月19・20日に行われた第５回新堂塾は、宮崎県で見学・勉強会を行いました。

初日は、DMの封入封緘作業を行う塾生施設『工房はづき』を見学。見学後の質疑応答で、塾生からの「ラベル貼りの工程を改善したいが、職員が納得してくれない。どうしたらよいだろうか」という問いに、菅野教授は「この方法がよいと考えても直に導入するのは確かに大変です。しかし、それが利用者さんにとってプラスになる、効率アップになるなら、みんなに理解してもらい、実行する努力が必要です。合理性、理論性があれば現場は納得します。みなさん自身が、説得する力を身につけてください」と答えました。

工房はづき

新堂塾長は「お弁当やクリーニング製品の仕事の工程がどんな風に流れていくのか、利用者さんがどう動いていくのが最良かを考えて設計していきましょう。例えば、ラインを短くしたらどうなるか、より工程を細かく分けたらどうなるかなどをシミュレーションしながら、無理・無駄・ムラのない方法を考えてください」とアドバイスしました。

翌日は、楠元塾長のキャンバスの会を訪ねました。給料増額で大きな成果を上げている弁当部門、リネン部門それぞれの事業所で、どのように利用者の動きを考えライン化を行っているか、整理整頓や衛生管理をどのように徹底しているかを見学。最後に研修会を行い、見てきたことのおさらいと今後の課題を検討しました。

キャンバスの会

■ 見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
12月19日	■ 塾生施設の見学 ：（NPO）工房はづき ■ 研修会・質疑応答
12月20日	■（社福）キャンバスの会見学 ・お弁当部門：（株）丸佳、お弁当のまるよし ・リネン部門：CBSリネンサービス年見事業所 ■ 研修会 キャンバスの会理事長楠元氏を交えて、講義と質疑応答

新堂塾 塾生の変化

（社福）新潟市中央福祉会「ワークセンター日和山」

クリーニング事業（新潟県新潟市）

○オール機械化が難しく大手が敬遠する高齢者施設の私物クリーニングの受注拡大を目指す。

○ジャンプアップ助成で私物専用乾燥機ムーンサルトを導入。また、個別にネットに入れてクリーニング物が混在しないしくみをつくる

私物専用乾燥機ムーンサルト

○作業工程ごとに番号を振るなど作業の見える化を進めるとともに、動線も工夫。より働きやすい環境で生産性の高いライン化を実現。

○乾燥機フィルターの埃詰まりなど、事業所内の清掃担当のシフトを決めて５Ｓを徹底。

【給料増額の推移】

●平成25年７月
平均給料：２万8571円 ▶
利用者　：28名

●平成26年７月
平均給料：４万8148円 ▶
利用者　：27名

●平成27年３月
平均給料：５万円
利用者　：26名

意識を変える「塾長名言」

「無理と無駄とムラをいかになくすかが生産活動のテーマ」

「無理、無駄、ムラをなくせと言いますが、その意味を理解できていますか。10の生産力量があるのに6しか出せていないのは無駄。12も出そうとするのが無理。無駄と無理を続けているのがムラです。これをいかになくして作業量と生産力量をイコールにできるようにすることが、生産活動の大事なテーマです」。

第６回新堂塾

日 時：平成27年２月10・11日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

第６回新堂塾は、平成27年２月10・11日の２日間で塾生たちが新たな課題となっている５Ｓをどのように徹底しているかを含めて進捗状況を報告しました。見学勉強会を行った施設は、その時の反省点などを含めて報告を行い、新堂塾長と菅野教授が今後の課題と改善策を具体的に導いていきました。

二日目には、菅野教授よりこれまで学んできたポイントをまとめていただき、新堂塾長は、改めて５Ｓの取り組み意義・姿勢などを講議しました。

■ 研修会の内容

日　程	プログラム
2月10日	■ 塾生の進捗報告 ■ 見学会の報告と質疑応答
2月11日	■ いままでの復習（菅野教授） ■ ５Ｓと営業（新堂塾長）

●「５Ｓの必要性を、職員全員が理解し直ちに実践を」新堂塾長

「仕事で失敗をするとなにかを失うことになります。ミスをやり直すコストや時間はまだしも、信用や信頼など失ってはならないものもあるはずです。このミスを未然に防ぐことにも、５Ｓは役立ちます。５Ｓは、掃除をしたとか片付けをしたとか単純なものではありません。整理整頓を行うことで、物や情報をきちんと把握でき、つまらない失敗や無駄をなくすことができます。５Ｓの徹底により『仕事の効率と質を高める、在庫の回転率を上げる、宣伝効果を高める、社員のモチベーションをアップする』などの効果も生まれるのです。しかし、５Ｓは一人だけで行っても意味はありません。法人全体で取り組み、なぜ行う必要があるのか、その理由を職員全員が考え、気づくことが大切です。みなさんの残り期間は約半年しかありません。とりあえずではなく、すぐはじめてください」と新堂塾長は塾生を鼓舞しました。

意識を変える
「塾長名言」

「５Ｓの徹底は
整理整頓だけではなく
決めたことをみんなで
守る風土づくりになる」

「掃除も徹底して行えば、清潔で衛生的な事業所といったイメージをつくり、訪れた方の信頼を得ることにもつながります。５Ｓの徹底には、もう一つ大切な効果があります。それは“全員でルールをつくり、決めたことをきちんと守る”という風土づくりです」。

新堂塾
塾生の変化

（社福）京都聴覚言語障害者福祉協会
「いこいの村・栗の木寮」

パン製造販売
（京都府綾部市）

○パンの袋詰め、ラベル貼りのライン化を進めてきたが、いま一つ成果に結びついていない。
○５Ｓの徹底で整理整頓された働きやすい環境へ。また動線が一つになるようにも改善。
○パンを袋に入れてからではラベルを貼りづらい。先に袋にラベルを貼るように工程を変更。
○作業場所に写真を貼り、利用者が目で見て確認しわかりやすく作業できるように工夫。
○午前中は全員で袋詰め、午後は配達と仕込みと利用者の担当できる仕事を増やした。
○利用者のやる気も高まり、中にはパンを焼けるようになった人も育った。
○パン製造販売に関わる利用者を増やし、より多くの人に高い給料支給を目指す。

【給料増額の推移】
●平成25年７月
平均給料：１万6275円
利用者　：４名
▼
●平成26年７月
平均給料：２万5870円
利用者　：５名
▼
●平成27年３月
平均給料：３万6283円
利用者　：６名

亀井塾活動報告

第４回亀井塾

日 時：平成26年６月13日・14日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

亀井塾長は、現在行っている事業だけで給料増額が見込めないのであれば、新しい看板商品を開発する、新しい事業をはじめるなど、売上の柱をつくるようにと呼びかけてきました。塾生たちはそれぞれ独自の改革案を練り、平成26年６月までに亀井塾の三つの施設が事業改革モデル化資金を受給し、新規事業を開始しました。

平成26年６月13・14日に行われた亀井塾の初日は、この３施設が、事業改革モデル化資金を使った今後の計画を発表。他の塾生も今期の事業計画の修正案を立て、二日間に分けて発表しました。亀井塾長は、各施設の現状をグラフ化し、今後目標とすべき数値を提案。塾生一人ひとりの計画の問題点を指摘するとともに、改善点と課題をアドバイスしていきました。

■ 研修会の内容

日　程	プログラム
６月13日	■ 事業改革モデル化資金受給者による発表 ：（社 福）いわみ福祉会　ワークくわの木江津事業所 ：（社 福）苅田町社会福祉協議会　くすのき作業所 ：（NPO）NPOデフNet.かごしま　ぶどうの木 ■ 塾生による今期事業計画修正案発表
６月14日	■ 塾生による今期事業計画修正案発表（続き） ■ 塾長からのまとめと次回の課題

●「やれることをきちんとやっているかを見直す」亀井塾長

「みなさんは、７月に月給３万円、来年７月には５万円という目標を立てて進んでいますが、現状を見てみると、簡単に実現できる数字ではないと思います。でもみなさんはそのためにここに入塾した訳ですから、いまさらできないと弱音を吐いている場合ではありません。大事なのは、目標達成に向けてどれだけどう取り組んでいくかです。まだやるべきことで、できていない点はありませんか？　もう一度、原価計算からしっかりやってみてください。お客様に満足いただける品質、価格設定になっていますか？　材料費に無駄はありませんか？　適正価格で仕入れていますか？　取引先としっかり話をしてみましょう。そのためには専門知識も必要であり、勉強もしなければなりません。こうした努力を重ねていると自分の商品に自信を持てるようになります。だれにどうやって売るのか、アイデアも生まれてきます。生産量を確保できるように体制も見直せるようになります。事業改革を進めるために、施設のトップを説得する理論も構築できるようになると思います。最も大事なのは売れる商品をつくること。次回は美味しい商品をつくる技をプロのパティシェから学ぶお菓子分科会を開きますので、ぜひ参加してください」。

意識を変える「塾長名言」

「魚は頭から泳ぐもの。トップがしっかりしないとみんなが溺れてしまう」

「実践塾を開始して７ヵ月、塾生たちはいかにして利用者さんの給料を増額するかを真剣に考え、実現に取り組んでいます。しかし、施設トップの中には、利用者さんの給料を上げることが利用者さんの夢をかなえる一歩となるという大前提を理解していない方もいます。魚は頭から泳ぐもの。トップがしっかりしないとみんなが溺れてしまうことを自覚してほしいですね」。

お菓子分科会

日 時：平成26年７月12・13日
場 所：（社福）ひびき福祉会 ハイワークひびき（大阪府東大阪市）

平成26年７月13日、亀井塾長の施設『ハイワークひびき』で、久合田 純パティシェをはじめ４人の講師によるお菓子分科会を開催しました。クッキー、マドレーヌ、パウンドケーキなどのハイワークひびきのオリジナルレシピを塾生に公開。塾生には細かくレシピを記した資料が手渡され、どのように製造していくのか、久合田パティシェが具体的に目の前で実演してみせました。

実演の後、塾生は３班に分かれて実際にお菓子を製造。プロの指導のもとでお菓子づくりのノウハウを体験的に学びました。塾生たちは「実際に触ってつくることで、粉の混ざり具合、混ぜ合わせ方をつかむことができました」「素材の知識、粉の混ぜ方や、バターの固さ、材料の扱い方がとても勉強になった。まさに目からウロコの分科会でした」「いままでいくら試作しても他の職員からダメ出しばかりで落ち込んでいました。今回、生地をしっとりさせるにはどうすればいいのか、粉や卵を入れるタイミングなど、いろいろなポイントがわかったので、早速試してみます」など、それぞれ確かな手応えを得ることができました。

午後からは、ハイワークひびきで、利用者がどのように菓子製造作業に関わっているか、また衛生面をどのように徹底しているかなどを解説。実際に使用している衛生管理チェックシートを見ながら、塾生たちは自分の施設にどう取り入れていくかを具体的に検討することができました。

■ お菓子分科会の内容

日　程	プログラム
７月13日	■ 講師：（社福）ひびき福祉会　ハイワークひびき パティシェ　久合田 純氏 ■ 菓子実演（クッキー、マドレーヌ、パウンドケーキ） ■ ハイワークひびきでの取り組み説明 （衛生面、利用者の作業への関わり）

亀井塾 塾生の変化

（社福）いわみ福祉会「ワークくわの木江津事業所」

食品加工事業（島根県江津市）

○島根県江津市特産のおいも「いわみ蜜衛門」を原材料にブランド化を展開。
○平成26年に新商品としてテスト販売した「おいもの学校　干しいも」が好評で注文が増加。
○パッケージも販路もあり、後は製造設備を整えれば売上増が見込めるため、事業改革モデル化資金に申請し、野菜乾燥機２台、水分活性測定器を購入。生産量を約３倍に強化した。
○おいもの収穫期以外でも加工食品事業で売上を安定できるように営業を展開。防災食品の加工の仕事を２万パック受注した。
○より多くの利用者に多くの給料を支払える体制を整え、平成27年４月以降は利用者15名が加工事業に従事している。

【給料増額の推移】

●平成25年７月
平均給料：１万7080円
利用者　：５名
▼
●平成26年７月
平均給料：２万770円
利用者　：５名
▼
●平成27年３月
平均給料：２万5590円
利用者　：５名

第５回亀井塾

日 時：平成26年９月26・27日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

平成26年９月26・27日、亀井塾は『第４回合同研修会』に参加し、二日目の分科会で『第５回亀井塾』を開きました。

各塾生が提出した現在の取り組み状況、収支管理データなどを亀井塾長が細かくチェック。“収支管理システムにきちんと入力し、正しい数値を出すことができているか。利用者の給料はどうやって算出しているか。当面の目標の月額平均給料３万円達成にはいくら売り上げなければならないか。その数字をもとにPDCAを行っているか。無駄なコストはないか。売上を伸ばすための新しい事業改善案はないのか”など、一人ひとりと質疑応答しながら、具体的にアドバイスを行いました。

亀井塾長は総括として「問題なのは、数字を正しく把握できていないことです。目標の給料を支払うためにはいくら売上、どれだけ利益を出さなければならないかを明確にしてください。全職員でどこが悪いのか、どう改善すべきかを話し合い、改めて計画を練り直すことを次の課題とします」と締めくくりました。

■ 研修会（分科会）の内容

日　程	プログラム
９月27日	■ 塾生の進捗報告 ■ 亀井塾長による講評 ■ 塾長総括

亀井塾 塾生の変化

（NPO）あさがお「きぼうのあさがお」

菓子製造事業ほか（福島県南相馬市）

○青ばた豆を専門業者に焙煎してもらい商品化したところ手応えを得る。しかし、目標の給料３万円、５万円にはまだ到達できない壁にぶつかっていた。

○亀井塾長が視察の際に青ばた豆を試食。「味はよいので見た目をよくすればもっと売れる。パッケージデザインを変えよう。量を少なくした小袋サイズもつくり、値段を下げて買い求めやすくしては」とアドバイスを受ける。

○また「青ばた豆にこだわり過ぎるのはよくない。他のお菓子もつくらないとお客様は選ぶことができない」と塾長の施設よりプリンのレシピを送っていただき、新商品の開発に取りかかる。

青ばた豆の乾燥豆

○他にも弁当、給食事業で指摘された問題点の改善に取り組み、平成27年７月までに５万円達成を目指す。

【給料増額の推移】

●平成25年７月
平均給料：２万2417円
利用者　：36名

▶

●成26年７月
平均給料：２万8105円
利用者　：34名

▶

●平成27年３月
平均給料：３万5891円
利用者　：35名

意識を変える「塾長名言」

「毎日やる、続けてやることで改善策が見えてくる」

「例えばクッキーをつくるにしても、注文がきたからつくるではダメ。毎日、計画を立て製造すること。それを売り切るにはどうするかをとことん考えてほしい。店頭だけで売り切れなければ町に出て販売する。毎日続けることで、売れない理由も見えてきます。毎日つくるから利用者さんの技術も向上するし、働きやすくする動線などの工夫もできるようになります。PDCAもそうでしょう。続けなければ改善策は生まれませんよ」。

亀井塾長による塾生施設の視察

日　時：平成26年10月～平成27年１月
視察先：亀井塾塾生６施設

「各塾生施設の問題点を探り、具体的に解決案を指導するには現場を拝見することが一番」そう考える亀井塾長は、塾生施設の視察を行っています。

データだけでは見えてこない現場の課題、改善点を一つひとつチェックし、施設のトップにもアドバイスを行いました。

軽食・喫茶の木立

ふくふく亭

■ 亀井塾長による塾生施設の視察

	日　程	プログラム
平成26年	10月 3日	■（NPO）サポートセンター木立　軽食・喫茶の木立（兵庫県加古川市）
	12月10日	■（NPO）ほっとスペースひだまり　ふくふく亭（栃木県宇都宮市）
	12月11日	■（NPO）あさがお　きぼうのあさがお（福島県南相馬市）
平成27年	1月20日	■（社福）北日野こもれび会　ぴーぷるファン（福井県越前市） ■（社福）あおぞら福祉会　工房シティ（石川県金沢市）
	1月21日	■（社福）あゆみ福祉会　あゆみ作業所（滋賀県東近江市）

ぴーぷるファン

工房シティ

あゆみ作業所

きぼうのあさがお

第６回亀井塾

日 時：平成27年２月27・28日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

平成27年２月27・28日に行われた第６回亀井塾は、亀井塾長が昨年９月から行ってきた塾生施設の視察報告からはじまりました。亀井塾長の目から見ると、塾生本人たちには見えていなかった施設の問題点も明確になり、塾生たちは改めて売上を伸ばすための具体的な改善点を考える機会を得ました。

その後、塾生が現状報告と今後の計画を発表。二日目の最後に亀井塾長は「いま施設に通っている利用者さんが10人以上いるところは、10人以上に目標の給料を支払えるようにすること。３人や４人ではまだ本当に目標を達成したことにはなりません。次にもっと売る姿勢を見せてほしい。みなさんのやり方は大名商売です。売るためにどう努力するか。注文が来たらつくるのではなく、毎日つくって売りに行く。売れるまで帰らない覚悟で売りに行くくらいにならないと、つくってくれた利用者さんは報われません」と残り約半年で成果を上げる精一杯の努力をするように呼びかけました。

意識を変える「塾長名言」

「目標があるからみんなが努力し実現の可能性も生まれる」

「１年が経ち利用者さんに３万円、５万円の給料を支払うのはもう無理ではと思っている人がいるでしょう。でも目標数字を下げたらダメですよ。目標があるからこそ、そのためにどうすべきかをみんなで話し合い、努力できるのです。目標達成に向けて計画し実行する、そこではじめて３万円、５万円を実現できる可能性も生まれるのです。職員みんなで利用者さんのために、最後まで頑張り通してください」。

亀井塾活動報告

■ 研修会の内容

日　程	プログラム
2月27日	■ 塾長からの視察報告 ■ 塾生によるこれまでの実績報告
2月28日	■ 塾生による来期事業計画 ■ 塾長からのまとめと次回の課題

●「なにを行うお店か看板を出して地元で徹底的にアピール」亀井塾長

亀井塾長は、視察してきた一つひとつの施設に次のような課題を投げかけました。

「サポートセンター木立は、クッキーづくりをはじめて売上が伸びはじめました。これからはその利益をどれだけ利用者さんに配分し、新しい設備投資の積立にいくらまわすかの基準を明確にすること、計画性が求められます。ふくふく亭は、中華のお弁当をつくっていますが、温かい料理でなければ美味しさは半減するので、そこが改善ポイントです。きぼうのあさがおは、車で他所に販売を行っていますが、まずは足下を固めること。地元で常設店をつくることを勧めます。ぴーぷるファンのクッキーは美味しいのですが大きすぎます。食べやすさも商品の魅力の一つです。チョココーティングした商品の開発にも挑むとよいでしょう。工房シティのクッキーは、煎餅みたいに薄くて物足りません。シフォンケーキは味があっさりしているので、そこを改善してほしいと思います。4月にケーキ屋さんをオープンするあゆみ作業所は、工事中でブルーシートがかかっていました。このままでは周辺の方はなんのお店ができていくのかわからないので、いますぐ宣伝をはじめてください」。

この『なにをやっているか』のアピールが、他の塾生もできていないと亀井塾長は指摘しました。早急に全員が事業所名ではなく『なんのお店か』を明記した看板づくりをはじめてほしいと課題を出しました。

「看板には必ずパンやクッキーなど商品を明確に表示してください。例えば、パンで言えば天然酵母だとかお菓子で言えば焼き菓子とかオーガニックとか特徴を書きましょう。弁当でも町で売っている物となにが違うのか、地元の食材を使っているとか、ヘルシーだとか特徴を書いた看板を上げることが大事なのです。みなさんが販売した商品から生まれる利益が、利用者さんの給料になることを忘れずに、残り半年間の１日１日を頑張り続けてください」。

意識を変える「塾長名言」

「宣伝するのは施設名ではなく商品名です」

「ただ商品を並べて置いているだけで売れるほど、商売は甘くありません。売るための戦略というのはものすごく大事です。例えば、みなさんが掲げる看板には事業所名しか書いていません。それを見て、なにを売っている、なにをつくっているお店かわかりますか？これではお客様が入ってくるはずがありません。もっと宣伝をしてくだい。自分たちの商品の特徴を見つめ直し、自信を持って積極的にアピールしていきましょう」。

楠元塾活動報告

第１回楠元塾・開講式

日 時：平成26年９月26・27日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

平成26年９月26･27日、楠元塾に入塾した９名の新塾生が『第４回合同研修会』に参加。初日に武田・新堂・亀井塾塾生たちの成果報告を聞き「自分たちも利用者さんの給料増額を達成する」と決意を固めました。

二日目は、分科会として『第１回楠元塾・開講式』を行い、塾生たちはどのような思いで塾に参加したか自己紹介をしました。楠元塾長は「弁当・配食サービス事業は、みなさんの想像以上に厳しいものです。これからいろいろなことをやっていかなければなりませんが、利用者さんのために最後までやり遂げていきましょう」と挨拶。現在、楠元塾長のキャンバスの会が提供している多彩な弁当のメニュー、作業環境や品質・衛生管理の方法、売上・経費・在庫管理の方法などを写真とともに紹介し、これから取り組む弁当・配食サービス事業について説明しました。さらにPDCAとはなにか、その実践に役立つ収支管理システムの活用法についても解説。「毎日システムにデータを入力すること、毎月必ずPDCAの実践報告を提出すること。これからお弁当事業をはじめる塾生は、だれにどんなお弁当をつくり、いくら売上を上げるかの事業計画をつくること。すでにお弁当事業を行っている塾生は、３万円の給料を達成するための売上計画を立てることをそれぞれの課題とします。目標は１日300食です」。塾長の言葉を、塾生たちは身を引き締めて聞き入っていました。

■ 研修会・開講式（分科会）の内容

日　程	プログラム
９月26日	■ 懇談会（楠元塾および塾生の紹介）
９月27日	■ 開講式 ■ 各塾生の自己紹介 ■ 塾長講話・質疑 ■ 弁当事業の事業化に関する計画づくりについて ■ 各自の課題の設定、今後の進め方

●「つくりたいものでなく、お客さまの求めるものを」楠元塾長

「いまみなさんがつくっているお弁当が、本当にお客様の求めているものなのかを見直してください。お弁当はまず見た目が大事です。いくら美味しくても見映えがしなければ選んでもらえません。メニュー以外にも仕事の進め方、収支や在庫管理、衛生管理の方法など、いろいろと改善しなければならないことがあるはずです。キャンバスの会では、お客様からの味の評価やご要望をリサーチし、それを製造する職員に必ず伝えています。また売上目標、売上達成率、在庫状況など、必要な情報は職員、利用者さんにわかりやすく“見える化”する工夫も行っています。こうしたノウハウもすべてお教えしたいと思います。私にできることは、みなさんが給料増額に向けて扉を開くお手伝いにすぎません。重要なのは、自分たちがどう実行するかです。やるからにはしっかり数字を出していきましょう」と楠元塾長は塾生に呼びかけました。

意識を変える「塾長名言」

「真似る、経験する、
改善する、
学びを共有する
それが成功の近道」

「私が事業をはじめた頃は、実践塾などありませんでしたから、お弁当づくりも経営もすべて手探り。試行錯誤を繰り返し遠回りしながらここまでやってきました。みなさんはそのノウハウをそのまま取り入れることができます。失敗もするでしょうが、改善策はいくらでもアドバイスします。こうした経験・学びを塾生同士で共有し、事業を成功する近道を進んでください」。

第２回楠元塾・塾長施設見学会

日 時：平成26年10月14・15日
場 所：（社福）キャンバスの会（宮崎県都城市）

「まずは論より証拠。実際に目で見、耳で聞けば、なにを行うべきかを実感できる」。平成26年10月14・15日に開催された第２回楠元塾は、宮崎県都城市にある楠元塾長の（社福）キャンバスの会を訪ね、弁当・配食サービス事業が実際にどのように進められているかを見学しました。

初日は、お弁当のまるよし、給食センター、（株）丸佳へ。職員に現場を案内してもらいながら、弁当づくりはもちろん、注文の受け方や配達の方法、衛生管理の徹底、伝票管理などを、どのように行っているかを見学しました。

二日目は、お弁当のまるよしで利用者が弁当の盛りつけをどのような作業工程で進めているかなどを見学。利用者の能力を引き出す指導方法、働きやすくするための見える化なども具体的に学ぶことができました。

今回の現地見学会ではリネン事業を行っている事業所も訪ね、より多くの利用者が仕事に従事でき、かつ作業を効率的に進めるための工程分析、ライン化についても学習。塾生たちは、自分の施設との違いを一つひとつ確認しながら、今後の取り組みの参考にしていきました。

■ 塾長施設見学会の内容

日　程	プログラム
10月14日	■（社福）キャンバスの会の事業所見学 ：お弁当のまるよし／給食センター／（株）丸佳 ：CBSリネンサービス年見事業所（リネン事業） ■ 研修・質疑応答
10月15日	■ 弁当の盛りつけなどの作業見学 ■ 食堂事業委託（JA宮崎経済連）の見学 ■ 質疑応答

塾生施設の見学・勉強会

日 時：平成27年１月22・23日
場 所：（NPO）Creer（徳島県徳島市）

平成27年１月23日、徳島県徳島市にある塾生施設『（NPO）Creer（クレエール）』で見学勉強会を開きました。すでに弁当・配食サービス事業を行っていたCreerは、前回の現地見学会で学んだポイントを、早速自分の施設に取り入れ、成果を上げはじめています。

Creerは「お客様の本当に求めているものをつくっていますか？」との塾長の言葉にメニューの見直しから着手。ヘルシーな弁当を売りにしていましたが、お客様の求める唐揚げ、ハンバーグ、豚カツなどボリュームのあるメニューを増やしました。新メニューのチラシを作成し、新規顧客獲得に営業活動も開始。現在１日200食を販売しています。塾生たちは、Creerの現場を見学した後、楠元塾長が指摘した「いかにして生産性を高めるか、衛生管理を徹底するか」などを検討し、自らの施設にも取り入れていくことを課題としました。

■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
１月23日	■（NPO）Creerの見学：弁当調理、盛り付け、配達、販売など ■ 勉強会（ディスカッション、塾長総括）

※前泊し夕方よりオリエンテーションと試食会を開催。

●「正しく数字を出せなければ目標も決まらない」楠元塾長

「結果につながらないのは、きちんと目標を数値化できていないからです。仕入原価だけではなく人件費、管理費なども把握できれば、一つの商品でいくら利益が出るかがわかり、目標の給料にはいくつ売り上げなければならないかも明確になります。商品をつくるのはシェフですが、売り先、販売方法を考えるのは職員の仕事です。みなさんはここでなにを学びましたか？　今日見たことを持ち帰り、すぐ実践してください。時間はあっという間に経ってしまいますよ」。

新堂塾
塾生の変化

（NPO）Creer
「Creer（クレエール）」

弁当・配食サービス事業
（徳島県徳島市）

○塾長施設を見学しサービスの大切さを実感。「いつもご注文いただきありがとうございます」の心を込めた挨拶を電話応対時、配達時にも明るく元気に行うように徹底。
○棚の在庫チェック回数を増やす。棚から商品を出す際には、日付、名前、数量、残数を在庫記録ノートに必ず記入する習慣をつける。
○新メニューのチラシを作成し営業活動を展開。県庁・市役所の顧客の定着、さらに地域の方にお客様になっていただけるようPRする。
○見学・勉強会で指摘された作業効率と衛生管理を改善し、１日300食の売上を目指す。

【給料増額の推移】

●平成25年７月
平均給料：１万6275円
利用者　：４名
▼
●平成26年７月
平均給料：２万5870円
利用者　：５名
▼
●平成27年３月
平均給料：３万6283円
利用者　：６名

意識を変える
「塾長名言」

「迷った時は〝利用者さんの給料アップ〟その目的に立ち戻るだけ」

「いままでやったことがないことをはじめるのですから、職員の中には、何度話しても理解してくれない、動いてくれない人もいるでしょう。どうしてよいかわからない、そんな時は“利用者さんの給料をアップする”自分たちの目的に立ち戻ってください。私たちは、そのためになにをすべきかを考え実行する、それだけです」。

第３回楠元塾

日 時：平成27年２月20・21日
場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

平成27年２月20･21日に行われた楠元塾では、塾生たちが進捗状況を報告し、塾長が一人ひとりにアドバイスを行いました。

「目標に到達できない理由は、必ずどこかにあります。商品メニュー、棚卸し、勤務体制、製造手順など、全職員でPDCAを行い見直してください。チェックしやすいように表をつくる、利用者さんが目で見てわかるように写真を貼る、色分けをするなど、まだ工夫すべき点はたくさんあるはずです。塾生の中には、職員が営業に動いてくれないと泣き言を言って“だれが事業所の責任者なのか、指示をするのはあなたでしょう”と私に叱咤された方もいましたね。今回の報告では、本人自ら営業活動を行い、少しずつ成果を出していることがわかりました。入塾時に比べ、みなさんの表情も少しずつ経営者らしく変わってきたように感じ、うれしく思います」。

■ 研修会の内容

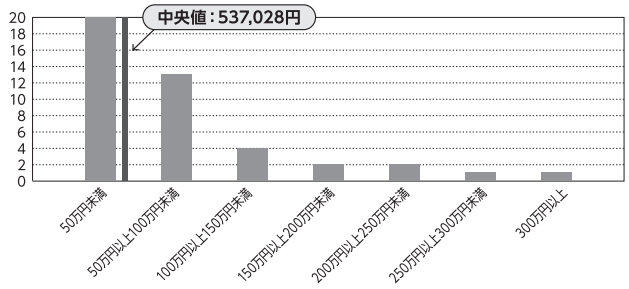
日　程	プログラム
2月20日	■ 塾生より進捗状況の報告 ■ 日替わり弁当戦略（楠元塾長）
2月21日	■ 塾長より講評 ■ 収支管理システムの説明

実践塾成果 ―PDCAサイクルによる成果―
（平成25年９月～平成27年３月）

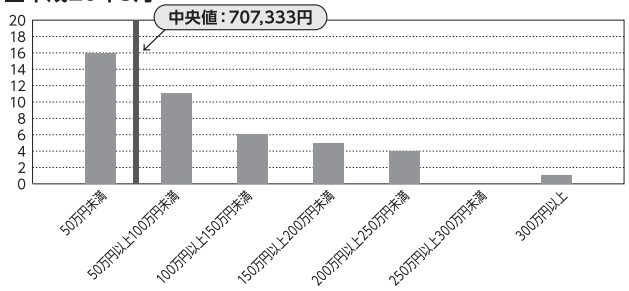
平成25年9月から始まった三つの実践塾では、売上や支払給料目標を立てて、当月目標達成のための計画策定（Plan）、実行（Do）、確認（Check）、修正実行（Action）の循環を毎月繰り返しました。3月末現在在籍している43施設についてその動向を売上、平均月額給料の分布図で以下に示しています。

売上の推移

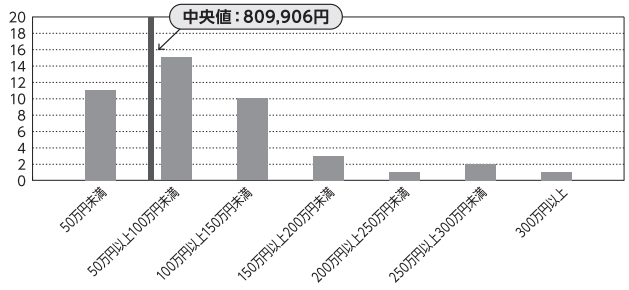
■平成25年9月



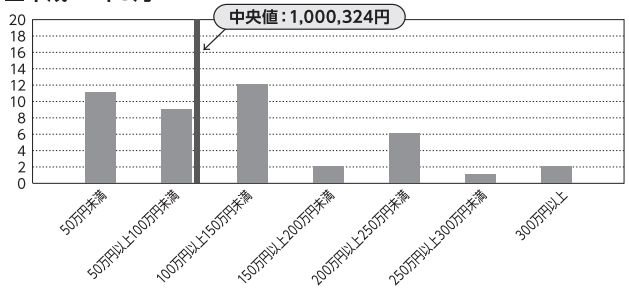
■平成26年3月



■平成26年9月

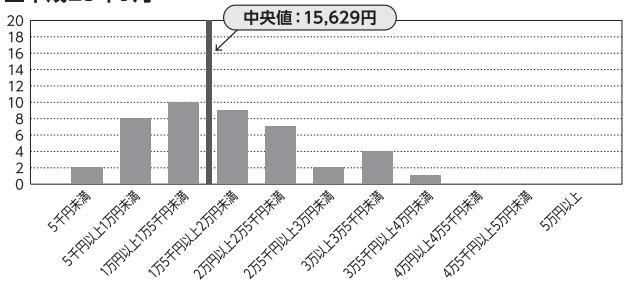


■平成27年3月

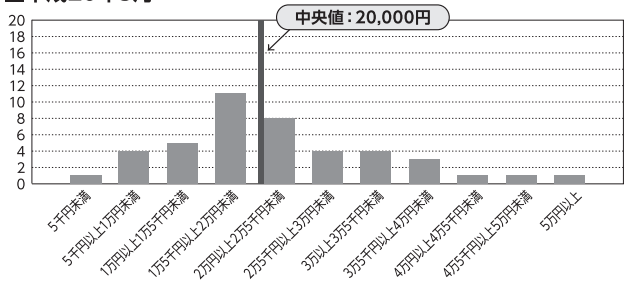


平均月額給料の推移

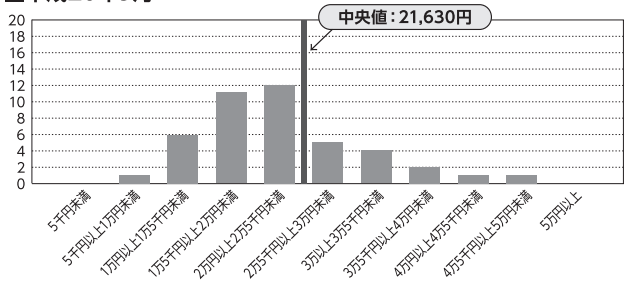
■平成25年9月



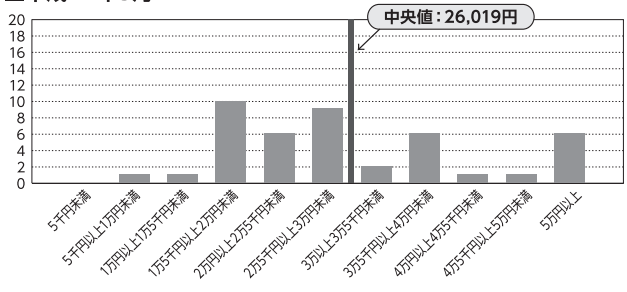
■平成26年3月



■平成26年9月



■平成27年3月



● グラフから見えてくるもの

実践塾が始まった平成25年９月は、半数の施設が月額50万円以下の売上で、平均月額給料も１万5000円以下でした。１年後の平成26年９月には貧困線突破の目安となる月額給料３万円を超えた施設が、５施設から８施設に増加しました。１年半後の平成27年３月には売上の中央値が当初の２倍となり、月額給料の中央値も２万5000円を超えることができましたが、前年３月と比較して利用者給料の剰余金を期末手当として加算支給した施設が目立ちました。増えた収益を毎月の給料支払いに反映させることができなかった実態が浮かびあがっています。

■ 参照数値　実践塾 PDCAサイクルによる成果（平成25年9月～平成27年3月）

			平成25年9月	平成25年12月	平成26年3月	平成26年7月	平成26年9月	平成26年12月	平成27年3月
武田塾	きたのまち ジョブリハセンター	売上金額	378,118	365,702	498,678	602,803	577,761	430,947	572,136
		給料支払総額	235,080	257,327	358,297	324,910	336,336	258,190	275,270
		支払人数	15	13	14	10	11	10	10
		平均給料(一人当たり)	15,672	19,794	25,592	32,491	30,576	25,819	27,527
	第2つくしの里	売上金額	928,441	811,498	871,930	997,510	922,820	800,440	963,330
		給料支払総額	330,750	289,160	398,660	302,050	281,000	294,740	564,630
		支払人数	35	33	35	34	34	35	36
		平均給料(一人当たり)	9,450	8,762	11,390	8,884	8,265	8,421	15,684
	いっぽいっぽあさがお	売上金額	153,646	291,500	390,220	312,430	292,990	331,770	262,020
		給料支払総額	64,000	220,890	259,000	187,000	150,000	153,000	215,346
		支払人数	7	8	7	6	6	6	6
		平均給料(一人当たり)	9,143	27,611	37,000	31,167	25,000	25,500	35,891
	やすらぎの丘 たかとりワークス	売上金額	65,478	52,764	42,720	71,595	83,233	59,132	32,000
		給料支払総額	32,805	31,910	36,612	60,798	70,320	38,307	25,029
		支払人数	5	5	5	5	5	3	3
		平均給料(一人当たり)	6,561	6,382	7,322	12,160	14,064	12,769	8,343
	うぃる工房	売上金額	697,529	1,517,238	1,188,243	1,430,724	1,273,167	6,043,862	1,258,217
		給料支払総額	110,680	304,600	412,575	533,769	502,080	622,836	438,307
		支払人数	16	21	21	29	28	27	17
		平均給料(一人当たり)	6,917	14,504	19,646	18,406	17,931	23,068	25,783
	ふれあいワーク	売上金額	791,068	994,444	746,975	1,344,869	1,036,501	1,411,328	1,322,635
		給料支払総額	274,039	1,312,788	1,538,761	797,446	295,133	1,093,419	2,865,940
		支払人数	28	29	28	26	29	27	28
		平均給料(一人当たり)	9,449	46,303	56,992	30,671	10,177	40,497	102,355
	ワークハウス・ わくわく！	売上金額	659,740	674,242	876,804	1,244,893	1,311,094	1,330,824	1,368,219
		給料支払総額	77,925	71,480	88,805	105,300	91,350	229,350	117,495
		支払人数	5	6	7	7	6	10	7
		平均給料(一人当たり)	15,585	11,913	9,813	15,043	15,225	22,935	16,785
	ブライトハウス住吉	売上金額	2,961,017	2,528,910	2,199,130	2,351,096	2,874,289	2,216,730	2,466,921
		給料支払総額	1,189,566	959,362	1,045,030	1,249,700	1,230,802	1,251,613	1,338,410
		支払人数	63	58	59	63	61	60	58
		平均給料(一人当たり)	18,882	16,541	17,712	19,837	20,177	20,860	23,076
	コンパス	売上金額	242,411	201,480	441,250	645,350	559,920	612,255	842,365
		給料支払総額	120,000	117,000	230,000	273,000	299,000	238,000	392,000
		支払人数	10	9	10	13	13	14	14
		平均給料(一人当たり)	12,000	13,000	23,000	21,000	23,000	17,000	28,000
	第三かめおか作業所	売上金額	506,598	816,815	842,196	1,112,289	809,906	1,301,762	968,263
		給料支払総額	267,750	267,300	300,000	381,225	487,305	595,000	425,000
		支払人数	17	15	15	17	17	17	17
		平均給料(一人当たり)	15,750	17,820	20,000	22,425	28,665	35,000	25,000
	ゆずりは	売上金額	651,288	2,117,260	1,715,131	3,291,746	1,098,461	2,239,969	1,214,251
		給料支払総額	722,431	699,315	669,900	1,016,962	1,003,557	991,524	961,981
		支払人数	24	23	22	28	27	26	26
		平均給料(一人当たり)	30,100	30,405	30,450	36,320	37,169	38,136	36,999
	サポートスクエア ぱおぱお	売上金額		686,020	567,320	801,415	667,400	612,027	634,632
		給料支払総額		262,145	121,365	260,280	245,725	232,690	255,790
		支払人数		13	12	17	17	17	17
		平均給料(一人当たり)		20,165	14,746	15,311	14,454	13,688	15,046
	給食センター キャンパス	売上金額	514,019	578,715	601,546	412,604	656,725	513,989	548,697
		給料支払総額	257,916	301,700	321,756	325,226	375,348	371,040	452,170
		支払人数	15	15	15	17	16	13	16
		平均給料(一人当たり)	17,194	16,529	16,088	19,131	23,459	28,542	28,261
	かしのみ	売上金額	123,451	160,990	160,640	352,760	442,944	587,380	608,639
		給料支払総額	123,450	130,350	160,066	155,256	148,041	292,816	341,158
		支払人数	5	7	8	7	7	11	10
		平均給料(一人当たり)	24,690	16,293	20,008	22,179	21,149	26,620	34,116
	マザーワート	売上金額	1,032,042	1,546,168	1,171,814	1,193,059	1,228,325	1,687,468	1,995,688
		給料支払総額	126,996	154,320	98,274	238,488	222,822	507,265	274,962
		支払人数	12	11	11	12	14	14	14
		平均給料(一人当たり)	10,583	14,029	8,934	19,874	15,916	36,233	19,640
新堂塾	かるべの郷 ドリーム ワークス	売上金額	23,380	248,030	114,370	347,595	263,400	388,367	316,420
		給料支払総額	49,817	131,296	61,979	115,381	121,023	130,046	103,220
		支払人数	5	7	5	7	7	7	5
		平均給料(一人当たり)	9,963	18,757	12,396	16,483	17,289	18,578	20,644
	盛岡杉生園	売上金額	2,031,326	1,108,538	1,150,237	1,668,652	2,181,367	1,137,376	1,046,256
		給料支払総額	616,550	1,234,050	862,600	1,159,740	922,480	1,381,580	853,670
		支払人数	50	50	50	50	50	50	50
		平均給料(一人当たり)	12,331	24,681	17,252	23,194	18,450	27,631	17,073
	恵愛ワークセンター	売上金額	1,496,165	1,753,736	1,747,383	1,288,987	979,310	1,731,125	1,162,237
		給料支払総額	69,705	67,506	228,510	89,696	75,853	84,285	239,885
		支払人数	5	5	5	4	4	4	4
		平均給料(一人当たり)	13,941	13,501	45,702	22,424	18,963	21,071	59,971

■ 参照数値　実践塾 PDCAサイクルによる成果（平成25年9月～平成27年3月）

			平成25年9月	平成25年12月	平成26年3月	平成26年7月	平成26年9月	平成26年12月	平成27年3月
新堂塾	ふれ愛の家	売上金額	846,502	504,840	530,336	679,940	1,276,481	692,338	301,760
		給料支払総額	177,029	152,291	164,977	281,897	267,449	240,850	274,859
		支払人数	14	13	13	13	13	13	13
		平均給料(一人当たり)	12,645	11,715	12,691	21,684	20,573	18,527	21,143
	ワークアイ・船橋	売上金額	990,593	1,349,135	1,699,478	4,602,275	1,027,444	969,799	1,874,719
		給料支払総額	1,007,897	1,016,541	946,734	1,114,207	1,047,205	1,067,484	1,028,894
		支払人数	38	40	37	43	41	45	38
		平均給料(一人当たり)	26,524	25,414	25,587	25,912	25,542	23,722	27,076
	ワークイン中町	売上金額	415,916	544,808	591,460	469,909	543,253	602,750	584,140
		給料支払総額	364,100	415,725	461,450	484,825	464,550	441,400	497,050
		支払人数	24	24	24	26	26	26	26
		平均給料(一人当たり)	15,170	17,321	17,748	17,965	17,206	16,348	18,409
	武蔵境ワーキングセンター	売上金額	929,434	1,182,747	1,369,767	1,176,778	1,453,012	1,583,053	1,479,637
		給料支払総額	814,275	916,000	999,650	1,151,425	1,084,300	1,002,650	2,290,275
		支払人数	23	23	23	23	23	23	23
		平均給料(一人当たり)	35,403	39,826	43,463	50,061	47,143	43,593	99,577
	八幡作業所	売上金額	574,355	608,810	628,371	870,558	562,658	800,000	1,000,000
		給料支払総額	419,175	408,300	444,875	560,325	428,225	464,975	1,103,100
		支払人数	18	18	18	20	20	20	21
		平均給料(一人当たり)	23,287	24,017	24,715	29,490	22,538	24,472	58,057
	あそかの園	売上金額	355,314	377,740	276,097	670,915	346,480	416,500	357,411
		給料支払総額	126,456	139,196	191,447	200,578	213,158	214,348	228,513
		支払人数	10	10	11	12	12	12	12
		平均給料(一人当たり)	12,646	13,920	17,404	16,707	17,763	17,862	19,043
	いこいの村･栗の木寮	売上金額	827,266	921,640	1,067,460	1,027,280	952,590	975,917	1,160,110
		給料支払総額	45,150	67,650	89,550	129,350	119,350	129,450	217,700
		支払人数	4	4	5	5	5	5	6
		平均給料(一人当たり)	11,287	16,912	17,910	25,870	23,870	25,890	36,283
	自立支援センターたんぽぽ	売上金額	3,794,900	4,337,490	4,308,865	4,753,155	3,900,005	3,680,810	3,976,040
		給料支払総額	546,087	549,706	544,637	667,867	660,791	556,424	608,129
		支払人数	19	19	17	18	18	16	15
		平均給料(一人当たり)	28,741	28,931	32,037	37,103	36,710	34,776	40,541
	工房はづき	売上金額	155,761	1,294,715	904,841	442,843	560,302	1,322,937	1,196,557
		給料支払総額	422,082	463,390	425,139	398,968	509,615	610,093	453,503
		支払人数	18	18	18	20	20	18	17
		平均給料(一人当たり)	23,449	25,744	23,619	19,948	25,480	33,894	26,676
	ワークセンター日和山	売上金額	2,045,558	2,189,854	2,206,633	3,137,003	2,797,349	2,936,750	2,958,426
		給料支払総額	850,000	850,000	1,000,000	1,300,000	1,110,000	1,200,000	1,300,000
		支払人数	28	26	27	27	27	28	26
		平均給料(一人当たり)	30,357	32,692	37,037	48,148	41,111	42,857	50,000
	第二むつみ園	売上金額	1,520,000	1,549,765	1,727,302	1,912,728	1,786,888	1,801,334	2,114,726
		給料支払総額	397,600	433,990	463,360	668,600	611,810	613,010	1,065,058
		支払人数	12	13	13	19	19	19	19
		平均給料(一人当たり)	33,133	33,383	35,643	35,189	32,200	32,263	56,055
亀井塾	ワークくわの木江津作業所	売上金額	210,101	1,265,294	227,027	137,420	478,571	1,470,805	3,820,179
		給料支払総額	67,980	143,560	156,580	103,850	108,150	122,210	127,950
		支払人数	5	5	5	5	5	5	5
		平均給料(一人当たり)	13,596	28,712	31,316	20,770	21,630	24,442	25,590
	夢中Club	売上金額	0	341,120	397,453	352,234	245,836	391,220	312,690
		給料支払総額	0	62,250	184,950	184,550	168,625	162,775	174,974
		支払人数	0	3	7	7	7	7	7
		平均給料(一人当たり)	0	20,750	26,421	26,364	24,089	23,254	24,996
	はしどい学園	売上金額	323,025	859,267	474,706	473,725	357,350	561,113	397,762
		給料支払総額	209,316	261,878	260,160	191,889	269,409	260,346	286,213
		支払人数	9	12	12	11	11	11	11
		平均給料(一人当たり)	23,257	21,823	21,680	17,444	24,492	23,667	26,019
	きぼうのあさがお	売上金額	1,361,408	1,483,868	1,525,311	1,687,117	1,472,853	2,397,857	2,102,291
		給料支払総額	772,880	969,480	99,870	955,600	978,300	1,045,800	1,256,200
		支払人数	36	37	36	34	33	34	35
		平均給料(一人当たり)	21,468	26,202	27,741	28,105	29,645	30,758	35,891
	ふくふく亭	売上金額	465,190	484,770	353,662	488,512	598,110	956,800	457,650
		給料支払総額	139,557	145,431	169,666	173,845	149,012	175,433	177,686
		支払人数	6	6	7	7	6	5	5
		平均給料(一人当たり)	23,259	24,238	24,238	24,835	24,835	35,087	35,537
	ワークハウス・わくわく！	売上金額	1,602,918	1,964,543	2,037,115	2,267,965	1,735,022	2,008,710	2,009,570
		給料支払総額	440,432	416,360	286,735	340,339	315,843	523,865	835,053
		支払人数	22	21	16	21	18	20	22
		平均給料(一人当たり)	20,020	19,826	17,920	16,207	17,547	26,193	37,957
	ぶどうの木	売上金額	179,493	105,612	426,330	1,079,821	732,937	580,675	1,413,213
		給料支払総額	233,500	147,375	205,939	256,284	22,770	244,590	298,623
		支払人数	14	12	10	11	11	12	12
		平均給料(一人当たり)	16,678	12,281	20,593	23,298	24,797	20,383	24,885

■ 参照数値　実践塾 PDCAサイクルによる成果（平成25年9月～平成27年3月）

			平成25年9月	平成25年12月	平成26年3月	平成26年7月	平成26年9月	平成26年12月	平成27年3月
亀井塾	ほっとステーション おひより	売上金額	45,306	91,015	119,564	48,945	31,897	221,260	25,730
		給料支払総額	133,765	135,450	145,700	150,995	144,900	131,615	140,600
		支払人数	11	11	12	10	10	8	8
		平均給料(一人当たり)	12,160	12,313	12,141	150,995	14,490	16,451	17,575
	富浦作業所	売上金額	560,036	478,416	707,333	763,949	717,437	800,667	1,000,324
		給料支払総額	182,188	168,004	173,047	267,660	282,407	288,580	388,128
		支払人数	19	19	23	26	20	20	22
		平均給料(一人当たり)	9,589	8,843	7,524	10,295	14,121	14,430	17,643
	軽食・喫茶の木立	売上金額	1,000,625	1,001,255	1,029,735	875,990	894,955	914,425	970,938
		給料支払総額	315,817	375,625	343,819	213,215	362,123	426,608	323,802
		支払人数	20	20	20	20	20	20	20
		平均給料(一人当たり)	15,790	18,781	17,190	10,660	18,106	21,330	16,190
	ぴーぷるファン	売上金額	0	321,360	36,310	87,060	219,260	149,680	233,230
		給料支払総額	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	90,000
		支払人数	2	2	2	2	2	2	3
		平均給料(一人当たり)	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	くすの木作業所	売上金額	198,630	447,221	107,167	2,170,033	1,992,790	2,048,277	2,345,030
		給料支払総額	178,200	143,000	90,000	82,600	77,000	77,000	109,800
		支払人数	20	20	20	20	20	20	20
		平均給料(一人当たり)	8,910	7,150	4,500	20,650	19,250	19,250	27,450
	工房シティ	売上金額	254,359	193,922	194,260	312,802	297,980	379,106	349,128
		給料支払総額	38,100	45,980	45,280	50,030	46,020	40,290	68,400
		支払人数	3	3	3	3	3	3	4
		平均給料(一人当たり)	12,700	15,326	15,093	16,676	15,340	13,430	22,800
	あゆみ作業所	売上金額	417,917	1,317,182	2,152,523	3,636,785	1,061,597	1,856,403	2,122,333
		給料支払総額	50,460	62,824	58,004	113,049	90,270	156,650	148,495
		支払人数	3	3	3	3	3	3	3
		平均給料(一人当たり)	16,820	18,847	19,334	37,689	30,090	52,217	49,498

■ 参照数値　実践塾 PDCAサイクルによる成果（平成26年7月～平成27年3月）

			平成26年7月	平成26年9月	平成26年12月	平成27年3月
楠元塾	夢・さぽーと (平成27年7月開業予定)	売上金額	0	0	0	0
		給料支払総額	0	0	0	0
		支払人数	0	0	0	0
		平均給料(一人当たり)	0	0	0	0
	どんぐりパン (現在出店準備中)	売上金額	210,500	186,200	201,000	258,600
		給料支払総額	0	0	0	0
		支払人数	0	0	0	0
		平均給料(一人当たり)	0	0	0	0
	すずかけの里	売上金額	253,000	280,780	705,200	1,089,530
		給料支払総額	189,750	184,785	137,960	167,705
		支払人数	7	7	6	6
		平均給料(一人当たり)	27,107	26,398	22,993	27,951
	ピーターパン	売上金額	696,680	743,830	962,200	890,580
		給料支払総額	197,990	237,150	170,100	205,950
		支払人数	8	10	7	7
		平均給料(一人当たり)	24,749	23,715	24,300	29,421
	アトリエぶどうの木 (現在出店場所選定中)	売上金額	0	0	0	0
		給料支払総額	0	0	0	0
		支払人数	0	0	0	0
		平均給料(一人当たり)	0	0	0	0
	さくらんぼのお家 平成27年4月 支給開始予定	売上金額	0	33,000	47,500	339,000
		給料支払総額	0	0	0	100,000
		支払人数	0	5	5	8
		平均給料(一人当たり)	0	0	0	0
	ふぁみりお	売上金額	122,698	158,564	227,912	431,580
		給料支払総額	56,700	47,000	59,050	101,200
		支払人数	7	7	7	9
		平均給料(一人当たり)	8,100	6,714	8,435	11,244
	サムラ	売上金額	838,595	888,534	1,978,022	1,131,362
		給料支払総額	169,845	174,455	179,550	182,675
		支払人数	7	7	7	7
		平均給料(一人当たり)	24,264	24,922	25,650	26,096
	Creer	売上金額	1,422,550	1,511,750	1,528,850	2,277,140
		給料支払総額	379,235	433,740	381,720	427,745
		支払人数	13	13	13	12
		平均給料(一人当たり)	29,172	33,365	29,363	35,645

平成26年度「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金　助成先施設の報告

「夢へのかけ橋」実践塾の参加施設の立てた事業プランから、効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、また事業改革を進めるために必要な道具や働く環境整備の資金を１施設最大300万円まで助成しています。平成26年度は、13の事業所に3000万円の助成を行いました。

NPO法人コンパスの会　コンパス

武田塾第２期
埼玉県三郷市駒形

●対象事業の事業内容：パンの製造・販売	●業態：パン製造販売
●助成内容　：ユニットハウスによる常設店 設置資金	●助成金額：平成26年度事業改革モデル化資金　282万円
●事業形態　：就労継続Ｂ型	●利用者種別：知的
●利用者合計人数（事業所全体）　：14人	●平成26（2014）年度月額平均給料（事業所全体）：20,889 円
●事業所のある環境：埼玉県の東部、最寄り駅近くには大型のショッピングモールがあり、マンションなど新しい住宅も増えています。事業所近隣には大規模集合住宅が２ヵ所あり、学校や公共施設なども充実しています。	
●ホームページ・連絡先等：埼玉県三郷市駒形124	

月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		単月 平成27(2015)年3月	平成26(2014)年度	平成25(2013)年度
売上	対象事業	682,560	4,989,230	2,789,340
	その他	159,805	2,372,810	712,626
	合計	842,365	7,362,040	3,501,966
人数	対象事業	14	14	10
	その他			
	合計	14	14	10
給料支給総額	対象事業	392,000	3,384,000	1,827,150
	その他			
	合計	392,000	3,384,000	1,827,150
月額平均給料	対象事業	28,000	20,889	15,226
	その他	28,000	20,889	15,226
事業所全体月額平均給料		**28,000**	**20,889**	**15,226**

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料･賃料
土地	賃貸（無償）		175/月
建物	購入	4,100	
設備	購入	1,218	
備品	購入	2,531	
その他			
合計	—	**7,849**	**175/月**

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	1,074
借入金	2,000
ヤマト助成金	2,858
その他助成金	1,917
合計	**7,849**

焼きたてパンの直売所をオープン

事業展開の経緯

◆ 給料が上がると利用者の生活がどう変わるのか、自分の目で見てみたい

平成16年に開所したコンパスは、野菜の栽培やパンの製造販売などを行ってきました。周辺には多くのマンションや団地があり、需要は潜在していますが、なかなか売上に結びつけることができず、平成25年の売上は350万1966円、月額平均給料は１万5226円でした。そんな時、参加したパワーアップフォーラムで「給料が上がると利用者さんの生活がどう変わるか、実際に高い給料を払って自分の目で確かめてほしい」との武田塾長の言葉に入塾を決意。

武田塾で学んだことを全職員に伝え、PDCAを実践しながら「焼きたてパンのコンパス」として、広く地元の方に認知いただけるように、品質と生産性の向上、宣伝活動、販売先の拡大に力を注ぎ、給料増額を目指しています。

コンパスの周辺には、団地、マンションが林立しています

給料増額への取り組み

常設の直売店が完成、オープンには、武田塾の塾生たちも駆けつけました

◆ より美味しく、効率的に生産できる製造技術を武田塾長の施設で修行

「入塾前は、当日仕込みの製造法でしたので、たくさん注文をいただいても、職員からはもう限界だと悲鳴が上がり、対応できないことがありました」と塾生で管理者の中村由美さん。この問題点を解決するため、武田塾長の施設（はらから福祉会くりえいと柴田）に職員が修行に行きました。くりえいと柴田の工場長は、かつて一般のパン工場で工場長を経験された方です。コンパス職員にも惜しみなく技術を提供していただきました。ここで学んだ知識と技術を活かし、パンの製造工程を改善することで製造数は約２倍にアップ。さらに、パンの配合を見直すことで、さまざまな種類のパンを製造できるようになりました。

利用者の手づくりパンを販売

仕事内容を見直し、販売や配達も含め14人の利用者全員がパン事業に参加できるようにし、製造販売体制を整えました。さらに、商品ラインアップを充実しようと武田塾の他の塾生からの仕入れ商品も扱うことに。後は、いかに販売数増加につなげるかです。職員は作成したチラシを持って営業活動を行い、Facebookなども活用しました。行政や企業の協力も得られるようになり、販売先は18ヵ所に拡大。休日にしか購入できないお客様のために、土曜日も開所することにしました。こうした努力が実り、平成26年10月には月給３万円に到達。しかし、まだ目標の５万円には手が届いていません。

美味しいパンのつくり方を
武田塾長の施設で学びました

◆「市」の定期開催、さらに「直売所」のオープンで地元の認知度をアップ

「施設の前の団地だけでも約2800世帯、周辺にはさらに9100世帯の団地があります。地域の方たちに焼きたてパンや塾生からの仕入れ商品の魅力を知っていただきたいと、敷地内にテントを張り、火曜・木曜・土曜市を開催しました。常連さんもでき、手応えを感じたのです。気軽に買い物ができる常設店をつくれば、よりたくさんの人を呼び込める、そう考えました」と中村さん。武田塾長も「塾生たちの商品のアンテナショップになる」と応援してくれました。

「平成26年12月に助成を決定いただき、急ぎ走り出しました。内装まで気が回らなかったのですが『再度来店いただくには内装もきれいに』と職員の意見があり工夫しました。もしも助成がなくても自分たちでつくろうと決めていたくらい、職員も利用者さんもやる気満々です」。

販売や配達も含め利用者全14人が
パン事業に従事

オープン初日の売上は計275個、約３万円。仕入れ商品も３万円以上を販売しました。「事前に配布したチラシの効果もあり、はじめてのお客様がたくさん来店されました。このお客様を定着させることがこれからの課題です。今後はパンの種類を増やし、販売車の導入も検討。目標の月給５万円にできた時、利用者さんがどんな笑顔に変わるのかとても楽しみです」。

商品・仕事のPR

◆ そのまま食べても生地の甘みを楽しめる

配合を変えたことで前日に仕込んだ生地を翌日に焼き上げてもしっとりと風味あふれるパンに。北海道産の小麦を使用しているため、生地に味があり、そのまま食べても十分に生地の甘みを味わえます。

直販店に並べた塾生からの仕入れ
商品の売れ行きも好調です

社会福祉法人武蔵野千川福祉会　武蔵境ワーキングセンター

新堂塾第２期
東京都武蔵野市境南町

●対象事業の事業内容：ダイレクトメールの加工事業	●業態：封入・封緘
●助成内容　：エアー給紙丁合機（10点）購入	●助成金額：平成26年度事業改革モデル化資金　280万円
●事業形態　：就労継続Ｂ型　就労移行支援	●利用者種別：知的
●利用者合計人数（事業所全体）　：23人	●平成26（2014）年度月額平均給料（事業所全体）：50,859円
●事業所のある環境：JR中央線武蔵境駅から徒歩５分。住宅街、小さな商店街のあるマンションの１階にあります	
●ホームページ・連絡先等：東京都武蔵野市境南町3-10-1 http://www.musashino-senkawa.com/?page_id=10	

月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		単月 平成27(2015)年4月	平成26(2014)年度	平成25(2013)年度
売上	対象事業	1,700,000	17,038,717	13,320,105
	その他	0	0	0
	合計	1,700,000	17,038,717	13,320,105
人数	対象事業	23	22	23
	その他	0	0	0
	合計	23	22	23
給料支給総額	対象事業	1,227,775	13,426,825	11,192,875
	その他	0	0	0
	合計	1,227,775	13,426,825	11,192,875
月額平均給料	対象事業	53,382	50,859	40,554
	その他			
事業所全体月額平均給料		**53,382**	**50,859**	**40,554**

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料･賃料
土地	賃貸		
建物	賃貸		693
設備	購入	5,500	
備品	購入		
その他			
合計	—	**5,500**	**693**

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	1,723
借入金	
ヤマト助成金	2,800
その他助成金	977
合計	**5,500**

利用者に自主性が芽生えれば、売上も伸びる

事業展開の経緯

◆ DMの封入封緘事業で平均月額給料５万円達成

武蔵境ワーキングセンターは、DMの封入封緘業務に特化した事業所として平成17年に開所。平成26年度の売上は約1703万円、平均月額給料は５万円を達成しました。

「武蔵境ワーキングセンターでは、利用者さんの能力を引き出し、それに応じた仕事を提供していくことで、働く喜びとそれに応じた給料増額を、そして企業への就職を目指しています」と武蔵境ワーキングセンターの横川拓也所長。

マンションの１階にある
武蔵境ワーキングセンター

給料増額への取り組み

◆ 利用者にわかりやすい働きやすい環境へ

横川所長は、平成22年に武蔵境ワーキングセンターに着任して、大きなルール変更を行いました。それまでは、仕事の段取りも材料の準備も全部職員が行っていましたが、利用者自らが行うように変えたのです。

「職員の指示がなくても、利用者さんが自主的に動き、仕事に取り組めるように、働きやすい職場へと改善していきました。大事なのは、作業内容や作業の流れを視覚的にわかりやすく整備し、仕事の仕組みを理解できるようにすることです」。

ここでは、仕事の基本工程を大きく『丁合』『封入』『封緘』『ラベル貼り』に分け、

作業ごとに四つの島（机）をつくっています。机には１～４の番号を付け、視覚的にわかりやすくしました。

「『封入の仕事をする２番の机』に行くと周りが封入の仕事をしているので、自然に仕事をはじめる心構えができます。また、ライン化でDMが完成していく姿も見えてくるので、自分が行っている仕事の役割もわかります」と横川所長。

また、利用者が自立して仕事・生活が送れるように、社会人としてのマナーやルールを守る習慣づくりも配慮しています。

「企業実習などで社会経験を積むようにしていますが、社会人としてのマナーは、あいさつを基本として、自分たちの職場で形をつけながら実践しています。例えば、多くの企業で実践されている５Ｓの一つ、清掃については、ゴミをまとめるのはＡさん、トイレ掃除はＢさんなど、部分的に役割を分けて担当し、働く環境を自分たちで清潔に維持するという責任感を育てていけるように工夫しています」。

利用者一人ひとりの働く意欲の向上や社会人としての意識の成熟は、事業所全体の生産性向上につながります。これにより平成21年の売上980万円から平成24年は1300万円を超え、平均月額給料も３万8969円にまで増額できました。

作業台ごとに番号を付け、例えば２番では封入を行うというルールを決めています

◆ 利用者自らが考え、行動することで生産性は上がっていく

さらに平成26年からは、利用者自身で仕事の報告を行うように変更。朝１日の仕事の内容を利用者が発表し、お昼、３時などの進捗状況も報告します。これにより利用者同士で仕事の進行を確認するようになり、予定通りに終わるとみんなから拍手があがり、終わらない時には互いに「頑張って」など、声をかけ合ったりするようになりました。利用者には『自分たちの仕事』という意識が生まれ、職員からの『やらされ感』でなく『自主的』なものに変わってきました。

利用者が仕事の進行状況を発表

「職員が仕事の進行管理をしている時は、利用者さんの仕事が終わったことに気がつかず、そこで仕事が止まることがありました。いまは仕事が終われば利用者さんが報告する、もしくは周囲の方が呼びかけるという環境ができてきているので、次々に仕事が流れ、その分生産性も上がっています。利用者さん同士のつながりが生まれ始めてきたことで、職員は必要なところに目が行き届くようになり、全体の底上げもでき、よい循環が生まれてきました」。さらに、事業改革モデル化資金によるエアー給紙丁合機の導入で、丁合作業の機械化が可能になりました。これまで５～６人で担っていた工程を１名で担当でき、他の工程に増員ができる体制となり、生産力がアップしました。

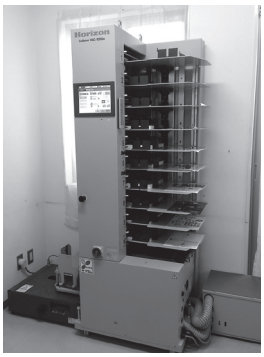
一つひとつていねいに、効率よく仕事を進めています

その結果、平成26年度平均月額給料は５万円を超え、平成27年４月には５万3382円を支給しています。

商品・仕事のPR

◆ 全員で取り組み、高生産・高品質を実現

DMの封入封緘業務は、利用者が仕事内容を理解しやすく、意欲的に取り組むことができる仕事です。武蔵境ワーキングセンターでは、全利用者が業務に取り組み、それぞれの力を存分に発揮しています。さらに平成26年11月には、事業改革モデル化資金の助成を受けエアー給紙丁合機（10点）も購入。部分的に機械化を進め、高生産・高品質なDM封入封緘作業を実現しています。


事業改革モデル化資金でエアー給紙丁合機も導入

NPO法人サポートセンター木立　軽食・喫茶の木立

亀井塾第１期
兵庫県加古川市加古川町

●対象事業の事業内容：クッキー製造・販売	●業態：喫茶・レストラン
●助成内容　：クッキー部門を立ち上げるための店舗改装	●助成金額：平成26年度事業改革モデル化資金　300万円
●事業形態　：就労継続Ｂ型　地域活動支援	●利用者種別：知的　精神
●利用者合計人数（事業所全体）　：20人	●平成26（2014）年度月額平均給料（事業所全体）：16,880円
●事業所のある環境：歴史ある商店街の中にあり、福祉事業に理解のある地域住民の方々に支えられている通所者の自立支援に有利な環境です	
●ホームページ・連絡先等：兵庫県加古川市加古川町寺家町340－1 http://site.m3rd.jp/kodachi/	

月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		単月 平成27(2015)年3月	平成26(2014)年度	平成25(2013)年度
売上	対象事業	82,078	449,988	0
	その他	888,860	10,312,777	12,593,330
	合計	970,938	10,762,765	12,593,330
人数	対象事業	20	20	20
	その他			
	合計	20	20	20
給料支給総額	対象事業	323,802	4,051,254	0
	その他			3,587,426
	合計	323,802	4,051,254	3,587,426
月額平均給料	対象事業	16,190	16,880	14,948
	その他	16,190	16,880	14,948
事業所全体月額平均給料		**16,190**	**16,880**	**14,948**

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料･賃料
土地	賃貸		
建物	賃貸		
設備	購入	3,969	
備品	購入	1,041	
その他		35	
合計	—	**5,045**	**0**

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	2,045
借入金	
ヤマト助成金	3,000
その他助成金	
合計	**5,045**

クッキー事業を開始し、利用者に働く機会と意欲を拡大

事業展開の経緯

◆ 働きやすい店舗に改装、食事・お弁当・クッキーの３本柱で給料増額を目指す

平成18年に兵庫県加古川市にある寺家町（じけまち）商店街の空き店舗で開店した「軽食・喫茶の木立」は、弁当製造、軽食・喫茶事業を行っています。利用者の仕事は、厨房でのお弁当の盛りつけや食器洗い、ホールでの接客など。しかし、厨房は狭く、飲食店には不向きな動きづらい間取りで、注文が集中するとうまく対応できません。平成25年の売上は約1260万円、平均月額給料は１万5000円に届いていませんでした。

「売上は伸びず、バタバタと忙しいだけ。利用者さんの出勤率も悪く、なんとか改善しなければと亀井塾に入塾しました」と塾生の杉山悦子施設長。その後、実践塾で学んだことを活かし、何度も事業改革プランを練りますが、なかなかよいアイデアは浮かびませんでした。そんなある日、亀井塾長が視察に訪れます。

「塾長が来所された平成25年の３月５日は、私たちにとって歴史的な日になりました」と杉山さんは振り返ります。亀井塾長のアドバイスのもと、生産性の高い働きやすい明るい店舗へと改装。これまでの弁当、食事･喫茶に、新しくはじめたクッキーの製造販売を加えた三つを事業の柱にし、給料増額を目指しています。

新商品のクッキーは、地元のお客様に好評をいただいています

給料増額への取り組み

「行け行け木立！」と新店舗の前で新ユニフォームを着て、やる気満々の職員と利用者

◆ 利用者の笑顔がより多くのお客様を呼び込む

亀井塾長は視察に訪れた時、このままでは売上を改善できないと感じました。「扉を開けるとジャージ姿の利用者さんが手持ち無沙汰にしています。これではお客さんは入りづらいですね。それでお揃いのエプロンをつくり、働く格好から変えていこうと話しました。飲食店に適した間取りに改装するとともに、新しい木立を地元の方にアピールできる新商品としてクッキーの製造販売をはじめることも提案しました。これにより、いままで仕事のなかった利用者さんも袋詰めなどの作業ができるようになります。利用者さんは働く喜びを知ることで笑顔になり、その笑顔がお客さんを呼び込むのです」。

この塾長の話を聞き、施設の代表も一歩踏み出す決心を固めます。

◆ 利用者はもちろん、職員の意識も大きく変化

平成26年８月末に行った改装工事では、１階にあった休憩室を潰して、広く動きやすい厨房へと改装し、クッキーを製造する新しいスペースも確保しました。物置だった２階は、休憩室とクッキーの袋詰めなどができる作業室に改良。また、ホールと厨房の仕切りをガラス張りにし、利用者の働く姿が見えるオープンで明るい店舗に一新できました。

動線に配慮した間取りへ。広く、明るく清潔感あふれる厨房になりました

「工事の後、開店準備に大忙しでしたが、自分のたちの新しいお店ができると利用者さんも意欲的に動いてくれました。９月からは、新たにモーニングとイブニングサービスを開始し、多い時は70人近いお客様が来店。利用者さんの出勤率もぐんと上がっています」。10月の売上は約104万円、給料も２万2000円と平成25年度の平均月額給料１万4948円から50％近くアップしました。

働く環境が改善され、利用者の出勤率も大幅に向上

その後も、材料費などの経費削減を徹底し、店内での掲示、広告をお客様目線の見やすいものへと変更するなど、工夫を続けています。平成27年４月１日には、利用者の作業環境を整えるために、地域活動支援から就労支援B型への移行も完了しました。

クッキーづくりはパティシェの資格を持つ利用者が担当

「職員が一丸となり、利用者さんが働きやすい環境ができるようにつねに話し合い、努力を続けています。利用者さんの個々の特性に合わせてできる作業からはじめ、徐々に仕事内容の幅が広がるように指導もしています。クッキーづくりは、パティシエの資格を持つ利用者さんが担当し、現在、シュークリームなどの新商品にも挑戦中です。食事・お弁当・クッキーの三つの事業を一緒に成功させ、塾長と約束した給料増額の目標を達成していきます」と話す杉山さんの表情は意欲に満ちています。

新商品の開発にも挑戦中です

商品・仕事のPR

◆ 地元の方に愛されるヘルシーな食事、お弁当、そしてお菓子を提供

ヘルシーで年配の方にも食べやすい栄養を考えた弁当、定食の提供を心がけています。さらに、クッキー事業に参入することにより、普段食べるお菓子から、ちょっとしたお使いに使えるお菓子まで幅広い商品を提供しています。

社会福祉法人あゆみ福祉会　工房しゅしゅ chou-chou

亀井塾第１期
滋賀県東近江市上羽田町

●対象事業の事業内容：焼菓子の新製品「酒粕焼きチーズケーキ」製造	●業態：菓子製造
●助成内容　：電気オーブン一式を導入	●助成金額：平成26年度事業改革モデル化資金　183万円
●事業形態　：就労継続Ｂ型	●利用者種別：知的
●利用者合計人数（事業所全体）　：３人	●平成26（2014）年度月額平均給料（事業所全体）：49,498円
●事業所のある環境：滋賀県の東部農村地帯ではあるが名神高速道路が近くにあり、県外の方もお客様として取り込める環境です	
●ホームページ・連絡先等：滋賀県東近江市上羽田町786－1 http://www.chou-chou11.com/	

月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		単月 平成27(2015)年3月	平成26(2014)年度	平成25(2013)年度
売上	対象事業	2,122,333	22,033,633	11,889,560
	その他			
	合計	2,122,333	22,033,633	11,889,560
人数	対象事業	3	3	3
	その他			
	合計	3	3	3
給料支給総額	対象事業	148,495	1,781,928	917,244
	その他			
	合計	148,495	1,781,928	917,244
月額平均給料	対象事業	49,498	49,498	25,479
	その他			
事業所全体月額平均給料		**49,498**	**49,498**	**25,479**

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料･賃料
土地	賃貸	5,000	30/月
建物	賃貸	44,000	250/月
設備	購入	5,300	
備品	購入	1,500	
その他	購入	5,700	
合計	—	**61,500**	**280/月**

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	3,773
借入金	20,000
ヤマト助成金	1,837
その他助成金	35,890
合計	**61,500**

酒粕を使った滋賀県の新しいブランド菓子を、利用者の手で発信

事業展開の経緯

◆ 地元の酒蔵とコラボした焼き菓子をつくる新工房をオープン

平成27年５月１日、『工房しゅしゅ』は、地元の酒蔵とコラボしたスイーツを製造する新ファクトリーを開所しました。『しゅしゅ』は、フランス語で「お気に入りのもの」というchouchouに由来し、また日本語の「酒酒」にも通じる名前です。

工房しゅしゅの母体（社福）あゆみ福祉会は、昭和54年に共同作業所としてスタート。目指したのは「どんなに障がいが重くても“働きたい”という利用者さんの思いに応える事業所」です。利用者は、フキン縫製、バリ取り、リサイクルなどの仕事を班単位に分かれて行っています。亀井塾の塾生 大野眞智子さんは「利用者さんがもっと楽しくできる仕事を」と養護学校の先生が提供してくれた機械を使い“さおり織り”の仕事を創出。平成13年、市の体験型観光スポットに『手織りの館』として出展し、一時は年間約800万円の売上になりました。平成21年にさおり織りがグループ内の別事業所へ移管し、新たな事業を考えだすため施設内に『ほんもの委員会』を組織。試行錯誤の上、着眼したのが“滋賀県の豊かな自然からつくられる地酒の酒粕”です。発想の発端は「お父さんの誕生日ケーキをつくってみよう。お父さんならお酒、それなら酒粕を入れてみたら」という意見から開発がはじまりました。

菓子製造専門の新工房をオープン

通りかかった車からも目立つ商品を全面に出した看板

給料増額への取り組み

自分たちのつくる商品で地元に恩返しをと全員が気持ちを一つに

◆「利用者さんにより多くの仕事と給料を」その思いに賛同いただいた方々と新商品の開発に挑戦

いくら発想がよくても商品化にはプロの協力が必要です。大野さんは、滋賀県と滋賀県社会就労事業センター共催のビジネスマッチングフェアに参加し、デザイナーやライター、映像関係者などともネットワークをつくりました。「利用者さんの能力に合わせていろいろな仕事をつくっていきたい。お給料を少しでも上げていきたい。地産地消をコンセプトに商品開発することで、お世話になっている地元に恩返しがしたい」という大野さんの熱意に多くの方が賛同し、共同開発を進めてきました。

「地元の六つの酒蔵から酒粕を提供いただくことができました。酒蔵の名前の使用許可もいただき、お猪口を使った商品の器にロゴを入れています。酒蔵の歴史を背負った商品を出すわけですから、かなりプレッシャーを感じました」と大野さん。幾度も試作品をつくり、酒蔵から了解をいただくのに１年以上がかかりました。こうして誕生した酒粕スイーツ「湖のくに生チーズケーキ」は、平成24年に観光庁が主宰した「世界にも通用する究極のお土産フォーラム」で、747品の応募の中から最終選考の９品に選ばれています。

現在３名の利用者が中心になり菓子事業に従事。「もっと人数を増やしていきたい」と大野さん

◆ 福祉施設ではなく、商品名で全国のお客様に知っていただきたい

大野さんは亀井塾で「利用者さんの目標給料を達成するには、商品力はもちろん販売数を伸ばす営業戦略が大切」と学びます。「販売依頼が来たところには迷わず出店し販路拡大に努めました。メディアへの露出も積極的に行い、宣伝や購買活動に力を入れてきました」。順調に売上を伸ばす生チーズケーキですが、生菓子のため賞味期限が短く、全国で流通させるには壁があります。目標の売上を達成するために、常温で日持ちの長い焼き菓子の開発を考えました。それには、新しい製造体制も整えなければなりません。地元の銀行に融資を相談すると、総務省が公募する助成への申請の応援もいただき、工房建設の目処が立ちました。設備面では、事業改革モデル化資金に申請し、焼き菓子をつくる電気オーブンも購入しました。

新工房完成のお祝いにかけつけた亀井塾長

５月１日の開所式で亀井塾長は「専門の工房が完成し体制は整いましたね。看板も障がい者や福祉を売りにしたものではなく、チーズケーキを前面に押し出した営業姿勢で他の塾生たちのよいモデルになると思います。後は、お客様が来ているのに『今日は休み』では話しになりませんから、利用者さん自身がきちんと衛生管理、体調管理できるように指導することが大切です」とアドバイスしました。

事業改革モデル化資金で電気オーブンを購入

大野さんも「お客様の前に立つからには、きちんと対応ができるように利用者さんの教育を行い、より多くの利用者さんが働けるようにしたいですね。いまの販売数を1.5倍に拡大し、最低賃金の保障を目標に頑張ります」と話しています。

商品・仕事のPR

◆ お菓子で楽しむ、老舗六つの酒蔵の“きき酒粕巡り”

滋賀の酒粕を使った洋菓子「湖のくに焼チーズケーキ」と「湖のくに生チーズケーキ」。どちらも琵琶湖を取り巻く、滋賀県の老舗酒造６蔵元推薦の酒粕を使用しています。風味や味に違いがあるため、きき酒ならぬ“きき酒粕”を楽しんでいただけます。また、酒粕は生きていますので、日ごと熟成し味に変化が出てきます。六つの味と日ごとの味の違いを感じていただきたい商品です。

滋賀県の新ブランド商品として地元の期待も膨らむ

「収支管理システム」についての報告

◆「夢へのかけ橋 実践塾」の塾生にクラウドサービスで提供しました

利用者に目標とする給料を支給するには、そのための売上を確保する必要があります。売上を伸ばすためには日々の売上が目標通り達成できているかをチェックし、できていない場合はその原因を追及し、対策を立てていく、いわゆるPDCAを実施していくことが必要です。

そこで、そのためのツールとして『収支管理システム』をクラウドサービスにより塾生に提供しました。IDを登録された施設は、手持ちのパソコンなどを使って、いつでも、どこからでもこの収支管理システムを活用することができます。

システム説明会を開催（平成26年5月30日）

平成26年５月30日、塾生から希望者を募り東京で収支管理システムの説明会を行いました。説明会では、その登録手順から一つひとつ解説。塾生は実際にパソコンを使って、操作や活用方法を実践的に学びました。

収支管理システムとは

■ システム概要

障がい者施設で行っている各事業の収支計画・実績をWEB上で入力することにより、PDCAサイクルを実施するためのシステムです。

■ 特 長

・日々入力を行うことで、目標進捗度が確認可能
・計画に対しての実績を把握し、PDCAを実行することができる
・CSVダウンロード機能により商品ごとの売上分析などが可能
・実施している事業ごとの収支管理が可能

例えばこんな情報を一目で確認できます

■ 売上実績確認（日別）

日別の計画に対する実績金額、累計額、計画差、達成率が一覧で確認できます。

日	曜日	営業計画	日別計画	累計計画	日別実績	累計実績	累計差額	達成率
1	木		10,000	10,000	9,890	9,890	-110	98.90%
2	金		10,000	20,000	8,650	18,540	-1,460	92.70%
3	土		0	20,000	0	18,540	-1,460	92.70%
4	日		0	20,000	0	18,540	-1,460	92.70%
5	月		0	20,000	0	18,540	-1,460	92.70%
6	火		0	20,000	0	18,540	-1,460	92.70%
7	水		10,000	30,000	0	18,540	-11,460	61.80%
8	木		10,000	40,000	0	18,540	-21,460	46.35%
9	金		10,000	50,000	0	18,540	-31,460	37.08%
10	土		0	50,000	0	18,540	-31,460	37.08%
11	日		0	50,000	0	18,540	-31,460	37.08%
12	月		10,000	60,000	0	18,540	-41,460	30.90%
13	火		10,000	70,000	0	18,540	-51,460	26.49%

月間目標	200,000 円	月間実績	18,540 円		
差額	-181,460 円	必達１日売上	10,081 円	残稼働日数	18

CSV出力　印刷

■ ＣＳＶ出力

エクセルとの連携で売れるもの、売れないものの定量分析も行えます。

グループ名	施設ID	施設名	事業名	分類名	商品名	値の種類	年月	1日	2日	3日	…	28日	29日	30日	31日	合計
医学館	50000	レストランくろなこ	喫茶・レストラン	グランドメニュー・サラダ	シーザサラダ	数量	201304	10	0	8		2	0	3	0	80
医学館	50000	レストランくろなこ	喫茶・レストラン	グランドメニュー・サラダ	シーザサラダ	金額	201304	2,990	0	2,392		598	0	897	0	23,920
医学館	50000	レストランくろなこ	喫茶・レストラン	グランドメニュー・サラダ	シーザサラダ	数量	201305	3	0	0		10	0	0	0	13
医学館	50000	レストランくろなこ	喫茶・レストラン	グランドメニュー・サラダ	シーザサラダ	金額	201305	600	0	0		2,000	0	0	0	2,600
医学館	50000	レストランくろなこ	喫茶・レストラン	グランドメニュー・サラダ	ＢＩＧイタリアンサラダ	数量	201304	0	10	5		8	0	1	0	50
医学館	50000	レストランくろなこ	喫茶・レストラン	グランドメニュー・サラダ	ＢＩＧイタリアンサラダ	金額	201304	0	4,990	2,495		3,992	0	499	0	24,950
医学館	50000	レストランくろなこ	喫茶・レストラン	グランドメニュー・サラダ	ＢＩＧイタリアンサラダ	数量	201305	10	0	0		0	0	0	20	30
医学館	50000	レストランくろなこ	喫茶・レストラン	グランドメニュー・サラダ	ＢＩＧイタリアンサラダ	金額	201305	4,990	0	0		0	0	0	9,980	14,970

●夢へのかけ橋 実践塾の塾生以外にも

平成26年度のパワーアップフォーラム（東京・大阪）の参加者に収支管理システムの概要を説明したところ10施設が利用を希望されました。そこで８月26日に東京で、８月27日に名古屋で第１回研修会を開催。11月11日に第２回研修会を東京で開催しました。

［障がい者のクロネコDM便配達事業］進捗状況

〈取り組み経過〉

●平成27年4月　新サービス「クロネコDM便」開始。
「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコDM便配達事業」へと変更。

●平成27年3月　「クロネコメール便」サービス廃止。

●平成26年10月～平成27年2月
クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。
全国3ヶ所の施設（東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市）で開催。

●平成25年10月～11月　クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。
全国3ヶ所の施設（神奈川県横浜市戸塚区･熊本県上益城郡益城町･埼玉県鴻巣市）で開催。

●平成24年10月～11月　クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。
全国4ヶ所の施設（岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫路市）で開催。

●平成23年10月～11月　クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。
全国4ヶ所の施設（大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市）で開催。

●平成22年12月12日　クロネコメール便配達　本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を東北福祉大学で開催。
約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の9施設23人が発表を行った。
また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設でメール便配達を一日体験した様子を発表。

●平成22年10月～11月　クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催のミニ報告会）を開催。
全国4ヶ所の施設（神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京都江東区）で開催。

●平成22年7月　障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ
全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステムを立ち上げる。

●平成22年6月19日　クロネコメール便配達　本人による特別報告会を大分で開催。
大分県でメール便配達事業を行う9施設が参加。
23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出来事を報告。

●平成21年12月12日　当事者33名と仙台東北福祉大学臨床実学学生12名、一般参加者156名による第5回メール便配達特別報告会
「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。
知的…小学校にメール便を配達に行ったら、「頑張れよ」と声をかけてくれた校長先生は、昔僕の担任の先生でした。
知的…お客さんからの「ありがとう」に、「どういたしまして、仕事ですから」と挨拶します。
精神…仕事を初めてから5年間、「誤配ゼロ」です。もっともっとメールを配りたい。
精神…プロの自覚を持って働いている。アマチュアじゃない。これからも困難を

乗り越えて配達していきたい。
等々、報告者の働く自信や誇り、そして喜びの声が、会場の皆さんの心に真っすぐ伝わってくる報告会でした。

●平成21年8月22日　障がい者本人によるメール便配達特別報告会関東地区「私を、待っていてくれる人がいます」を開催。
関東地区157名からなる参加者に、5都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。

●平成21年5月～6月　事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版DVD」の制作と社内外への配布（200枚）。
本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を計るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸（株）全国支店長及び主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。

●平成21年3月16日　全国47都道府県全参入。

●平成20年12月3日　配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278箇所・配達従事者1,012名を対象とした調査。結果、配達に携わった約16％の障がいのある人達が一般の会社に就職。

●平成20年11月1日　障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区『私を、待っていてくれる人がいます』を開催。
東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。
更に、実学臨床教育推進室の学生7名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。

●平成20年9月19日　NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。
社会性･事業性･革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価をうける。

●平成20年8月30日　障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区『私を、待っていてくれる人がいます』を開催。
130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10箇所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。

●平成20年4月　施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。
福祉施設ドリームブイ（東京都北区）所属メイト酒井さんが、お客さまからお誉めの言葉をいただく。

●平成20年2月28日　（社団）日本フィランソロピー協会による第5回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。
「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本業に取り組まれている活動として高い評価をうける。

●平成20年1月　ヤマト運輸（株）木川　眞社長が福祉施設を訪問。
「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ＆ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』（町田市）を訪れ、メイトの皆さん（5名）との座談会参加と現場での配達状況を視察。

●平成20年1月　クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。
潜在能力及び健在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。

●平成19年12月～平成20年1月

12月26日時点での参入施設231箇所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。

●平成19年12月　障害者週間事業イベントとして、(財) ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会（13名のメイトさんが発表)「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。

報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。

32箇所の施設・作業所（秋田・福島・宮城）から約100名が参加した。

●平成19年11月　「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん8名を紹介。

●平成19年8月　ヤマト運輸㈱が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。

●平成19年8月　(社団) 日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」に紹介され、2007年度第5回企業フィランソロピー大賞「特別賞・社会共生賞」を受賞。

●平成19年6月　事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部納品。

●平成19年7月　配達従事者1,004名。事業開始から34ケ月で1,000名を達成。

●平成19年4月　月刊誌「マリ・クレール」5月号特別付録（企業のCSR活動に焦点をあてた特集）にメール便配達事業が紹介される。

●平成19年3月　「配達事例集」リニューアル版発刊。全国11ヶ所の施設・作業所の配達状況を紹介。

●平成19年2月　イギリスのソーシャル・ファーム「リンケージ・コミュニティー・トラスト」で働く知的障がい者5名とディレクター8名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。クロネコメール便の配達現場を視察。

●平成18年12月　「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。

障害者週間（12月3日～12月6日）期間中に、各地で開催されたシンポジュウム会場において配布された。

(「障害者白書」テーマ、“共生する社会”について障害のある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子)

●平成18年10月10日～12日

東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジュウム及び東京都第三セクター企業2社とのコラボ企画展示を開催。(ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映)

●平成17年12月　障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。

・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。
・施設・作業所のメイトさん8名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。

(2008年12月現在　14,000部配布)

●平成17年10月　参入施設・作業所の“地域で働く人々の姿”を網羅した「配達カルテ」を作成。
社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。

●平成17年7月　啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヶ所の施設・作業所の配達状況を紹介した「配達事例集」を作成。
（2008年12月現在　16,000部配布）

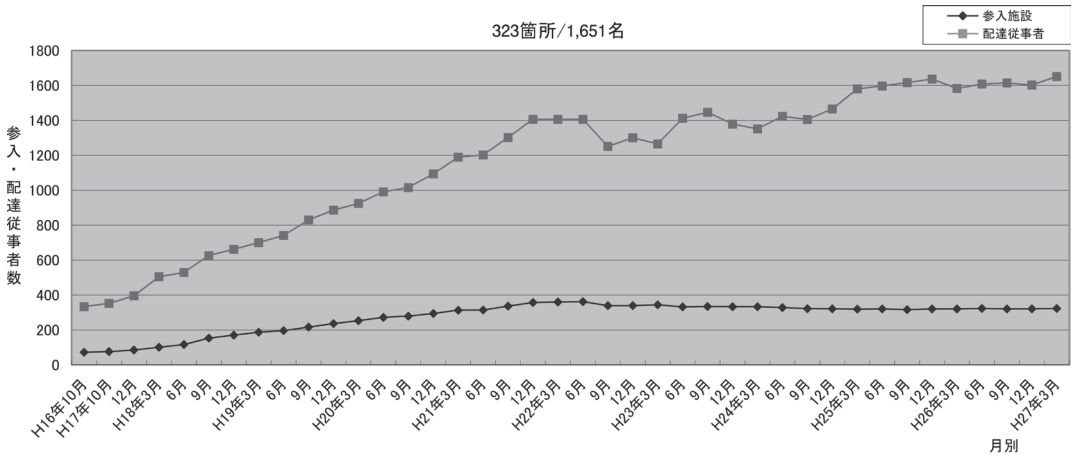
●平成17年3月　社内外からの事業問合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業案内を掲載。

●平成17年2月　軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別料率を設定し、
軽商用リース車の斡旋をスタート。

●平成16年10月
・民間支援四団体加盟の全施設・作業所（3,520ヶ所）に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。
・WIJメール便委員会発足（日本セルプ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体）

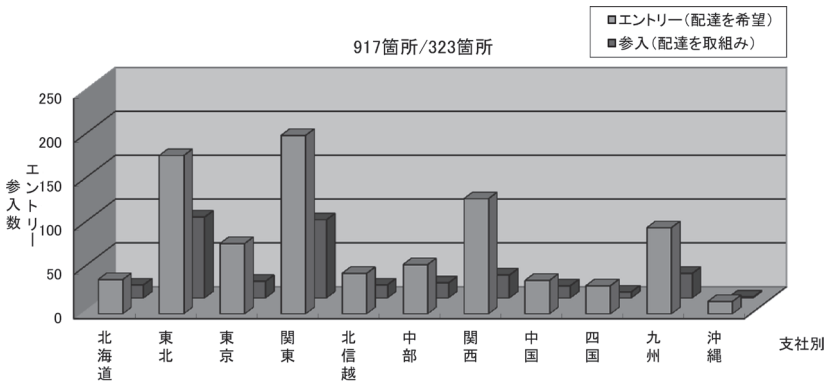
〈進捗状況補足資料〉 平成27年3月31日 現在（図表1・2・3）

図表 1.　参入施設数／配達従事者数推移

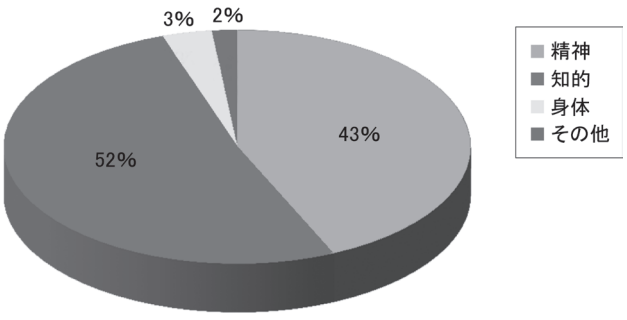


※平成22年7月以降、集計方法を財団支部の報告から参入施設からの報告に変更したため実績に差が生じています。

図表 2.　全国支社別　エントリー／参入状況



図表 3.　障がい別配達従事者人数とその割合



「障がい者のクロネコDM便配達事業」参入施設一覧　323箇所

施設・事業所名	住所
NPO法人はるな会地域活動支援 センター はんど&はんど	北海道札幌市手稲区
自由工房	北海道札幌市手稲区
わーく・ひまわり	北海道札幌市豊平区
社会福祉法人塩谷福祉会就労支援多機能型マイウエイ	北海道小樽市
特定非営利活動法人地域活動支援センター夕陽が丘	北海道函館市
地域活動支援センター前田の家	北海道岩内郡共和町
千歳障がい者就労センターNPO法人 ハートフルネットワークほほえみ	北海道千歳市
NPO法人コミュニティハウスしずない	北海道日高郡新ひだか町
(社福) いちもく会　障害者多機能型施設　いちもく神居	北海道旭川市
就労継続支援Ｂ型　すまいる	北海道旭川市
NPO法人 若草友の会共同作業所	北海道滝野川市
NPO法人 就労継続支援 B型 オフィス きらり	北海道釧路市
多機能型通所施設　はばたき	北海道釧路市
NPO法人美幌えくぼ福祉会　美幌地域就労支援センター	北海道網走郡美幌町
ワークステーション輝	北海道虻田郡倶知安町
知的障害者更生施設　青松園	青森県五所川原市
創	青森県五所川原市
青森うとうの園	青森県青森市
ふうあの家	青森県青森市
夢香房すてっぷ	青森県青森市
彩り工房	青森県八戸市
(社福) ふさん会　柿の木苑	青森県八戸市
(社福) 田面木会障害福祉サービス事業所　田面木の家	青森県八戸市
精神障害者小規模通所授産　大輪	青森県八戸市
エンジェルハウス	青森県八戸市
就労支援センター平成の家	青森県弘前市
NPO法人太陽の園	秋田県横手市
NPO法人鹿角親交会	秋田県鹿角市
出発の家	秋田県鹿角市
いなほ作業所	秋田県秋田市
愛仙	秋田県仙北市
NPO法人工房JOY さあくる	秋田県大館市
障がい福祉サービス事業所「ほっぺ」	秋田県大仙市

施設・事業所名	住所
ふれあい作業所	秋田県大仙市
サンワーク大曲	秋田県大仙市
通所センター男鹿浜辺の里	秋田県男鹿市
つくし共同作業所	岩手県釜石市
りんりん舎	岩手県岩手郡滝沢村
さくら製作所	岩手県紫波郡紫波町
(社福) 新生会　あさあけの園	岩手県紫波郡矢巾町
多機能型事業所となんカナン	岩手県盛岡市
(社福) 自立更生会　盛岡杉生園	岩手県盛岡市
共同作業所杜の家	岩手県盛岡市
指定障害福祉サービス事業所　ポパイの家	岩手県八幡平
社会福祉法人いわて共生会あけぼの	岩手県北上市
千厩ワークプラザ	岩手県一関市
るんびにい美術館	岩手県花巻市
岩沼市ひまわりホーム	宮城県岩沼市
七ヶ浜町あさひ園	宮城県宮城郡七ヶ浜町
就労自立支援センター　コスモス	宮城県石巻市
地域活動支援センターこころ・さをり	宮城県石巻市
生活支援きょうどう舎　しじゅうからアットワーク	宮城県仙台市宮城野区
ぱれった・けやき宮城野	宮城県仙台市宮城野区
ハートライフせんだい　創働舎	宮城県仙台市宮城野区
障害福祉サービス事業所ぴあ	宮城県仙台市若林区
(社福) みんなの輪　わ・は・わ沖野	宮城県仙台市若林区
指定福祉サービス事業所　わ･は･わ (若林)	宮城県仙台市若林区
障がい福祉サービス事業所ぱーとなー	宮城県仙台市青葉区
つなぎっこ	宮城県仙台市青葉区
精神障害者小規模地域活動センターこころや	宮城県仙台市青葉区
わ・は・わ広瀬	宮城県仙台市青葉区
障害福祉サービス事業みんなの広場・工房きまち	宮城県仙台市青葉区
みどり工房永和台	宮城県仙台市泉区
障害者小規模地域活動センター　アトリエ・ソキウス	宮城県仙台市泉区
地域活動推進センター　ほっとスペース歩歩	宮城県仙台市泉区
ポッケの森	宮城県仙台市太白区

施設・事業所名	住所
(社福) 仙台市手をつなぐ育成会　工房けやき	宮城県仙台市太白区
NPO ステップアップ	宮城県栗原市
工房パルコ	宮城県大崎市
しあんくれ〜る	宮城県大崎市
多賀城市福祉工房のぞみ園	宮城県多賀城市
亘理町ゆうゆう作業所	宮城県亘理郡亘理町
デイサポートセンター　アイアイ	山形県山形市
就労継続支援事業所ステップアップ霞城	山形県山形市
指定障害福祉サービス事業所　ハーモニー	山形県山形市
メディアかがやき	山形県山形市
グループ未知	山形県山形市
ひなぎくアルファー城南営業所	山形県山形市
NPO法人ひだまりの家かほく	山形県西村山郡河北町
手づくりクッキー　おからや	山形県鶴岡市
障がい者自立支援センター「あおぞら」	山形県東村山郡山辺町
障害者多機能型施設ひまわり園	山形県東田川郡庄内町
地域活動支援センターひまわり南陽	山形県南陽市
フラワーコート米沢	山形県米沢市
すてっぷ	山形県米沢市
太陽の家	山形県東置賜郡高畠町
大けやきの家	山形県東根市
指定障害福祉サービス事業所さくらはうす	山形県新庄市
地域活動支援センター　チャオ	福島県いわき市
指定福祉サービス事業所フルクテン	福島県いわき市
精神障がい者小規模作業所　福祉ハウスボネール	福島県伊達市
ゆうゆうハウス	福島県河沼郡会津坂下町
レーベン	福島県会津若松市
ほっとハウスやすらぎ	福島県会津若松市
ペンギン東台	福島県郡山市
ペンギン村共同作業所	福島県郡山市
キャロット八山田	福島県郡山市
一般社団法人ひまわりの家	福島県相馬市
コラッジョ サテライトみはる工房	福島県田村郡三春町
ほっと悠Ms	福島県南相馬市原町区

施設・事業所名	住所
きぼうのあさがお	福島県南相馬市鹿島区
多機能型事業所なごみの家	福島県白河市
ゆ〜もあ〜と	福島県福島市
リーフスジョブセンター	福島県福島市
SWEL・IN・FUKUSHIMA	福島県福島市
ワークショップろんど	福島県福島市
あさひスマイル	福島県福島市
来夢	東京都北区
中野区仲町就労支援事業所	東京都中野区
Navioけやき	東京都世田谷区
千草企画	東京都世田谷区
しごとも	東京都世田谷区
特定非営利活動法人SUN	東京都目黒区
すきっぷ	東京都三鷹市
共同作業所れすと永山	東京都多摩市
社会福祉法人つぼみの家サエラ	東京都町田市
特定非営利活動法人　MEIMI・CLUB	東京都東久留米市
ぶどうの郷	東京都東久留米市
結の会	東京都八王子市
(社福) あかつきコロニー　スペースまどか	東京都武蔵村山市
(社福) 武蔵野千川福祉会　千川作業所	東京都武蔵野市
飛翔クラブ	東京都東村山市
トーコロ青葉ワークセンター	東京都東村山市
レスポワール工房	東京都府中市
つくばライフサポートセンターみどりの	茨城県つくば市
NPO法人らぽーる朋　共同作業所ふれあい	茨城県ひたちなか市
はっぴぃ・べる	茨城県高萩市
地域活動支援センターはあとぽっぽ	茨城県坂東市
特定非営利活動法人らしん盤	茨城県取手市
やまびこ	茨城県水戸市
地域活動支援センター　ゆきわりそう	茨城県水戸市
(社福) ひだまり　障害者自立支援センターつばさ	茨城県水戸市
地域活動支援センター　けやきの家	茨城県石岡市
社会就労センター　いっすんぼうし	栃木県小山市

施設・事業所名	住所
ソーシャルファーム小山	栃木県小山市
㈱社福㈱ こぶしの会　県東ライフサポートセンター・真岡	栃木県真岡市
NPO法人ふれ愛の森	栃木県日光市
第２けやき作業所	栃木県芳賀郡芳賀町
伊勢崎市桑の実福祉作業所	群馬県伊勢崎市
前橋市地域活動支援センター あざみ	群馬県前橋市
地域活動支援センター若草作業所	群馬県館林市
（社）やどがりの里　あゆみ舎	埼玉県さいたま市大宮区
つばさ共同作業所	埼玉県さいたま市中央区
障害福祉サービス事業所　さくら	埼玉県さいたま市北区
朗真堂	埼玉県さいたま市北区
ライトハウス	埼玉県ふじみ野市
就労継続支援Ｂ型　コスモス共同作業所	埼玉県鴻巣市
ゆめきた工房	埼玉県坂戸市
特定非営利法人志木市精神保健福祉をすすめる会	埼玉県志木市
精神障害者小規模作業所フレンドリー	埼玉県深谷市
指定障害福祉サービス事業所ジョブサポートはぶたえ	埼玉県深谷市
はぶたえ	埼玉県深谷市
ワークセンターせんば	埼玉県川越市
特定非営利活動法人ヒールアップハウス　晴れ晴れ	埼玉県川口市
多機能型事業所鶴ケ島ゆめの園	埼玉県鶴ケ島市
創和ユニット	埼玉県入間市
熊谷たんぽぽ	埼玉県熊谷市
ひなたぼっこ	埼玉県熊谷市
ワークホーム江南	埼玉県熊谷市
ゆりのき支援センター	埼玉県春日部市
生活介護事業所　オハナ	埼玉県春日部市
わっくす	埼玉県春日部市
生活支援センターこしがや	埼玉県越谷市
あかり	埼玉県越谷市
就労継続支援Ｂ型スキップ	埼玉県所沢市
地域活動支援センターイエローハート	千葉県我孫子市
NPO法人i＆i　地域活動支援センターi工房	千葉県我孫子市
ぽれぽれ	千葉県市原市

施設・事業所名	住所
社会福祉サービス事業所まぁぶるひろ	千葉県千葉市花見川区
ワークホーム海の実	千葉県千葉市中央区
地域活動支援センターフロンティア	千葉県千葉市中央区
ワークス未来千葉	千葉県千葉市美浜区
支援センターたけの子工房	千葉県千葉市緑区
地域活動支援センターアーモ	千葉県船橋市
地域活動支援センターかんぱす	千葉県船橋市
地域活動支援センターカレーサ	千葉県船橋市
NPO法人就労生活定着支援センターリーブ　就労サポートリーブ	千葉県袖ケ浦市
生活工房こだま	千葉県柏市
自立訓練事業所　皆来	千葉県柏市
地域活動支援センターぽけっと	千葉県白井市
地域活動支援センター３型　すずらん	千葉県八千代市
特定非営利活動法人スペースぴあ	千葉県茂原市
カレンズ	千葉県茂原市
地域作業所hana	千葉県木更津市
地域活動支援センターのぞみ	千葉県野田市
就労継続支援Ｂ型事業所スクラム	千葉県市川市
コッペ	千葉県君津市
ワークスペース　エンジョイメント	神奈川県横浜市磯子区
シャロームの家	神奈川県横浜市磯子区
ハンディジャンプ	神奈川県横浜市磯子区
フラワーロード	神奈川県横浜市港南区
いろえんぴつ	神奈川県横浜市港北区
地域活動支援センターひとつの芽	神奈川県横浜市泉区
精神障碍者小規模通所授産施設りんごの木	神奈川県横浜市戸塚区
障害者就労継続支援Ａ型いぶきの風	神奈川県横浜市戸塚区
青い麦の家	神奈川県鎌倉市大町
パインナッツ	神奈川県茅ケ崎市
茅ケ崎第二ワーキングハウス	神奈川県茅ケ崎市
トライフィールドわーくあーつ	神奈川県厚木市
（社福）長尾福祉会　セルプきたかせ	神奈川県川崎市幸区
地域活動支援センター　つばさ	神奈川県川崎市高津区
オリーブの木	神奈川県川崎市中原区

施設・事業所名	住所
第2けやき作業所	神奈川県相模原市南区
就労継続支援事業B型　第3藤沢ひまわり	神奈川県藤沢市
(社福) ひばり　ハートピア湘南	神奈川県藤沢市
るる湘南	神奈川県藤沢市
地域活動支援センターワークショップポトピ	神奈川県藤沢市
中沼コスモス学園　ジョブセンター	神奈川県南足柄市
特定非営利活動法人若菜会　エアリアル	神奈川県海老名市
もいちど倶楽部	神奈川県秦野市
公益財団法人住吉偕成会　すみよし生活支援センター	山梨県甲府市
特定非営利活動法人樫の実作業所	山梨県甲府市
南アルプス市松の実作業所	山梨県南アルプス市
都留市地域活動支援センターむつみの家	山梨県都留市
スイートベリー KATUYAMA	山梨県南都留郡富士河口湖町
阿賀野市さくらの会作業所	新潟県阿賀野市
障害福祉サービス事業ステップ	新潟県三条市
ワークセンターほほえみ	新潟県新潟市秋葉区
和工房	新潟県新潟市西区
地域活動支援センター豆の木	新潟県新潟市西区
コミュニティカフェ鳥の歌	新潟県新潟市中央区
就労継続B型手楽来家	新潟県新潟市中央区
地域活動支援センター希望の家	新潟県長岡市
エコーンファミリー	長野県長野市
ハートラインまつもと　ワンステップ	長野県松本市
エルサポートパノラマ	長野県松本市
希望の里つばさ	長野県岡谷市
くろべ工房	富山県黒部市
就労継続支援事業所ゆめさぽーとらいちょう	富山県富山市
ゆうの丘	石川県七尾市
ネットワークひこばえ	静岡県静岡市葵区
ウィン作業所	静岡県静岡市葵区
ラポールあおい	静岡県静岡市駿河区
ラポール・チャクラ	静岡県静岡市駿河区
高次脳機能障害者支援センター笑い太鼓岡崎	愛知県岡崎市
(社福) やまなみ会やすらぎの家	愛知県新城市

施設・事業所名	住所
生活介護さくらんぼ	愛知県名古屋市中川区
交流広場ライフアート	愛知県名古屋市中村区
(社福) 親愛の里ジョブサポートフォルテ	愛知県名古屋市中村区
アネモネ	愛知県名古屋市緑区
授産施設　のぞみ	愛知県名古屋市守山区
就労・コミュニティセンター Abbey	愛知県名古屋市昭和区
障がい者自立支援施設 アーム	愛知県豊田市
多機能型事業所ライム	愛知県大府市
サポートセンターあいぷろ	三重県四日市市
四日市福祉会垂坂山ブルーミング	三重県四日市市
グリンリーフ	岐阜県岐阜市
(社福) 明星福祉会　高槻ワーク工房	大阪府高槻市
のぞみ共同作業所	大阪府吹田市
(社福) ヒューマン福祉会　第三工房ヒューマン	大阪府吹田市
ワークセンターひびき	大阪府東大阪市
リメイク事業所	大阪府泉佐野市
就労継続支援B型事業所墨江作業所	大阪府大阪市住吉区
手琴堂	大阪府大阪市都島区
地域活動支援センター　オリーブ	大阪府大阪市平野区
街の灯事業所	大阪府大阪市福島区
かがやきの杜	京都府京丹後市
交流広場ライフアート共同作業所	京都府京都市東山区
SAPふっとぷりんつ	京都府京田辺市
さわやぎ	奈良県奈良市
NPO法人ふあーちぇ　たむたむ荘	奈良県奈良市
来夢green	奈良県奈良市
もりの実事業所	奈良県北葛城郡広陵町
たんぽぽ作業所	和歌山県紀の川市
すまいる・フレンズ	兵庫県神戸市須磨区
(社福) 木の芽福祉会　御影倶楽部	兵庫県神戸市東灘区
ひまわり作業所	兵庫県淡路市
ぐろ～りあ	兵庫県尼崎市
共同作業所ふるーる	兵庫県尼崎市
障がい者支援センター　出愛いの里	兵庫県姫路市

施設・事業所名	住所
しらさぎ作業所	兵庫県姫路市
自立の家きらら	兵庫県宝塚市
かるべの郷ドリームワークス	兵庫県父養市
地域活動支援センター手毬の里　虹	岡山県玉野市
ゆめの木・わかば	広島県福山市
就労継続支援Ｂ型事業所　やっさ工房	広島県三原市
オレンジ作業所	広島県尾道市
しまなみ瀬戸田夢工房	広島県尾道市
あいあい作業所	広島県廿日市市
三次共同作業所	広島県三次市
ジョブサポートぽかぽか	広島県呉市
ワークステーション大歳	山口県山口市
ステップあそかの園	山口県山口市
NPO法人周南さわやか会　さわやか工房	山口県周南市
ハローフレンズ	山口県萩市
川本ワークス	島根県邑智郡川本町
（社福）和　ボン・シャンス	鳥取県倉吉市
障がい福祉サービス事業所かけはし	香川県坂出市
地域活動支援センタースマイル	徳島県阿波市
地域支援活動センターどんどこどん	徳島県坂野郡松茂町
第２あおぞら	高知県高知市
福祉共同作業所　いろえんぴつ	愛媛県松山市
ワークハウス睦美	愛媛県伊予市
ポッポ苑	愛媛県松山市
木の香園就労支援センター	福岡県大川市
さるびあ作業所	福岡県筑紫野市
障がい者のはたらく拠点ジョブサポート（郷口）	福岡県福岡市東区
夢ぽけっと	福岡県福岡市南区
障がい福祉サービス事業所おおほり苑	福岡県福岡市中央区
ケアポートがんぎだん	福岡県福岡市西区
クオリティサービス	佐賀県鳥栖市
コリアンダーの家	長崎県長崎市
知的障害者通所授産施設サクラ	長崎県佐世保市
そよかぜ福祉作業所	熊本県上益城郡益城町

施設・事業所名	住所
NPO法人どんぐり村	熊本県上天草市
若葉工房	熊本県熊本市東区
らぷらんどカフェ	熊本県熊本市中央区
NPO法人ちちんぷいぷいあけぼの	大分県津久見市
小規模通所授産施設　どんぐりの家	大分県大分市
障害福祉サービス事業所つわぶき園	大分県大分市
就労継続支援Ｂ型事業所　ワーク大分すみれ会	大分県大分市
ピープルステーション	大分県大分市
（社福）太陽の家	大分県別府市
指定障害福祉サービス事業所メロディー	大分県別府市
多機能べっぷ優ゆう作業所	大分県別府市
ななえ福祉作業所	宮崎県都城市
はまゆう園多機能型恒富事業所	宮崎県延岡市
ひなこみち	宮崎県日南市
SUNはぁーと	宮崎県宮崎市
デイハウスびい	鹿児島県薩摩川内市
福祉工房「ゆーとぴあ」	鹿児島県鹿屋市
就労支援センターたんぽぽ	鹿児島県鹿児島市
キャンプグリーンヒル	沖縄県うるま市

2014年度　「障がい者のクロネコＤＭ便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入施設数	月次報告入力済施設数	入力率			メール便配達従事者人数			配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北海道	2014年4月	16	15	93.8%	100.0%	-6.3%	56	49	7	25,075	25,719	97.5%	69.1	71.8	-2.8
	5月	16	15	93.8%	100.0%	-6.3%	57	47	10	23,591	24,884	94.8%	30.5	68.0	-37.5
	6月	16	15	93.8%	93.8%	0.0%	55	47	8	25,559	28,851	88.6%	71.4	82.4	-11.0
	7月	16	16	100.0%	94.1%	5.9%	59	57	2	24,475	28,237	86.7%	61.8	71.7	-9.9
	8月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	58	61	-3	19,688	26,228	75.1%	53.1	66.1	-13.0
	9月	16	16	100.0%	88.2%	11.8%	58	56	2	26,132	25,723	101.6%	70.2	73.7	-3.5
	10月	16	15	93.8%	94.1%	-0.4%	54	58	-4	26,772	31,771	84.3%	70.3	81.0	-10.8
	11月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	54	61	-7	25,685	31,594	81.3%	71.0	79.0	-8.0
	12月	16	15	93.8%	88.2%	5.5%	60	50	10	21,806	25,079	86.9%	61.3	72.7	-11.4
	2015年1月	16	16	100.0%	87.5%	12.5%	61	44	17	24,438	22,942	106.5%	66.6	69.9	-3.4
	2月	16	16	100.0%	93.8%	6.3%	59	51	8	25,435	27,131	93.7%	72.7	83.0	-10.3
	3月	15	15	100.0%	100.0%	0.0%	51	57	-6	25,282	27,855	90.8%	68.5	72.5	-4.0
東北	2014年4月	81	81	100.0%	83.5%	16.5%	424	333	91	120,714	105,279	114.7%	76.4	81.8	-5.4
	5月	82	82	100.0%	96.2%	3.8%	455	380	75	118,120	122,393	96.5%	76.7	81.6	-4.9
	6月	83	83	100.0%	100.0%	0.0%	429	374	55	129,216	130,257	99.2%	80.7	87.3	-6.6
	7月	83	83	100.0%	93.4%	6.6%	453	349	104	122,001	123,451	98.8%	72.7	84.4	-11.8
	8月	85	85	100.0%	100.0%	0.0%	459	379	80	95,481	99,375	96.1%	66.0	74.5	-8.6
	9月	86	86	100.0%	100.0%	0.0%	455	389	66	120,971	112,835	107.2%	76.5	84.8	-8.3
	10月	88	88	100.0%	100.0%	0.0%	442	375	67	140,278	134,695	104.1%	81.8	90.1	-8.3
	11月	90	90	100.0%	100.0%	0.0%	496	381	115	123,194	130,604	94.3%	81.7	94.6	-12.8
	12月	91	91	100.0%	100.0%	0.0%	457	397	60	112,097	111,054	100.9%	71.3	85.2	-13.9
	2015年1月	92	92	100.0%	100.0%	0.0%	484	399	85	119,740	115,887	103.3%	75.6	85.7	-10.1
	2月	92	92	100.0%	100.0%	0.0%	470	395	75	120,696	126,596	95.3%	65.9	93.8	-27.9
	3月	92	92	100.0%	100.0%	0.0%	476	385	91	126,926	127,710	99.4%	72.0	85.2	-13.2
東京	2014年4月	20	17	85.0%	100.0%	-15.0%	95	115	-20	60,291	73,500	82.0%	208.6	188.0	20.6
	5月	19	18	94.7%	100.0%	-5.3%	94	107	-13	63,192	70,984	89.0%	205.8	179.3	26.6
	6月	19	18	94.7%	100.0%	0.0%	98	113	-15	64,250	70,765	90.8%	205.3	188.2	17.1
	7月	19	19	100.0%	100.0%	0.0%	98	109	-11	60,760	70,194	86.6%	176.1	172.5	3.6
	8月	19	17	89.5%	100.0%	-10.5%	93	97	-4	50,282	63,610	79.0%	187.6	171.5	16.2
	9月	19	18	94.7%	100.0%	-5.3%	80	97	-17	57,665	62,375	92.4%	197.5	177.7	19.8
	10月	19	18	94.7%	100.0%	-5.3%	102	99	3	68,498	77,202	88.7%	218.1	196.9	21.2
	11月	19	16	84.2%	100.0%	-15.8%	66	111	-45	56,245	69,999	80.4%	236.3	193.9	42.4
	12月	18	17	94.4%	95.2%	-0.8%	90	97	-7	56,005	64,668	86.6%	203.7	191.9	11.8
	2015年1月	18	14	77.8%	90.5%	-12.7%	78	96	-18	50,774	67,782	74.9%	240.6	228.2	12.4
	2月	18	18	100.0%	100.0%	0.0%	95	114	-19	53,361	67,404	79.2%	203.7	205.5	-1.8
	3月	19	16	84.2%	90.5%	-6.3%	103	96	7	54,235	63,867	84.9%	215.2	200.2	15.0
関東	2014年4月	93	86	92.5%	100.0%	-7.5%	533	571	-38	102,301	117,557	87.0%	65.3	70.1	-4.7
	5月	94	93	98.9%	100.0%	-1.1%	553	578	-25	103,785	115,834	89.6%	63.1	68.6	-5.6
	6月	95	88	92.6%	100.0%	-6.3%	528	578	-50	106,831	117,001	91.3%	67.4	72.9	-5.6
	7月	94	94	100.0%	100.0%	0.0%	554	572	-18	104,103	115,933	89.8%	59.2	67.9	-8.7
	8月	94	94	100.0%	100.0%	0.0%	555	560	-5	92,388	104,292	88.6%	61.4	67.3	-5.9
	9月	93	91	97.8%	100.0%	-2.2%	559	568	-9	101,124	104,709	96.6%	64.2	68.6	-4.4
	10月	93	90	96.8%	100.0%	-3.2%	570	588	-18	111,463	124,159	89.8%	69.2	72.4	-3.2
	11月	91	84	92.3%	100.0%	-7.7%	514	595	-81	97,824	121,766	80.3%	74.4	76.4	-2.0
	12月	91	91	100.0%	100.0%	0.0%	557	593	-36	99,642	100,293	99.4%	66.7	66.2	0.5
	2015年1月	91	91	100.0%	100.0%	0.0%	548	624	-76	96,402	108,147	89.1%	67.2	70.0	-2.7
	2月	89	89	100.0%	100.0%	0.0%	572	606	-34	101,970	112,108	91.0%	72.2	76.0	-3.8
	3月	89	89	100.0%	98.9%	1.1%	553	572	-19	103,224	108,153	95.4%	64.0	67.4	-3.4
北信越	2014年4月	16	13	81.3%	94.1%	-12.9%	42	52	-10	20,343	24,065	84.5%	76.8	80.0	-3.2
	5月	16	14	87.5%	88.2%	-0.7%	42	45	-3	23,181	22,581	102.7%	88.8	80.4	8.5
	6月	16	15	93.8%	82.4%	11.4%	49	45	4	26,560	24,815	107.0%	90.0	91.9	-1.9
	7月	16	13	81.3%	88.2%	-7.0%	44	45	-1	23,635	24,370	97.0%	93.4	80.7	12.7
	8月	16	14	87.5%	82.4%	5.1%	53	39	14	19,150	20,710	92.5%	87.8	86.7	1.2
	9月	16	13	81.3%	88.2%	-7.0%	45	38	7	20,883	22,211	94.0%	96.2	82.0	14.3
	10月	15	12	80.0%	88.2%	-8.2%	45	41	4	24,953	27,558	90.5%	110.4	93.1	17.3
	11月	15	12	80.0%	76.5%	3.5%	46	36	10	20,482	35,738	57.3%	101.4	148.9	-47.5
	12月	15	13	86.7%	100.0%	-13.3%	50	46	4	20,418	17,899	114.1%	89.2	62.6	26.6
	2015年1月	15	12	80.0%	87.5%	-7.5%	49	34	15	20,067	13,393	149.8%	97.4	56.5	40.9
	2月	15	12	80.0%	87.5%	-7.5%	46	46	0	19,597	19,137	102.4%	95.6	77.2	18.4
	3月	15	10	66.7%	87.5%	-20.8%	29	43	-14	20,432	21,558	94.8%	113.5	84.2	29.3
中部	2014年4月	17	16	94.1%	90.0%	4.1%	112	121	-9	20,645	21,648	95.4%	67.2	60.8	6.4
	5月	17	14	82.4%	94.4%	-12.1%	84	97	-13	18,683	21,979	85.0%	70.2	63.9	6.3
	6月	17	14	82.4%	94.4%	0.0%	102	110	-8	19,771	22,409	88.2%	70.9	70.2	0.6
	7月	17	12	70.6%	83.3%	-12.7%	65	89	-24	16,620	20,273	82.0%	67.3	62.0	5.3
	8月	17	13	76.5%	88.9%	-12.4%	80	105	-25	17,015	17,902	95.0%	74.0	60.1	13.9
	9月	17	12	70.6%	83.3%	-12.7%	84	103	-19	17,616	18,927	93.1%	74.0	68.3	5.7
	10月	17	14	82.4%	72.2%	10.1%	101	83	18	21,669	18,884	114.7%	77.7	68.7	9.0
	11月	17	14	82.4%	88.9%	-6.5%	85	106	-21	19,074	22,074	86.4%	76.3	71.7	4.6
	12月	17	12	70.6%	72.2%	-1.6%	79	75	4	16,511	15,552	106.2%	73.4	66.2	7.2
	2015年1月	17	12	70.6%	77.8%	-7.2%	65	98	-33	16,934	15,490	109.3%	72.7	63.7	8.9
	2月	17	15	88.2%	83.3%	4.9%	104	100	4	17,987	18,036	99.7%	67.1	65.3	1.8
	3月	17	14	82.4%	88.2%	-5.9%	100	105	-5	16,984	38,541	44.1%	61.1	135.2	-74.1

2014年度　「障がい者のクロネコＤＭ便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入施設数	月次報告入力済施設数	入力率			メール便配達従事者人数			配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
関西	2014年4月	24	23	95.8%	92.0%	3.8%	157	110	47	34,866	37,134	93.9%	82.8	86.6	-3.7
	5月	24	23	95.8%	100.0%	-4.2%	148	154	-6	33,684	38,353	87.8%	84.8	81.3	3.6
	6月	25	21	84.0%	100.0%	-11.8%	138	147	-9	35,263	40,210	87.7%	90.2	86.8	3.3
	7月	24	20	83.3%	100.0%	-16.7%	122	149	-27	31,502	40,471	77.8%	80.6	81.9	-1.4
	8月	24	22	91.7%	100.0%	-8.3%	142	136	6	27,743	38,366	72.3%	74.6	91.8	-17.2
	9月	24	21	87.5%	100.0%	-12.5%	143	141	2	28,684	34,166	84.0%	74.3	80.4	-6.1
	10月	24	21	87.5%	100.0%	-12.5%	135	146	-11	31,741	45,218	70.2%	77.8	93.4	-15.6
	11月	24	20	83.3%	88.0%	-4.7%	124	145	-21	29,339	43,582	67.3%	88.1	105.0	-16.9
	12月	24	21	87.5%	100.0%	-12.5%	144	161	-17	31,949	37,054	86.2%	85.7	85.2	0.5
	2015年1月	24	23	95.8%	91.7%	4.2%	152	150	2	35,731	38,370	93.1%	90.7	97.9	-7.2
	2月	24	18	75.0%	83.3%	-8.3%	126	136	-10	25,673	31,030	82.7%	83.6	92.9	-9.3
	3月	26	24	92.3%	87.5%	4.8%	149	130	19	41,815	35,693	117.2%	86.8	93.0	-6.2
中国	2014年4月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	68	60	8	28,875	27,831	103.8%	102.8	107.5	-4.7
	5月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	67	68	-1	28,204	27,752	101.6%	106.8	97.7	9.1
	6月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	69	68	1	33,594	30,195	111.3%	120.4	111.4	9.0
	7月	14	12	85.7%	100.0%	-14.3%	66	72	-6	26,818	28,718	93.4%	114.1	102.2	11.9
	8月	14	12	85.7%	92.9%	-7.1%	53	68	-15	20,777	22,393	92.8%	101.4	90.3	11.1
	9月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	66	68	-2	27,538	27,495	100.2%	108.0	107.8	0.2
	10月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	67	69	-2	36,958	35,330	104.6%	131.5	120.2	11.4
	11月	14	13	92.9%	100.0%	-7.1%	69	67	2	30,577	35,781	85.5%	135.3	132.5	2.8
	12月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	70	69	1	31,861	29,468	108.1%	120.2	116.0	4.2
	2015年1月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	70	68	2	29,226	29,570	98.8%	116.0	112.9	3.1
	2月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	71	67	4	30,467	29,847	102.1%	123.8	109.3	14.5
	3月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	71	67	4	30,613	27,293	112.2%	110.5	103.0	7.5
四国	2014年4月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	25	30	-5	7,626	10,418	73.2%	65.2	67.2	-2.0
	5月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	26	30	-4	7,009	9,298	75.4%	59.9	59.2	0.7
	6月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	26	32	-6	8,039	9,832	81.8%	71.8	65.1	6.7
	7月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	23	30	-7	5,037	8,915	56.5%	54.8	63.2	-8.5
	8月	6	6	100.0%	100.0%	0.0%	22	30	-8	4,499	8,991	50.0%	61.6	66.1	-4.5
	9月	6	6	100.0%	100.0%	0.0%	23	30	-7	4,193	8,488	49.4%	49.9	65.8	-15.9
	10月	6	5	83.3%	100.0%	-16.7%	23	28	-5	3,766	10,075	37.4%	52.3	66.3	-14.0
	11月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	25	26	-1	5,107	8,618	59.3%	45.6	75.6	-30.0
	12月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	23	26	-3	5,304	7,770	68.3%	45.7	70.6	-24.9
	2015年1月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	23	26	-3	4,823	7,448	64.8%	46.8	71.6	-24.8
	2月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	21	26	-5	3,087	8,232	37.5%	35.9	77.7	-41.8
	3月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	24	26	-2	5,396	8,145	66.2%	44.2	74.7	-30.5
九州	2014年4月	32	23	71.9%	90.3%	-18.4%	114	135	-21	63,033	63,604	99.1%	117.8	101.6	16.2
	5月	32	22	68.8%	80.6%	-11.9%	119	105	14	62,364	53,400	116.8%	117.9	96.2	21.7
	6月	30	30	100.0%	84.4%	31.3%	138	112	26	74,327	60,490	122.9%	111.8	98.2	13.6
	7月	29	25	86.2%	78.8%	7.4%	107	119	-12	64,811	66,835	97.0%	109.7	108.7	1.0
	8月	29	25	86.2%	84.8%	1.4%	123	149	-26	59,587	67,855	87.8%	109.3	114.6	-5.3
	9月	28	28	100.0%	87.9%	12.1%	127	151	-24	71,248	74,328	95.9%	117.4	115.1	2.3
	10月	27	27	100.0%	74.3%	25.7%	129	153	-24	78,896	71,802	109.9%	123.5	115.3	8.2
	11月	27	27	100.0%	82.9%	17.1%	124	152	-28	74,753	76,100	98.2%	127.6	115.8	11.7
	12月	27	22	81.5%	77.1%	4.3%	107	149	-42	60,813	72,060	84.4%	124.6	122.1	2.5
	2015年1月	27	27	100.0%	77.1%	22.9%	119	151	-32	66,512	75,724	87.8%	113.3	129.7	-16.4
	2月	27	26	96.3%	90.6%	5.7%	114	140	-26	63,820	76,763	83.1%	115.6	123.8	-8.2
	3月	28	28	100.0%	87.5%	12.5%	122	127	-5	71,353	70,242	101.6%	107.6	109.1	-1.4
沖縄	2014年4月	1	0	0.0%	50.0%	-50.0%	0	4	-4	0	4,331	0.0%	—	144.4	—
	5月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	6月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	7月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	8月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	9月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	10月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	11月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	12月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	2015年1月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	2月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
	3月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	—	—	—	—
全国	2014年4月	321	295	91.9%	93.1%	-1.2%	1,626	1,580	46	483,769	511,086	94.7%	84.5	87.1	-2.5
	5月	322	302	93.8%	95.9%	-2.1%	1,645	1,611	34	481,813	507,458	94.9%	79.0	84.0	-5.0
	6月	323	305	94.4%	96.6%	-2.1%	1,632	1,626	6	523,410	534,825	97.9%	89.0	90.5	-1.4
	7月	320	300	93.8%	94.1%	-0.3%	1,591	1,591	0	479,762	527,397	91.0%	80.1	86.0	-5.9
	8月	321	304	94.7%	96.2%	-1.5%	1,638	1,624	14	406,610	469,722	86.6%	77.7	84.1	-6.5
	9月	320	305	95.3%	96.2%	-0.9%	1,640	1,641	-1	476,054	491,257	96.9%	84.9	88.4	-3.5
	10月	320	304	95.0%	94.4%	0.6%	1,668	1,640	28	544,994	576,694	94.5%	92.0	94.3	-2.3
	11月	321	299	93.1%	95.0%	-1.9%	1,603	1,680	-77	482,280	575,856	83.8%	94.0	100.3	-6.3
	12月	321	303	94.4%	94.7%	-0.3%	1,637	1,663	-26	456,406	480,897	94.9%	84.6	88.9	-4.2
	2015年1月	322	308	95.7%	93.4%	2.2%	1,649	1,690	-41	464,647	494,753	93.9%	86.5	92.6	-6.0
	2月	320	306	95.6%	95.6%	-0.0%	1,678	1,681	-3	462,093	516,284	89.5%	83.7	96.7	-13.0
	3月	323	309	95.7%	95.3%	0.4%	1,678	1,608	70	496,260	529,057	93.8%	82.7	92.0	-9.3

経済的自立力達成事業所紹介サイト「夢へのかけ橋」開設報告

◆月額平均給料３万円以上を支給している事業所を先行事例として紹介

平成26年11月27日、ヤマト福祉財団が進める『夢へのかけ橋プロジェクト』の一環として『経済的自立力達成事業所紹介サイト 夢へのかけ橋』を開設しました。

このサイトでは、「月額平均給料３万円以上を支給している事業所」を先行事例として紹介しています。これは、福祉事業所に通う障がいのある人が障害基礎年金と合わせて相対的貧困線※1を超える収入を得るには、月額平均給料３万円以上が必要となるからです。

本サイトでは、売上金額・給料支給総額・従事する人数で業態ごとの分布をプロットし、取り組みやすさや規模で参考にできるようにしています。各事業所が「どんな業態で、どう工夫し、どの地域で、何人の利用者さんに、いくら給料を支払っているか」なども紹介。このサイトをより多くの事業所にご覧いただき、先行事例を模範として取り入れ、今後の給料増額、事業改善にお役立ていただけるような内容にしています。

※1）相対的貧困線について…ＯＥＣＤが定めた「相対的貧困線」は、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割ったもの）の中央値の半分の金額のラインです。先進国では、単に必要最低限の衣食住が満たされても、それは貧困未満であるとして娯楽や嗜好品も加算しています。日本国の等価可処分所得の中央値は、国税庁の平成21年国民生活基礎調査によると224万円で、相対的貧困線は112万円となります。

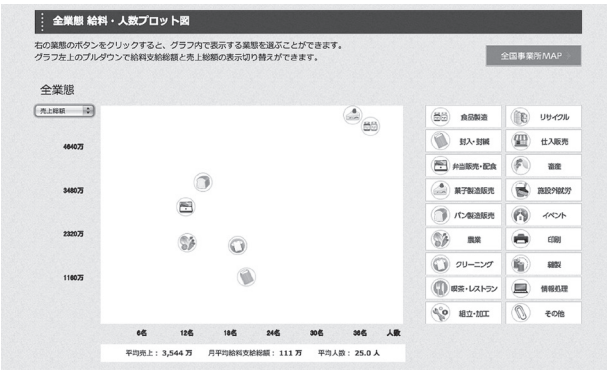
【ヤマト福祉財団のホームページからご覧いただけます…https://yume-kakehashi.jp/】

今後の事業改革の参考になるように、さまざまな視点から分析・検索できます

全業態で傾向を見る ―― どの業態の売上が高く給料も多く支払えているのだろうか？

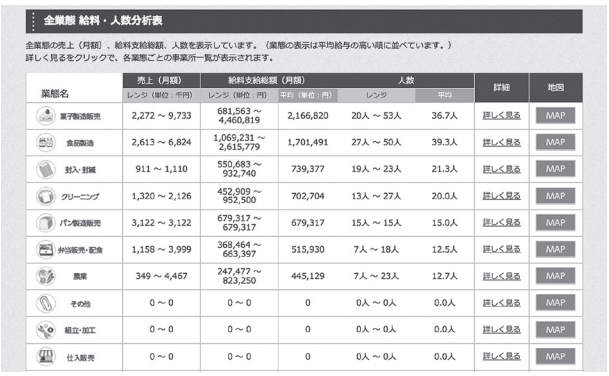
食品製造、封入・封緘、弁当販売・配食、菓子製造販売、パン製造販売、農業、クリーニングなど、全業態の給料支給総額・売上額・人数の傾向を示しました。福祉事業所の仕事として、どの業態の売上が上がっているか、給料を多く支払っているかなどの傾向を一目で把握できます。

■ 全業態 給料・人数プロット図



給料と人数を縦横にしたグラフに全業態のアイコンを配置。仕事の取り組みやすさと、傾向を比べて見ることができます

■ 全業態 給料・人数分析表



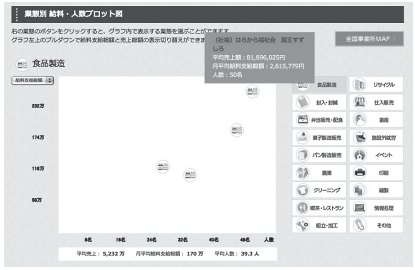
業態名	売上（月額） レンジ（単位：千円）	給料支給総額（月額） レンジ（単位：円）	給料支給総額（月額） 平均（単位：円）	人数 レンジ	人数 平均	詳細	地図
菓子製造販売	2,272 ～ 9,733	681,563 ～ 4,460,819	2,166,820	20人 ～ 53人	36.7人	詳しく見る	MAP
食品製造	2,613 ～ 6,824	1,069,231 ～ 2,615,779	1,701,491	27人 ～ 50人	39.3人	詳しく見る	MAP
封入・封緘	911 ～ 1,110	550,683 ～ 932,740	739,377	19人 ～ 23人	21.3人	詳しく見る	MAP
クリーニング	1,320 ～ 2,126	452,909 ～ 952,500	702,704	13人 ～ 27人	20.0人	詳しく見る	MAP
パン製造販売	3,122 ～ 3,122	679,317 ～ 679,317	679,317	15人 ～ 15人	15.0人	詳しく見る	MAP
弁当販売・配食	1,158 ～ 3,999	368,464 ～ 663,397	515,930	7人 ～ 18人	12.5人	詳しく見る	MAP
農業	349 ～ 4,467	247,477 ～ 823,250	445,129	7人 ～ 23人	12.7人	詳しく見る	MAP
その他	0 ～ 0	0 ～ 0	0	0人 ～ 0人	0.0人	詳しく見る	MAP
組立・加工	0 ～ 0	0 ～ 0	0	0人 ～ 0人	0.0人	詳しく見る	MAP
仕入販売	0 ～ 0	0 ～ 0	0	0人 ～ 0人	0.0人	詳しく見る	MAP

全業態の売上（月額）、給料支給総額、人数を数字で示した一覧表です。平均給料の高い順に業態を並べています

業態ごとの傾向を知る ―― 自分の施設ではじめるなら、どの業態が適しているのだろうか？

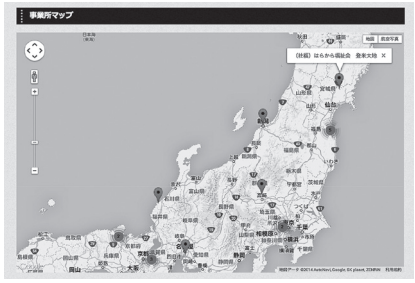
業態ごとに、各事業所の人数規模と給料の関係をつかむことができます。自分の施設の状況と比較することで、どの業態が自分の施設の参考になるか、取り組みやすいかなどを調べることができます。

■ 業態別 給料・人数プロット図



業態ごとの給料と人数の傾向を調べることができます

■ 全国事業所マップ



自分の施設と似た立地条件の業態を全国マップから探すことができます

■ 事業所一覧

業態別の事業所一覧から各事業所の詳細情報へ移動できます

先行事例を参考にする――成果を上げている施設は、具体的にどのように工夫しているのだろうか？

業態別に月額平均給料３万円以上を達成している施設を先行事例として掲載しています。施設の細かなデータ、開始した当時の状況、どういった着眼点でその事業に取り組むことにしたのか、それぞれが抱える問題をいかに解決し給料増額に結びつけているのかなどを紹介しています。なお本サイトでは、随時新しい先行事例の紹介を更新しています。

■ 事業所紹介（基本情報）

事業所紹介

基本情報　2013年度　　更新日：2014年11月12日

	対象事業売上総額（年間）	81,896,025 円	対象事業売上総額（月額）	6,824,669 円
	対象事業給料支給総額（年間）	31,389,344 円	対象事業給料支給総額（月額）	2,615,779 円
食品製造	対象事業月額平均給料	55,556 円	対象事業人数	50 人
（社福）はらから福祉会　蔵王すずしろ				宮城県刈田郡蔵王町

小倉昌男賞
第３回ヤマト福祉財団賞受賞（当時）

事業形態	就労継続Ａ型　就労継続Ｂ型　就労移行支援	利用者種別	混合
事業所のある環境	樹氷で有名な蔵王連峰の宮城県側のふもとにあり、遠刈田温泉のはずれに位置している。周囲に人家はほとんど無く、夏には「熊が出没注意」でおおわりさんが回って来ることもある。		
利用者合計人数（事業所全体）	50人	年度月額平均給料（事業所全体）	55,556円
ホームページ・連絡先等	http://www.harakara.jp/facilities/facilities.rhtml?big_oid=100007 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字七日原１－７２９		

アクセスマップ

月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）　（単位：円）

		2014年5月現在	2013年度	2012年度
売上（年間）	対象事業	7,668,070	81,896,025	85,840,871
	その他	2,220,705	27,043,590	25,659,909
	合　計	9,888,775	108,939,615	111,500,780
人数（期末）	対象事業	49	50	49
	その他	0	0	0
	合　計	49	50	49
給料支給総額	対象事業	2,905,661	31,389,344	36,220,146
	その他	0	0	0
	合　計	2,905,661	31,389,344	36,220,146
月額平均給料	対象事業	59,299	55,556	61,599
	その他			
事業所全体月額平均給料		59,299	55,556	61,599

対象事業に対する設備投資額　（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料・資料
土地	無償貸与		
建物			
設備			
備品	購入（年）	30,980	3,579
その他			
合計	-	30,980	3,579

資金内訳　（単位：千円）

自己資金	14,432
借入金	5,000
ヤマト助成金	
その他助成金	15,127
合計	34,559

事業所の基本情報や月額平均給料実績の推移などをわかりやすくまとめました

■ 事業所紹介（活動内容）

更新日：2015年02月10日

市場が求める、本物の商品をつくる

事業展開の経緯

■豆腐の製造販売で年商１億円を突破

「大豆の味と香りが楽しめる、昔ながらの豆腐」として確かな評価を確立している（社福）はらから福祉会のはらから豆腐。蔵王すずしろは、前身となるおおう共同作業所（1993年開所）時代から、豆腐、豆乳、湯葉の製造販売を行い、現在、年間の売上は１億円を超え、利用者さん50名の平均月額給料は約５万5000円を達成しています。

豆腐の材料は水・豆・にがりの三つしかありません。だからこそ水の温度、豆を水に浸す時間、にがりを加える作業などの基本を忠実に守ることが大切です。豆の状態を一定に保つために、室温も配慮して夏は水に氷を、冬にはお湯を入れて水の温度を調整し、豆を浸します。こうした工夫は、美味しい豆腐をつくろうと研究し続けてきた20年を超える経験から得たものです。

豆腐づくりの作業

■難しいからこそ競合も少ないにがり豆腐を選択

1983年、養護学校卒業後の行き場として「はらから共同作業所」を設立。（社福）はらから福祉会の原点になった最初の作業所です。当初行っていたのは陶器づくり。陶器の原材料は賞味期限がなく、焼成する前なら粘土を何度でも使えるという利点がありました。しかし陶器は、買った物が壊れない限り同じ人が再購入はしてくれません。ところが当時、仕入れ販売していた豆腐は、右肩上がりで売れ行きが伸びています。豆腐は、一度失敗したらその原材料は二度と使えませんが、気に入ってもらえれば同じ人がまた購入してくれます。自分たちがつくりやすい物を選ぶのではなく、お客様がリピートして購入したくなる商品こそつくる価値がある。そう気づき「とうき」の「き」を「ふ」に代える決断を下しました。さらに、製造が難しい「にがり豆腐」をあえて選択します。これはライバルが少なく価格競争に巻き込まれないようにと考えた戦略でした。

このにがり豆腐の特殊な製造技術をマスターするために、町の豆腐屋さん、豆腐製造に関係するさまざまな業者さん（設備・機械、大豆、包材他）、その他多くの関係者の協力を得ました。以来、ここで学んだ豆腐づくりの基本を大切に守りながら、シンプルが故に難しいにがり豆腐の味を研究し続けています。

蔵王のふもとにある「蔵王すずしろ」

給料増額への取り組み

■まずは給料の目標を立て、実現に向かい行動する

はらから福祉会の全事業所では「利用者さんの給料をいくらにするか」、すべてそこからはじまります。利用者さんの給料を７万円に目標設定し、そのためにはどれくらいの売上が必要なのか、その売上を確保するには何を行わなければならないのか、あらゆる面から考慮していきます。

例えば、月７万円を14ヵ月分（ボーナス２ヵ月）とすると年間で必要な支給額は98万円。一人約100万円として、40人（平均出勤人数）に支給すると4000万円です。はらから福祉会では材料費３割、経費３割、利用者給料を３～４割と想定していますから、年間に必要な売上は１億円。すべて計算の上で進められています。「いつも計算通りにいくわけではありませんよ」と笑う、はらから福祉会理事長の武田さん。

はらから豆腐の原料となるミヤギシロメ大豆

同じ業態でも事業所により、取り組み方、工夫の仕方はさまざまです

東日本大震災復興支援事業

事業の概要

2011年３月11日に発生した東日本大震災は、被災地の人々から生活や産業を支える大切な基盤を根こそぎ奪い去りました。特に水産業や農業の被害は深刻であり、震災発生後から、一刻も速い官民一体となった復興の支援が求められました。

宅急便事業により、被災地の皆様や産業との関わりの深いヤマトグループは、地域の生活基盤の復興と水産業・農業の再生のための継続支援として、“宅急便1個につき10円の寄付を1年間継続する”ことを、震災発生の翌月の４月７日に発表しました。時を同じくして、内閣府公益認定等委員会　池田守男委員長より「被災地への早期復興支援が求められているいまこそ、公益法人が中心になってサポートを」と各公益法人※に呼びかけが届きました。４月１日より「公益財団法人　ヤマト福祉財団」として活動を開始していた当財団は、この呼びかけに真っ先に呼応、４月11日に「障がい者支援事業に加え、被災地の復興支援事業を追加する変更」を申請、内閣府より認定を受けました。さらに６月24日に、財務大臣より寄付者が非課税で寄付できる「指定寄付金」の指定を受け、７月１日、当財団は「東日本大震災　生活・産業基盤復興再生募金」をスタートさせました。ヤマトグループはこの募金に全額寄付する事を決定、併せ個人の方々や法人、団体からも広く寄付金を募って行くこととなりました。

当財団では、寄付金の使途の妥当性や客観性を確保するため、６月24日に指定寄付金の指定を受けた段階で、第三者による「復興支援選考委員会」を発足させました。選考にあたっては「見える支援・速い支援・効果の高い支援」を基本方針に、国の補助のつきにくい事業への助成や単なる資金提供でなく、新しい復興モデルを育てるために役立てるなど、より民間らしい助成を心がけました。

８月24日に第１回の復興支援選考委員会を開催、総額41億円規模の第１次助成先を決定致しました。10月11日には総額22億円規模の第２次助成先を決定、12月12日には総額22億円規模の第３次助成先を決定、2012年２月22日に総額21億円規模の第４次助成先を決定、４月17日には総額36億円規模の第５次助成先を決定致しました。こうして第１次から第５次助成先は事業数31件、助成総額は142億6600万円となりました。

2012年６月30日をもって募金の募集、助成事業の募集は終了し、寄付総額は１年間で142億8448万751円となりました。なお、2015年２月の小野町病院の完成により、本助成による31件の復興事業は、福島県楢葉町の仮設校舎設置事業および、松川浦防災林の完成を除いてすべて完了いたしました。また、助成金総支給額は142億1849万8102円となりました。被災地の生活・産業が完全に復興を遂げるには、まだ多くの時間と努力を積み重ねる必要があります。いまも懸命に頑張り続ける被災者の思いと、それを支援する気持ち。それを風化させることなく、未来へとつないでいけるように、ヤマト福祉財団はこれからも見守り続けてまいります。

●「東日本大震災復興支援選考委員会」委員

・委員長…内田和成：早稲田大学大学院商学研究科教授／早稲田大学ビジネススクール教授
・委員（五十音順）…家田仁：東京大学社会基盤学教授／土木学会副会長（震災担当）、小泉武夫：東京農業大学名誉教授／農学博士、野田由美子：プライスウォーターハウスクーパース株式会社／パートナー PPP・インフラ政府部門アジア太平洋地区代表、林春男：京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授

※公益法人とは

「公益法人」は、広く社会に役立つために、宗教や慈善、学術、技芸などの公益を行う法人のことで、100年以上の歴史を持っている。2008年には、民間による非利益の活動を活発にし、民による公益を増進するとともに官庁ごとの法人の設立・運営のばらつきを解決することを目的とした「新公益法人制度」がスタートした。ヤマト福祉財団は、2011年３月に内閣府より認定を受け、４月１日から公益財団法人として活動をはじめている。

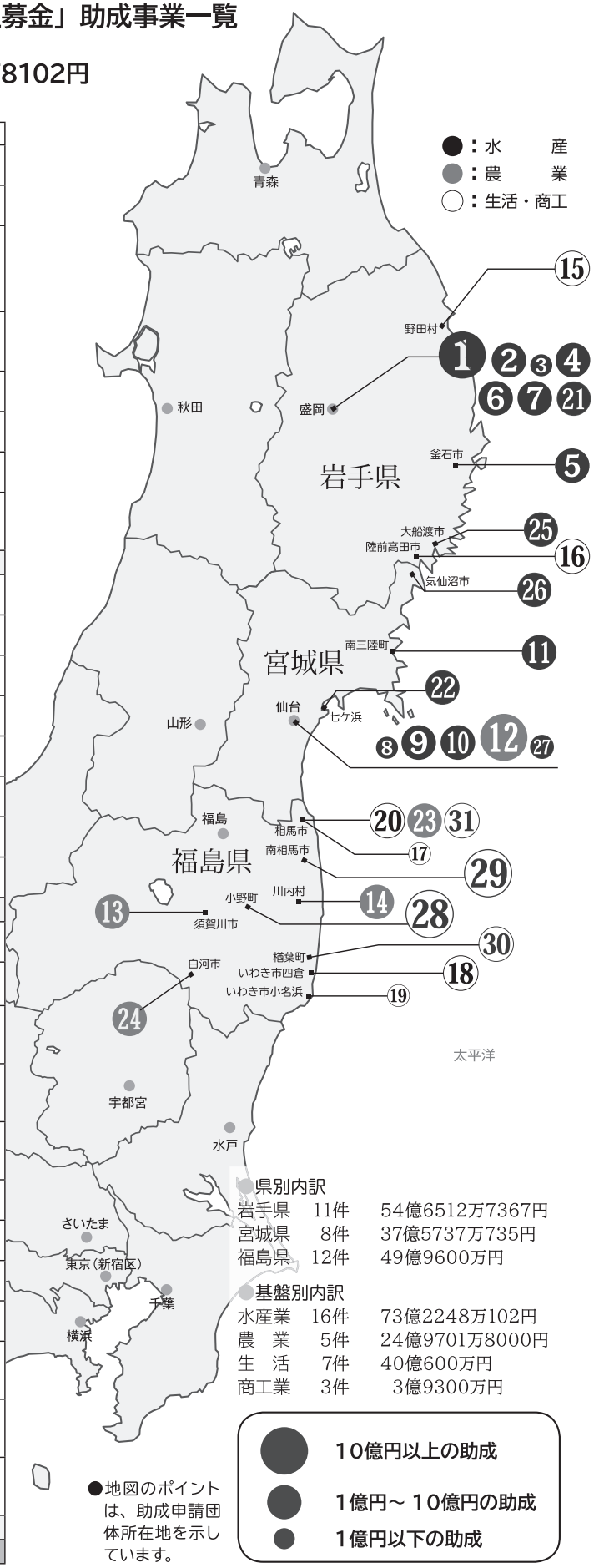
「東日本大震災　生活・産業基盤復興再生募金」助成事業一覧

【助成総額　最終報告】

事業件数累計 **31件**　　助成金額累計 **142億1849万8102円**

県別・事業別助成先一覧　　（単位：百万円）

県		事　業　名	水　産	農　業	生活・商工	県別合計
岩手県	❶	水産加工事業者生産回復支援事業	1,565			
	❷	魚価安定緊急対策事業	193			
	❸❼㉑	水産業共同利用施設復旧支援事業	1,789			
	❹❻	製氷・貯氷施設回復支援事業	980			
	❺	釜石市　魚市場経営基盤再生事業	185			
	⑮	野田村保育所再建事業			319	
	⑯	陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業			259	
	㉕	「いわて三陸」夢あふれる漁業モデル創生プロジェクト	172			
県別・基盤別合計			4,887	0	578	5,465
宮城県	❽	海底清掃資材購入支援事業	99			
	❾	高鮮度水産物供給施設整備事業	600			
	❿	養殖用資機材等緊急整備事業	500			
	⓫	南三陸町　水産業基盤施設緊急復興事業	370			
	⓬	農業生産復旧緊急対策事業		1,322		
	㉒	七ケ浜水産振興センター建設事業	590			
	㉖	気仙沼　仮設水産加工場施設設備整備事業	217			
	㉗	海底清掃資材購入支援事業	58			
県別・基盤別合計			2,435	1,322	0	3,757
福島県	⓭	JA すかがわ岩瀬農業生産再生事業		275		
	⓮	川内村高原農産物栽培工場建設事業		300		
	⓱	相馬広域こころのケアセンター：なごみの新設事業			30	
	⓲	よつくら港地域振興施設「交流館」復興事業			210	
	⓳	「アクアマリンふくしま」熱源設備改修事業			80	
	⓴	相馬港海上コンテナ物流基盤整備事業			103	
	㉓	農地復旧復興（純国産大豆）プロジェクト		300		
	㉔	地域農業再生基幹施設緊急整備事業		300		
	㉘	公立小野町地方綜合病院整備事業			2,047	
	㉙	鹿島厚生病院併設介護老人保健施設厚寿苑の新設事業			1,030	
	㉚	楢葉町　仮設校舎敷地造成工事、仮設校舎設置事業			191	
	㉛	福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業			130	
県別・基盤別合計			0	1,175	3,821	4,996
総　　計			**7,322**	**2,497**	**4,399**	**14,218**



県別内訳

岩手県	11件	54億6512万7367円
宮城県	8件	37億5737万735円
福島県	12件	49億9600万円

基盤別内訳

水産業	16件	73億2248万102円
農　業	5件	24億9701万8000円
生　活	7件	40億600万円
商工業	3件	3億9300万円

● 10億円以上の助成
● 1億円～10億円の助成
● 1億円以下の助成

＜震災後のヤマトグループ・ヤマト福祉財団の主な動き＞

日　付	ヤマトグループ	公益財団法人ヤマト福祉財団
2011年3/11（金）	震災発生	
3/23（水）	「救援物資輸送協力隊」編成　（車両200台／人員500名）	
3/25（金）	東北全エリアで「宅急便」集配を再開	
4/1（金）		内閣府より認定を受け、 公益財団法人「ヤマト福祉財団」となる
4/7（木）	「宅急便1個につき10円の寄付」（年間130億円規模）を発表	
4/11（月）	「宅急便ひとつに、希望をひとついれて」新聞広告	内閣府より障がい者支援事業に加え、被災地の復興支援事業を追加する変更認定を受ける
5/16（月）	「社員ボランティア休暇制度」スタート（2075名／ 2012年3月13日現在）	
6/24（金）	宅急便ひとつに、 希望をひとつ入れて。 ヤマトグループ	「東日本大震災　生活・産業基盤復興再生募金」 が財務省より「指定寄附金」の指定を受ける 同日、第三者による「復興支援選考委員会」発足 ※1
7/1（金）		「東日本大震災　生活・産業基盤復興再生募金」募金・助成先募集開始
8/24（水）		第一回「復興支援選考委員会」開催 「見える支援、速い支援、効果の高い支援」を基本方針に、第一次助成先を決定
9/8（木）		第一次助成先発表　※2　（41億円規模）
10/11（火）		第二回「復興支援選考委員会」開催
10/12（水）	「宅急便ひとつに、希望をひとついれて」報告新聞広告	
10/24（月）		南三陸志津川の「仮設魚市場」が10/21に完成し、初競り（第一次助成　3.6億円の一部）
10/27（木）		第二次助成先発表　※3　(34億円規模）
10/31（月）		岩手県水産加工事業者　生産回復事業の助成先を決定 （第一次助成の内　16億円規模）
11/7（月）	10月までの宅急便個数、寄付総額発表 累計 7億9323万8047個／ 79億3238万470円	10月末までの募金総額（ヤマトグループからの寄付を含む） 79億4014万3082万円 第二次までの助成総額　74億7100万円
2012年1/16（月）	12月までの宅急便個数、寄付総額発表 累計11億787万6576個／ 110億7876万5760円	第三回「復興支援選考委員会」開催12/12、12/21助成先発表　※4　（22億円規模）　第三次までの助成総額　96億7300万円　　12月末までの募金総額（ヤマトグループからの寄付を含む）　110億9321万429円　1/19国庫3次補正予算により第二次助成、第三次助成の一部助成先の補助により助成額減額11億9900万円
2/7（火）	1月までの宅急便個数、寄付総額発表 累計12億680万3208個／ 120億6803万2080円	12/16アクアマリン熱源設備運用開始式　1/17よつくら港交流館地鎮祭　1/28相馬港機能復旧式　1/30ＪＡすかがわ岩瀬農業倉庫起工式 1月末までの募金総額（ヤマトグループからの寄付を含む）　１20億8355万9589円
3/13（火）	2月までの宅急便個数、寄付総額発表 累計13億876万9264個／ 130億8769万2640円	2/10大船渡市漁業協同組合　製氷･貯氷施設保管施設地鎮祭　2/10宮城県　村井嘉浩知事よりヤマト福祉財団、ヤマト運輸㈱に感謝状贈呈　2/17岩手県　上野善晴副知事よりヤマト福祉財団、ヤマトホールディングス㈱に感謝状贈呈　第四回「復興支援選考委員会」開催2/22、2/29助成先発表　※5　（21億円規模）
6/30（土）	3月までの宅急便個数、寄付総額発表 累計14億2360万8136個／ 142億3608万1360円	3月末までの募金総額（ヤマトグループからの寄付を含む）　142億7117万7426円、　第五回「復興支援選考委員会」開催4/17、4/26助成先発表　※6　（36億円規模）　第五次までの助成総額　142億6600万円　4/24福島県　佐藤雄平知事よりヤマト福祉財団に感謝状贈呈　4/23釜石市漁業協同組合連合会　氷供給・衛生管理施設竣工式　5/8　ＪＡ東西しらかわ　東部共同農業倉庫新築起工式　6/1相馬市　農地復旧復興（純国産大豆プロジェクト）　農業機械交付式　6/6岩手県　達増拓也知事がヤマト福祉財団に御礼の表敬訪問 6/30募金募集終了　個人244名　法人76社より寄付総額142億8448万751円

※1「復興支援選考委員会」：委員長／内田和成（早大教授）　委員／家田仁（東大教授）、小泉武夫（東農大名誉教授）、野田由美子（ＰＷＣアジア地区代表）、林春男（京大教授）
※2「第一次助成先」：宮城県「高鮮度水産物供給施設整備事業」、岩手県「水産加工事業者水産回復支援事業」等、計9件／総額 40億8,300万円⇒40億6500万円（詳細はリリースをご参照ください）
※3「第二次助成先」：岩手県「野田村保育園再建事業」、福島県相馬市「相馬港海上コンテナ物流基盤整備事業」等、計6件／総額 33億8,800万円⇒22億700万円（　〃　）
※4「第三次助成先」：福島県川内村、「高原農産物栽培工場建設事業」、岩手県「陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業」等、計5件／総額 22億200万円（　〃　）
※5「第四次助成先」：岩手県「水産業共同利用施設復旧支援事業」「七ヶ浜町水産振興センター建設事業」等、計4件／総額 21億600万円（　〃　）
※6「第五次助成先」：福島県「公立小野町地方綜合病院整備事業」等、計7件／総額 36億8600万円（　〃　）
第一次～第五次助成累計総額　31件142億6600万円

第１次助成先報告

宮城県
養殖用資機材等緊急整備事業

南三陸町
水産業基盤施設緊急復興事業

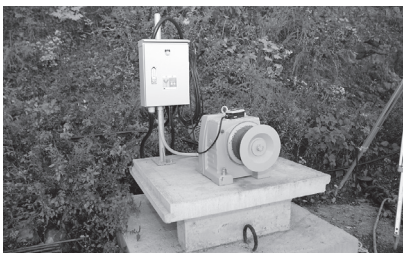
宮城県
高鮮度水産物供給施設整備事業

第１次助成　平成26年度で報告する新情報に★をつけています。

	申請団体	事業名	事業概要	助成金額（単位千円）
1	宮城県	海底清掃資材購入支援事業	底引き網漁船によるガレキ撤去のために開発された海底ガレキ回収装置で早期に漁場を再生するため、漁業協同組合等へ購入費用を助成する。	99,856
2	宮城県	高鮮度水産物供給施設整備事業	魚市場の早期再開と鮮魚流通に必要な氷を確保するための製氷機購入及び設置費用等を助成する。	600,000
3	宮城県	養殖用資機材等緊急整備事業	養殖業の早期復旧に向け、養殖事業が必要とする養殖用資機材の整備及び設置費用等を助成する。	500,000
4	岩手県	水産加工事業者生産回復支援事業	水産加工業者が必要とする機器類購入及び、設置費用等を助成する。	1,565,635
5	岩手県	魚価安定緊急対策事業	水産加工協同組合等に、需給調整能力の回復を図るための凍結･冷凍保管能力の確保費用を助成する。	193,761
6	特定非営利活動法人よつくらぶ	よつくら港地域振興施設「交流館」復興事業	いわき市四倉漁港の道の駅で、地域の農水産物の販売と地域情報の発信基地として年間６０万人以上の人々が利用する施設の改築費用を助成する。	210,000
7	財団法人ふくしま海洋科学館	「アクアマリンふくしま」熱源設備改修事業	年間１００万人が利用する地域観光の中心拠点であるいわき市小名浜の水族館「アクアマリンふくしま」の、基幹設備である水槽温度管理の熱源設備の改修費用を助成する。	80,000
8	すかがわ岩瀬農業協同組合	農業生産再生事業	被災した６ヵ所の農業倉庫を１ヵ所に集約、再編することで地域農業の復興再生を図るため、改修費用を助成する。	275,000
9	南三陸町	水産業基盤施設緊急復興事業	魚市場、漁船、生産施設、加工施設の仮設を含めた早期復旧費用を助成する。	370,495

第２次助成先報告

社会福祉法人野田村保育会
野田村保育所再建事業



岩手県
水産業共同利用施設復旧支援事業

岩手県
製氷・貯氷施設回復支援事業

宮城県
農業生産復旧緊急対策事業

宮城県
農業生産復旧緊急対策事業

釜石市漁業協同組合連合会
魚市場経営基盤再生事業

第２次助成

	申請団体	事業名	事業概要	助成金額（単位千円）
1	岩手県	水産業共同利用施設復旧支援事業	今期収穫可能な採介藻（アワビ等）や養殖ワカメの収穫作業に必要な漁船巻揚機及び荷役クレーンの整備費用を助成する。	91,797
2	岩手県	製氷・貯氷施設回復支援事業	県内で最も水揚量が多く、魚市場の再開の早い大船渡魚市場の製氷施設、貯氷施設の整備費用を助成する。	246,466
3	釜石市漁業協同組合連合会	魚市場経営基盤再生事業	魚市場の水揚げ機能確保対策としての氷供給施設（移動砕氷車）及び衛生管理施設（殺菌冷海水製造装置）の整備費用を助成する。	185,500
4	宮城県	農業生産復旧緊急対策事業	いち早く震災被害を克服して営農再開を目指す、意欲ある先導的な農業者組織の生産施設や農業機械の整備費用を助成する。	1,322,018
5	社会福祉法人野田村保育会	野田村保育所再建事業	流失した保育所を安全な高台に再建する費用を助成する。	319,000
6	相馬市	相馬港海上コンテナ物流基盤整備事業	応急復旧した代替岸壁での海上コンテナ物流用の代替クレーン及び集積機材（リーチスタッカー）の整備費用を助成する。	103,000

第３次助成先報告

岩手県
製氷・貯氷施設回復支援事業（久慈市）

岩手県
製氷・貯氷施設回復支援事業（洋野町）

特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会　相馬広域こころのケアセンター：なごみの新設事業

社会福祉法人陸前高田市保育協会
陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業

社会福祉法人陸前高田市保育協会
陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業

福島県川内村
川内高原農産物栽培工場建設事業

第３次助成

	申請団体	事業名	事業概要	助成金額（単位千円）
1	岩手県	製氷・貯氷施設回復支援事業	県内13魚市場の衛生管理高度化による、市場機能の早期回復のため、製氷・貯氷施設の整備費用を助成する。	**734,144**
2	岩手県	水産業共同利用施設復旧支援事業	水揚げされた水産物の流通機能回復のため、産地魚市場の水産加工場の整備（施設修繕、機器類購入）費用を助成する。	**838,400**
3	福島県川内村	川内高原農産物栽培工場建設事業	緊急避難準備区域が解除され、帰還後の新たな農業再生のため、安全できれいな地下水を利用した、水耕栽培工場の建設費用を助成する。	**300,000**
4	特定非営利活動法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	相馬広域こころのケアセンター：なごみの新設事業	相馬市、新地町、南相馬市の精神医療の拠点となる「相馬広域こころのケアセンター：なごみ」の整備及び運営費用を助成する。	**30,000**
5	社会福祉法人陸前高田市保育協会	陸前高田市竹駒保育園の新設・再建事業	被災した保育所を安全な高台に再建する費用を助成する	**259,000**

第４次助成先報告

宮城県漁業協同組合
七ヶ浜町水産振興センター建設事業

宮城県漁業協同組合
七ヶ浜町水産振興センター建設事業

宮城県漁業協同組合
七ヶ浜町水産振興センター建設事業

福島県東西しらかわ農業協同組合
地域農業再生基幹施設緊急整備事業

福島県東西しらかわ農業協同組合
地域農業再生基幹施設緊急整備事業

福島県東西しらかわ農業協同組合
地域農業再生基幹施設緊急整備事業

第４次助成

	申請団体	事業名	事業概要	助成金額（単位千円）
1	岩手県	水産業共同利用施設復旧支援事業	県内13魚市場と関連する漁業生産関連施設の水産物高鮮度流通に必要な給水及び殺菌設備、鮮度保持タンク、荷捌き設備等の整備・復旧費用を助成する。	**859,424**
2	宮城県漁業協同組合	七ヶ浜町水産振興センター建設事業	「海苔の種苗生産・品質改良」「魚類・貝類種苗の中間育成」等、水産振興の拠点である水産振興センターを3階避難施設を有する施設に再建する費用を助成する。	**590,000**
3	福島県相馬市	農地復旧復興（純国産大豆）プロジェクト	津波により被災した農地を復旧し、新たな農業経営（大豆の生産・加工・販売）に取り組む農業法人が使用する農業機器類を購入する費用を助成する。	**300,000**
4	福島県東西しらかわ農業協同組合	地域農業再生基幹施設緊急整備事業	被災した５ヵ所の農業倉庫を２ヵ所に集約、再編することで地域農業の復興再生を図るための建設費用を助成する。	**300,000**

第５次助成先報告

公立小野町地方綜合病院企業団
公立小野町地方綜合病院整備事業

緑地創造研究会
福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業

福島県厚生農業協同組合連合会
南相馬市鹿島厚生病院併設介護老人保健施設厚寿苑の新設事業

第５次助成　平成26年度で報告する新情報に★をつけています。

		申請団体	事業名	事業概要	助成金額（単位千円）
	1	宮城県	海底清掃資材購入支援事業	底引き網漁船によるガレキ撤去のために開発された海底ガレキ回収装置による撤去により、早期に漁場再生するため漁業協同組合等が装置を購入及び修理する費用を助成する。	**58,000**
	2	気仙沼水産加工業協同組合	仮設水産加工場施設設備整備事業	気仙沼市の仮設水産加工団地内で事業再開する10の水産加工事業体の水産加工場施設工事費用及び設備機器類購入費用を助成する。	**217,000**
	3	三陸漁業生産組合	「いわて三陸」夢あふれる漁業モデル創生プロジェクト	求められる品質の魚を丁寧に漁獲、加工チーム・販売チームと協働で高鮮度、高付加価値の魚介を安定供給できる体制をつくるための漁具資材、養殖用具等機材購入及び設備費用を助成する。	**172,000**
★	4	公立小野町地方綜合病院企業団	公立小野町地方綜合病院整備事業	地域医療復興のため、小野町、田村市、平田村、川内村、いわき市を構成市町村とする地域唯一の総合病院の被災した、倒壊の危険性のある旧館の建て替え費用を助成する。	**2,047,000**
	5	福島県厚生農業協同組合連合会	南相馬市鹿島厚生病院併設介護老人保健施設厚寿苑の新設事業	被災により大幅低下した高齢者保健医療、福祉機能の復旧に必要な病院併設の介護老人保健施設の新設費用を助成する。	**1,030,000**
	6	福島県楢葉町	仮設校舎敷地造成工事、仮設校舎設置事業	臨時休業措置となっている２小学校、１中学校の本格再開前に、避難地いわき市で仮設校舎による授業再開のため、２年間使用の仮設校舎建設費用を助成する。	**191,000**
★	7	緑地創造研究会	福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業	津波で流失した海岸防災林を、盛土による築堤の海岸防災林に再生するために、必要な樹木の地域性を考慮した「地域苗木」の育成と供給をする費用を助成する。	**130,000**

公立小野町地方綜合病院企業団　公立小野町地方綜合病院整備事業

患者さん中心の医療へ、地域の中核となる新病院が完成

「震災で深刻なダメージを受けた病院を建て直し、地域の方が安心して暮らせる医療体制を取り戻したい」。そんな思いを込めて公立小野町地方綜合病院企業団（以下：小野町病院）は本助成に申請しました。平成25年10月４日に新設工事、起工式を行い、新病院の建設を開始。そして平成27年２月14日、待望の『公立小野町地方綜合病院』が完成し、落成式が執り行われました。

小雪がちらつく中、約100名の方が出席。式典の前には、竣功碑の除幕とテープカットを行いました。

藤井文夫公立小野町地方綜合病院企業団企業長は「これほどの早さで新病院を完成できたのは、士気の高い職員が一丸となり取り組んでくれたお陰だと感謝しています。今後も職員一同それぞれの役割に励み、地域の中核病院として患者さん中心の医療を実践し、みなさまに一層信頼される病院を目指してまいります」と挨拶。大和田 昭公立小野町地方綜合病院企業団理事者会理事長（小野町町長）は「当病院は地域復興のシンボルとなる存在です。これからも地域医療の最後の砦として、保健、医療、福祉、介護の充実を図っていけるように期待しています」とお祝いの言葉を述べました。

町の中心部に建てられた小野町病院は復興のシンボルでもある

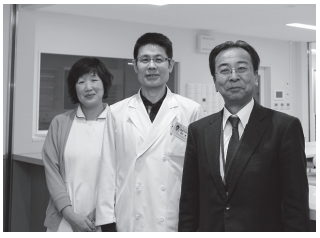
竣功碑除幕式で式典はスタート（左から３番目が有富理事長）

落成式を見守る病院スタッフの胸には、これまでのさまざまな思いが去来します。「すべてがあっと言う間のできごとであり、昨日のことのようにも感じます」。そう話す新田俊幸事務長兼総務課長兼施設整備室長は、震災の10日前に病院に赴任したばかりでした。「打ち合わせの最中に突如グラグラッときて、あちこちから悲鳴が聞こえました。スタッフには急いで病室へ走ってもらい、私は大騒ぎになっている隣の透析室へ向かいました。ドアを開けると、壊れた給水管の水が天井から漏れ出していたため、慌ててそこにいたスタッフと、患者さんの命をつなぐ大切な医療機器にシートをかけてまわりました。その後、外来に行こうとしましたが、廊下のいたるところにブロックが散乱。通路を確保するため、今度はその片付けをはじめたのです」。副院長兼看護部長の坪井裕子さんは、車で訪問看護に出かけていた時に震災に襲われました。「この後どうすべきかを確認するため、病院へ電話をしたのですが、まったくつながりません。とにかく一人暮らしの患者さんのことが心配で、そのまま訪問看護を続けました。患者さん宅を訪ねると、襖は外れ、家具が倒れ、窓ガラスも割れるなど大変な状態です。ご自宅に残っていた患者さんを離れた場所に住むご家族の元にお送りした後、病院に戻りましたが、病院も大変な状態になっていました」。診療技術部長兼薬局長兼栄養室長の渡辺 清さんは「薬局で勤務中に、地震に遭いました。棚の薬瓶が落下して床に散乱。ガラスも割れて足の踏み場もありませんでした」と話します。

特に旧館は、倒壊の危険が指摘されるほど深刻な被害を受け、壁にはクラックが走り、天井が落ちた部屋も。給水塔の配管が壊れたため、館内は水浸しになりました。まずは全102名の入院患者さんと、14名いた外来患者さんをスタッフ総員で安全な新館や避難所に移動。しかし、この状態ですべての入院患者を守ることは困難です。被害の少なかった国立病院機構 福島病院の１病棟を借り、医師２名、看護師10名が60名の患者さんと移ることになりました。

病院入り口に立てられた竣功碑

落成式で挨拶する藤井企業長


左から副院長兼看護部長の坪井さん、診療技術部長兼薬局長兼栄養室長の渡辺さん、事務長兼総務課長兼施設整備室長の新田さん

「いい病院をつくりたい」との思いからすべてをスタート

震災後は、別の病院や原発事故で避難されてきた患者さんも来院されるようになり、薬を出したくてもいつ在庫が切れるかわからない状態でした。「いつもは1ヵ月お渡しするところを2週間分にするなど工夫し、新しい薬が届くまでの約1週間を乗り切りました」と渡辺さん。不足していたのは薬だけではありません。スタッフが福島病院に移動する燃料も満足に確保できず、新田さんはガソリンスタンドの長蛇の列に並ぶなど、燃料の確保に走り回りました。

食料は、スタッフが自宅でおにぎりを握り炊き出しをしてくれたお陰で急場をしのぐことができました。「藤井企業長におにぎりをお渡しすると、とても喜んでいただけました。医師は交代しながら24時間体制で勤務されていましたので、自宅にほとんど戻られていなかったのです。あの頃は、患者さんのことで頭がいっぱいになり、みなさんが食事も満足に摂られていないことに気づくことができませんでした」と新田さん。坪井さんは「この時期が一番苦しかったですね。スタッフも被災者であり、守る家族がいますので、残ってくれと無理強いはできません。それでも誰一人欠けずによく頑張ってくれました」と話します。やがてライフラインが復旧。食料や薬などの必要な物資の調達も可能となり、3月末には福島病院から患者さんを呼び戻せる状態になりました。しかし、旧館が使えないため、使える病床数は限られています。

開放的で明るいロビー、緊急時にはトリアージできるように設計

バリアフリー構造の119床の病室

診療室前のゆったりと過ごせる待合室

お年寄りが楽に座り立ち上がれるよう取っ手も付いたソファー

小児科待合室はかわいい壁紙にして子どもたちに安心感を

「震災後、この地域で開院し続けることができた病院は、当院を含めて3軒だけでした。地域の医療を担う病院としては、早急に補強か建て替えが迫られていましたが、国や県、市町村からの財源措置もままならず、正直もうだめなのかと思いました。そんな時、助成の決定をいただけて夢のようでした」と新田さんは振り返ります。

落成式の後は、新病院の内覧会が行われ、出席者は手術室から広々とした病室まで、患者さんの立場ですみずみまで工夫された新病院を見学しました。

「震災後の混乱の中、一人も持ち場を離れることなく、ここまでよく頑張ってくれました。いまの課題は、現在休診中の休日夜間外来の再開です。これからも全スタッフが力を合わせ、より使いやすい親しみやすい病院を目指し、地域のみなさまのご期待に応えてまいります」と藤井企業長は話します。

完成した小野町病院の病床数は119床、診療科目は泌尿器科、形成外科を加えた12科に増えました。1階には外来診察に関連する薬剤、栄養、検診などを集約し、受診時の患者さんの負担が少ない動線になりました。2階は手術や人工透析などの機能を配置。3、4階の病室は、従来よりベッドスペースを広く取るなど、療養環境も充実しています。小児科には、安心感を与えるためにカラフルでかわいいイラストの壁紙を採用しました。他にもお年寄りが待合室で長時間座っていても疲れないようにと、特注のソファーも導入。病院全体で採光を多く取り、患者さんが快適に過ごせる明るい空間にしました。また、震災の教訓をもとに“災害に強い安心・安全な病院”を目指し、災害時には1階のロビーでトリアージができるように設計しています。

地元内覧会に約600名が出席、地域の期待は想像以上に大きい

医療設備には、新たに磁気共鳴画像装置（MRI）を導入。X線透視診断装置などの機器を更新し、透析室には計15台と透析装置を増台しました。「設備が不足し透析を受けることができない患者さんが7名ほどいらっしゃいましたが、これで受け入れができます。立派なハードが完成しましたから、ソフト面も負けないようにスタッフで力を合わせ頑張りたいと思います」と坪井さん。

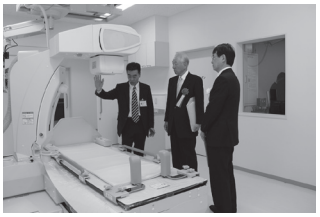
「私は地元の人間ですので、みなさんの気持ちが痛いほどよくわかります。患者さんの希望に一つひとつお応えしながら、この病院ができてよかったと言っていただけるように努力していきたいですね」と渡辺さん。

長時間の治療でも快適に過ごせるように明るい採光にした15床ある透析室

新田さんも地域の中核病院として地元にもっと貢献したいと考えています。「緊急救命医療にも対応できる体制を整えるには、人数を増やす必要があります。2月に地元新聞で新病院のことが紹介されると、早速、看護師の応募がありました。ぜひ多くの方に当病院で活躍していただきたいと願っています」と新田さん。新病院は、患者さんだけではなくスタッフの働く環境にも工夫を凝らし、当直室にはシャワーだけでなくバスタブも設置。また診察や治療の際、迅速に動ける動線に設計しています。

手術室

翌15日は、地元住民の内覧会が開催され、約600名の方が新病院を来訪。一時はロビーがいっぱいになるほどの盛況となりました。「地元の方が当病院にどれだけ期待されているか、改めて知ることができました。お帰りの際には、みなさんわざわざ私のところにいらっしゃって『明るくて広い病院になりましたね』『ホテルみたいなきれいなロビー。病気でなくても泊まってみたい』『椅子もとても座り心地がいい』『診察室のデザインも工夫していますね』と声をかけていただきました。安心して使える病院をつくろうとの思いからはじまった今回の病院建設ですが、みなさんに喜んでいただけて、本当によかったです」と新田さんは話します。小野町病院は、2月26日～3月1日で移転作業を完了し、3月3日から診療を開始しています。


X 線透視診断装置で説明を受ける有富理事長（中央）

スタッフが動きやすいように動線も工夫した診察室

ナースステーションを真ん中に東西に病室が並ぶ設計

事務室からも駐車場の患者さんの様子が見えるように配慮されている

MRI 室も整備

［新施設の概要］
●建物：鉄骨造り（耐震構造Ⅱ類）、地上４階＋塔屋階
●敷地面積：7,543.27m² ●延べ床面積：8,620.68m²
●一般駐車場：77台 ●病床数：119床（一般病棟60床、療養病棟 59 床）●診療科目：12 科（内科、婦人科、外科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、リウマチ科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、形成外科）
※地域の中核病院として災害時にも病院機能の維持・確保が図れるようにライフラインを多重化し、燃料や水などが備蓄できるように計画。

緑地創造研究会　福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業

美しい故郷を私たちの手で、植樹事業を本格的に開始

2014年11月10日、相馬市の松川浦周辺の松林を復旧させる植樹事業が本格的にスタート。松川浦大洲国有林で植樹式が行われ、地元の子どもたちを含めた約150人の参加者が、約600本のクロマツの苗木を植樹しました。

「松川浦を蘇らせたい」その思いを胸に約150人の地元の方が植樹式に集まった

植樹式で立谷秀清相馬市長は「さまざまな動植物を育む緑豊かな松川浦自然公園は、みなさまの憩いの場でありました。かつて私も家族とバーベキューをした楽しい思い出があります。この美しい松川浦は津波により一瞬で流されてしまいましたが、海岸防災林として津波の衝撃を吸収し、私たちを守る大切な役目を果たしてくれました。本日植樹するこの苗木は、松川浦を蘇らせるための最初の1本です。立派な海岸防災林に育つには、まだ何十年とかかるかもしれません。それでも子どもたちの世代、その先の世代へと受け継ぎながら、必ず松川浦を再生したいと願っています」と挨拶しました。

植樹式には、地元 磯部小・磯部幼稚園の子どもたちも参加

松川浦県立自然公園は、阿武隈高地から太平洋に注ぐ河口の干潟です。大小の島や岩が点在する風光明媚な風景は、日本百景の一つに数えられていました。しかし、津波により松川浦周辺の海岸防災林は１００ha以上も流出。海岸防災林が担ってきた役割は大きく、その再生は重要課題です。「美しい松川浦をなんとしても蘇らせたい」。そんな地元の方の願いに応えるため、緑地創造研究会が『福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業』を計画。マツノザイセンチュウ（松食い虫）に強い苗木や種子を供給する採種園を整備する助成を申請しました。ヤマト福祉財団では、地元の生産者たちが中心となって苗木育成などを行うことで、農業施設の有効活用や継続的な苗木生産という新しい地元産業の創出や雇用促進につながると考え助成を決定しました。今回の植樹式で植えられた苗木は、2014年４月に完成した福島県林業研究センター内の採種園で種子を生産し、地元の生産者に配布して育てられたものです。

磐城森林管理署は、2020年度を目標に1haに約1万本、約60万本のクロマツなどの植樹を計画しています。その一部を担う採種園の苗木は、これからも多くの地元の方の手で大切に植樹され、子どもたちと一緒に、松川浦を再生するためにたくましく成長していきます。

平成26年度収支決算報告書

貸 借 対 照 表

平成27年3月31日現在

(平成26年度)

(単位：円)

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ資産の部			
1 流動資産			
現金預金	30,723,834	42,657,163	-11,933,329
未収金	8,094	0	8,094
前払費用	452,088	904,176	-452,088
流 動 資 産 合 計	31,184,016	43,561,339	-12,377,323
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券（指定）	8,870,400,000	5,568,000,000	3,302,400,000
投資有価証券（一般）	1,041,994,800	821,519,900	220,474,900
計	9,912,394,800	6,389,519,900	3,522,874,900
銀行預金	0	1,860,232	-1,860,232
基 本 財 産 合 計	9,912,394,800	6,391,380,132	3,521,014,668
固 定 資 産 合 計	9,912,394,800	6,391,380,132	3,521,014,668
資 産 合 計	9,943,578,816	6,434,941,471	3,508,637,345
Ⅱ負債の部			
1 流動負債			
未払金	22,902,416	439,308	22,463,108
預り金	29,566	36,299	-6,733
流 動 負 債 合 計	22,931,982	475,607	22,456,375
負 債 合 計	22,931,982	475,607	22,456,375
Ⅲ正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	8,870,400,000	5,568,000,000	3,302,400,000
(うち基本財産への充当額)	(8,870,400,000)	(5,568,000,000)	3,302,400,000
(うち特定財産への充当額)	( )	( )	( )
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,050,246,834	866,465,864	183,780,970
(うち基本財産への充当額)	(1,041,994,800)	(823,380,132)	218,614,668
(うち特定財産への充当額)	( )	( )	( )
正 味 財 産 合 計	9,920,646,834	6,434,465,864	3,486,180,970
負債及び正味財産合計	9,943,578,816	6,434,941,471	3,508,637,345

正味財産増減計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	85,804,800	88,666,392	△ 2,861,592
基本財産株式配当	85,804,800	76,800,000	9,004,800
基本財産債券利息	0	11,866,392	△ 11,866,392
受取会費	97,076,000	99,773,000	△ 2,697,000
賛助会費収入	97,076,000	99,773,000	△ 2,697,000
受取寄付金	53,587,040	56,509,190	△ 2,922,150
寄付金収入	53,587,040	56,509,190	△ 2,922,150
指定寄付金収入	0	0	0
雑収益	215,157	0	215,157
雑収入	215,157	0	215,157
経　常　収　益　計	236,682,997	244,948,582	△ 8,265,585
（2）経常費用			
事業費	259,086,141	296,213,088	△ 37,126,947
給料手当	13,459,849	13,056,840	403,009
旅費交通費	13,926,848	10,639,382	3,287,466
通信運搬費	21,358,239	14,567,248	6,790,991
備品消耗品費	404,427	280,759	123,668
図書印刷費	8,864,331	25,061,868	△ 16,197,537
事務室維持費	6,030,776	5,012,930	1,017,846
会議費	6,735,735	1,603,211	5,132,524
支払手数料	275,252	323,515	△ 48,263
雑費	55,555	1,983,388	△ 1,927,833
奨学金支給	24,000,000	19,950,000	4,050,000
助成金支給	81,849,320	86,173,233	△ 4,323,913
震災支援費	0	70,000,000	△ 70,000,000
会場費	2,922,605	8,188,606	△ 5,266,001
運営費	961,315	4,283,878	△ 3,322,563
講師諸費	2,721,649	2,408,750	312,899
ビデオ・パンフ作成費	6,221,216	5,501,800	719,416
システム費用	13,555,601	592,200	12,963,401
システムリース料	350,460	0	350,460
就労支援費	4,420,000	4,416,000	4,000
委託費	10,075,465	10,511,180	△ 435,715
ホームページ運営費	1,139,298	882,000	257,298
贈呈費	39,303,200	8,476,300	30,826,900
共済分担金	455,000	2,300,000	△ 1,845,000

科　　目	当年度	前年度	増　減
管理費	12,327,059	10,717,589	△ 1,609,470
給料手当	1,382,800	1,802,400	△ 419,600
福利厚生費	318,442	155,017	163,425
会議費	864,865	892,927	△ 28,062
旅費交通費	485,956	865,928	△ 379,972
通信運搬費	2,764,113	2,490,890	273,223
消耗什器備品費	410,706	380,289	30,417
図書印刷費	3,735,387	1,915,065	1,820,322
事務室維持費	1,304,962	522,959	△ 782,003
事務機器賃借料	417,488	654,572	△ 237,084
賦課金	202,000	0	202,000
支払手数料	119,166	261,149	△ 141,983
租税公課	0	100,000	△ 100,000
運営費	0	72,407	△ 72,407
雑費	321,174	603,986	△ 282,812
経　常　費　用　計	271,413,200	306,930,677	△ 35,517,477
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 34,730,203	△ 61,982,095	27,251,892
基本財産評価損益等	218,511,173	0	218,511,173
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券売却益等	0	7,788,880	△ 7,788,880
評価損益等計	218,511,173	7,788,880	210,722,293
当期経常増減額	183,780,970	△ 54,193,215	237,974,185
2. 経常外増減の部			0
（1）経常外収益			0
前期経費振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
（2）経常外費用			0
有価証券償還差損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	△ 821,519,900	821,519,900
当期一般正味財産増減額	183,780,970	△ 875,713,115	1,059,494,085
一般正味財産期首残高	866,465,864	1,742,178,979	△ 875,713,115
一般正味財産期末残高	1,050,246,834	866,465,864	183,780,970
当期指定正味財産増減額	3,302,400,000	821,519,900	2,480,880,100
指定正味財産期首残高	5,568,000,000	5,568,000,000	0
指定正味財産期末残高	8,870,400,000	5,568,000,000	3,302,400,000
正味財産期末残高	9,920,646,834	6,434,465,864	3,486,180,970

〈参考資料〉

正味財産増減計算書　内訳表

平成26年4月1日～平成27年3月31日

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 助成事業	公2 研修・育成	公3 表彰事業	公4 広報啓発等	公5 震災助成	共通	小計		
Ⅰ　一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
（1）経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	60,063,360	60,063,360	25,741,440	85,804,800
基本財産株式配当	0	0	0	0	0	60,063,360	60,063,360	25,741,440	85,804,800
基本財産債券利息	0	0	0	0	0		0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	97,076,000	97,076,000	0	97,076,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	97,076,000	97,076,000	0	97,076,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	53,587,040	53,587,040	0	53,587,040
寄付金収入	0	0	0	0	0	53,587,040	53,587,040	0	53,587,040
指定寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	215,157	215,157	0	215,157
雑収入	0	0	0	0	0	215,157	215,157	0	215,157
経常収益計	0	0	0	0	0	210,941,557	210,941,557	25,741,440	236,682,997
（2）経常費用									
事業費	112,687,436	78,814,601	9,340,811	52,212,517	0	6,030,776	259,086,141		259,086,141
給料手当	3,324,245	6,982,468	1,254,340	1,898,796	0	0	13,459,849		13,459,849
旅費交通費	1,280,353	9,330,739	2,075,221	1,240,535	0	0	13,926,848		13,926,848
通信運搬費	257,471	508,807	9,620	20,582,341	0	0	21,358,239		21,358,239
備品消耗品費	0	104,240	108,971	191,216	0	0	404,427		404,427
図書印刷費	1,200,870	378,368	161,340	7,123,753	0	0	8,864,331		8,864,331
事務室維持費	0	0	0	0	0	6,030,776	6,030,776		6,030,776
会議費	296,002	3,823,305	2,030,356	586,072	0	0	6,735,735		6,735,735
支払手数料	160,272	48,710	9,288	56,982			275,252		275,252
雑費	0	0	55,555	0	0	0	55,555		55,555
奨学金支給	24,000,000	0	0	0	0	0	24,000,000		24,000,000
助成金支給	81,849,320	0	0	0	0	0	81,849,320		81,849,320
震災支援費	0	0	0	0	0	0	0		0
会場費	226,800	2,695,805	0	0	0	0	2,922,605		2,922,605
運営費	0	510,556	448,200	2,559	0	0	961,315		961,315
講師謝金	0	2,721,649	0	0	0	0	2,721,649		2,721,649
ビデオ／パンフ作成費	0	6,033,296	187,920	0	0	0	6,221,216		6,221,216
システム費用	92,103	4,210,138	0	9,253,360	0	0	13,555,601		13,555,601
システムリース料	0	350,460	0	0	0	0	350,460		350,460
就労支援費	0	4,420,000	0	0	0	0	4,420,000		4,420,000
委託費	0	392,860	0	9,682,605	0	0	10,075,465		10,075,465
ホームページ運営費	0	0	0	1,139,298	0	0	1,139,298		1,139,298
贈呈費	0	36,303,200	3,000,000	0	0	0	39,303,200		39,303,200
共済分担金	0	0	0	455,000	0	0	455,000		455,000
管理費								12,327,059	12,327,059
給料手当								1,382,800	1,382,800
福利厚生費								318,442	318,442
会議費								864,865	864,865
旅費交通費								485,956	485,956
通信運搬費								2,764,113	2,764,113
賦課金								202,000	202,000
消耗什器備品費								410,706	410,706
図書印刷費								3,735,387	3,735,387
事務室維持費								1,304,962	1,304,962
事務機器賃借料								417,488	417,488
支払手数料								119,166	119,166
雑費								321,174	321,174
経常費用計	112,687,436	78,814,601	9,340,811	52,212,517	0	6,030,776	259,086,141	12,327,059	271,413,200

科　　目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 助成事業	公2 研修・育成	公3 表彰事業	公4 広報啓発等	公5 震災助成	共通	小計		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 112,687,436	△ 78,814,601	△ 9,340,811	△ 52,212,517	0	204,910,781	△ 48,144,584	13,414,381	△ 34,730,203
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	218,511,173	218,511,173	0	218,511,173
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 112,687,436	△ 78,814,601	△ 9,340,811	△ 52,212,517	0	423,421,954	170,366,589	13,414,381	183,780,970
2．経常外増減の部									0
（1）経常外収益									
有価証券売却益	0	0	0	0	0		0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額							0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 112,687,436	△ 78,814,601	△ 9,340,811	△ 52,212,517	0	423,421,954	170,366,589	13,414,381	183,780,970
一般正味財産期首残高						866,465,864	866,465,864	0	866,465,864
一般正味財産期末残高	△ 112,687,436	△ 78,814,601	△ 9,340,811	△ 52,212,517		1,289,887,818	1,036,832,453	13,414,381	1,050,246,834
当期指定正味財産増減額						3,302,400,000	3,302,400,000	0	3,302,400,000
指定正味財産期首残高						5,568,000,000	5,568,000,000	0	5,568,000,000
指定正味財産期末残高	0	00		0		8,870,400,000	8,870,400,000	0	8,870,400,000
正味財産期末残高	△ 112,687,436	△ 78,814,601	△ 9,340,811	△ 52,212,517		10,160,287,818	9,907,232,453	13,414,381	9,920,646,834

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

（1）計算書類は公益法人会計基準（平成20年4月11日、改正平成21年10月16日内閣府公益認定等委員会）を適用している。

（2）有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券……償却原価法（定額法）

その他の有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法

時価のないもの……移動平均法による原価法

（3）固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法

（4）消費税の会計処理

税込み方式

2. 会計方針の変更　該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	6,389,519,900	3,522,874,900	0	9,912,394,800
銀行預金	1,860,232	0	1,860,232	0
小　　計	6,391,380,132	3,522,874,900	1,860,232	9,912,394,800
特定資産	—	—	—	—
小　　計	—	—	—	—
合　　計	6,391,380,132	3,522,874,900	1,860,232	9,912,394,800

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
投資有価証券	9,912,394,800	8,870,400,000	1,041,994,800	—
小　　計	9,912,394,800	8,870,400,000	1,041,994,800	—
特定資産	—	—	—	—
小　　計	—	—	—	—
合　　計	9,912,394,800	8,870,400,000	1,041,994,800	—

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

該当なし　　重要性が希薄なため経費処理

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

7. 担保に供している資産　　該当なし

8. 保証債務等の偶発債務　　該当なし

9. 関連当事者との取引の内容　　該当なし

10. 重要な後発事象　　該当なし

財　産　目　録

平成27年3月31日　現在

(平成26年度)

(単位：円)

科　　目	金　　額	使 用 目 的 等
Ⅰ資産の部		
1 流動資産		
現金預金	30,723,834	
現金	315,377	運転資金
普通預金	30,408,457	
みずほ銀行銀座中央支店1	26,843,077	運転資金
みずほ銀行銀座中央支店2	3,565,380	運転資金
未収金	8,094	
前払費用	452,088	
流 動 資 産 合 計	31,184,016	
2 固定資産		
⑴基本財産		
投資有価証券　3,575,900㈱	9,912,394,800	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社（株式）		うち70％を公益保有財産として運用益を公益目的事業に使用し、30％を管理業務のための財産として運用益を法人会計に使用している。
株数　取得価額		
3,200,000株　5,568,000,000円	8,870,400,000	
375,200株　821,519,900円	1,040,054,400	
700株　1,963,727円	1,940,400	
固 定 資 産 合 計	9,912,394,800	
資　産　合　計	9,943,578,816	
Ⅱ負債の部		
1 流動負債		
未払金	22,902,416	3月経費等未払分
預り金	29,566	謝礼金に対する源泉所得税
流 動 負 債 合 計	22,931,982	
負　債　合　計	22,931,982	
正　味　財　産	9,920,646,834	

附　属　明　細　書

１．基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

２．引当金の明細　　該当なし

以　　上

平成27年５月

公益財団法人　ヤマト福祉財団

平成26年度事業報告　附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以　上

平成27年5月

公益財団法人　ヤマト福祉財団

〈参考資料〉

収　支　決　算　書

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（単位：円）

科　　目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
Ⅰ事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
（1）基本財産運用収入	53,760,000	23,040,000	76,800,000	85,804,800	-9,004,800
①基本財産株式配当	53,760,000	23,040,000	76,800,000	85,804,800	-9,004,800
（2）寄付金収入	50,000,000	—	50,000,000	53,587,040	-3,587,040
①運用財産	50,000,000	—	50,000,000	53,587,040	-3,587,040
②基本財産指定・(繰入増加)	0	—	0	0	0
（3）賛助会費収入	98,000,000	—	98,000,000	97,076,000	924,000
（4）雑収入	0	—	0	215,157	-215,157
事 業 活 動 収 入 計	201,760,000	23,040,000	224,800,000	236,682,997	-11,882,997
2. 事業活動支出					
事業費支出	301,450,000	—	301,450,000	259,086,141	42,363,859
（公1）助成事業	131,000,000	—	131,000,000	112,687,436	18,312,564
①奨学金支給	24,000,000	—	24,000,000	24,000,000	0
②助成金	100,000,000	—	100,000,000	82,076,120	17,923,880
ⅰ福祉助成金	10,000,000	—	10,000,000	11,454,918	-1,454,918
ⅱ給料増額支援助成金	85,000,000	—	85,000,000	70,394,402	14,605,598
ⅲ助成金説明会	5,000,000	—	5,000,000	226,800	4,773,200
③諸経費	7,000,000	—	7,000,000	6,611,316	388,684
（公2）研修・育成事業	101,450,000	—	101,450,000	78,464,141	22,985,859
①セミナー事業	24,000,000	—	24,000,000	12,370,619	11,629,381
ⅰ会場費	4,000,000	—	4,000,000	2,065,181	1,934,819
ⅱ運営費	6,000,000	—	6,000,000	4,959,688	1,040,312
ⅲビデオ作成費	3,000,000	—	3,000,000	3,379,094	-379,094
ⅳ諸経費	11,000,000	—	11,000,000	1,966,656	9,033,344
②雇用促進事業	6,950,000	—	6,950,000	7,351,343	-401,343
ⅰシステム費	450,000	—	450,000	609,120	-159,120
ⅱ就労支援費	4,500,000	—	4,500,000	4,420,000	80,000
ⅲ諸経費	2,000,000	—	2,000,000	2,322,223	-322,223
③育成プロジェクト	70,500,000	—	70,500,000	58,742,179	11,757,821
ⅰ会場費	7,000,000	—	7,000,000	4,453,929	2,546,071
ⅱ講師諸費	1,500,000	—	1,500,000	1,625,227	-125,227
ⅲ事業改革モデル化資金	46,000,000	—	46,000,000	36,303,200	9,696,800
ⅳ管理会計ソフト運用費	6,000,000	—	6,000,000	3,601,018	2,398,982
ⅴ諸経費	10,000,000	—	10,000,000	12,758,805	-2,758,805
（公3）表彰事業	9,000,000	—	9,000,000	9,340,811	-340,811
①贈呈費	3,000,000	—	3,000,000	3,000,000	0
②会場費	2,000,000	—	2,000,000	2,030,358	-30,358
③経費	4,000,000	—	4,000,000	4,310,453	-310,453
（公4）広報・啓発等事業	55,000,000	—	55,000,000	52,562,977	2,437,023
①広報事業	35,000,000	—	35,000,000	41,370,927	-6,370,927
ⅰホームページ運営費	1,000,000	—	1,000,000	1,139,298	-139,298

科　　目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
ⅱ委託費	9,000,000	—	9,000,000	9,682,605	-682,605
ⅲ諸経費	25,000,000	—	25,000,000	30,549,024	-5,549,024
②事業モデル別実践事例サイト	10,000,000	—	10,000,000	9,253,360	746,640
ⅰ構築・運用費	9,500,000	—	9,500,000	9,253,360	246,640
ⅱ諸経費	500,000	—	500,000	0	500,000
③啓発事業	4,500,000	—	4,500,000	1,477,057	3,022,943
ⅰ会場費	1,000,000	—	1,000,000	588,631	411,369
ⅱ運営費	500,000	—	500,000	281,959	218,041
ⅲ共催・後援費	2,500,000	—	2,500,000	0	2,500,000
ⅳ諸経費	500,000	—	500,000	606,467	-106,467
④その他事業	5,500,000	—	5,500,000	461,633	5,038,367
ⅰ共催分担金	5,000,000	—	5,000,000	455,000	4,545,000
ⅲ諸経費	500,000	—	500,000	6,633	493,367
（公５）復興・再生支援事業	0	—	0	0	0
①震災支援費	0	—	0	0	0
②諸経費	0	—	0	0	0
共通	5,000,000	—	5,000,000	6,030,776	-1,030,776
①諸経費	5,000,000	—	5,000,000	6,030,776	-1,030,776
管理費支出	—	15,610,000	15,610,000	12,327,059	3,282,941
①人件費	—	1,560,000	1,560,000	1,382,800	177,200
②福利厚生費	—	100,000	100,000	318,442	-218,442
③旅費	—	2,000,000	2,000,000	485,956	1,514,044
④通信運搬費	—	4,000,000	4,000,000	2,764,113	1,235,887
⑤備品消耗品費	—	350,000	350,000	410,706	-60,706
⑥図書印刷費	—	3,000,000	3,000,000	3,735,387	-735,387
⑦事務室維持費	—	1,300,000	1,300,000	1,304,962	-4,962
⑧事務機器賃借料	—	700,000	700,000	417,488	282,512
⑨会議費	—	1,000,000	1,000,000	864,865	135,135
⑩賦課金	—	100,000	100,000	202,000	-102,000
⑪支払手数料	—	500,000	500,000	119,166	380,834
⑫雑費	—	1,000,000	1,000,000	321,174	678,826
事業活動支出計	301,450,000	15,610,000	317,060,000	271,413,200	45,646,800
当期収支差額	-99,690,000	7,430,000	-92,260,000	-34,730,203	-57,529,797
Ⅱ基本財産評価損益等	0	0	0	3,520,911,173	-3,520,911,173
Ⅲ経常外損益	0	0	0	0	0
Ⅳ予備費支出	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	—	—	92,260,000	103,491,543	-11,231,543
次期繰越収支差額	—	—	0	3,589,672,513	-3,589,672,513

〈参考資料〉

勘　定　明　細　表

平成27年3月31日現在

Ⅰ　資産の部

1　流動資産

（単位：円）

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
現金	315,377	520,992	-205,615	手持現金
計	520,992	520,992	0	

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
普通預金	26,843,077	35,092,882	-8,249,805	みずほ銀行銀座中央支店1
	3,565,380	5,170,380	-1,605,000	みずほ銀行銀座中央支店2
	—	1,872,909	-1,872,909	東日本大震災復興助成募金口
計	30,408,457	42,136,171	-11,727,714	

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
未収金	8,094	0	8,094	㈱スワン過剰返金分
計	0	0	0	

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
前払費用	452,088	904,176	-452,088	家賃他
計	904,176	904,176	0	

2　固定資産

基本財産

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
有価証券（株式）	9,912,394,800	6,389,519,900	3,522,874,900	ヤマトホールディングス株式
計	5,568,000,000	5,568,000,000	0	

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
普通預金	—	1,860,232	-1,860,232	みずほ銀行銀座中央支店3
計	—	1,860,232	-1,860,232	

Ⅱ　負債の部

1　流動負債

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
未払金	11,114,529	―	11,114,529	事業改革モデル化資金
	10,000,000	―	10,000,000	楠元塾モデル化資金引当
	549,667	―	549,667	ヤマトホールディングス㈱
	262,098	―	262,098	ヤマト自立センンター
	236,417	66,460	169,957	ヤマトシステム開発㈱
	234,675	―	234,675	㈱クレディセゾン
	226,800	―	226,800	大阪国際会議場
	96,440	2,374	94,066	㈱スワン
	50,760	49,350	1,410	シナジーマーケティング㈱
	45,096	―	45,096	長尾敦子
	37,306	33,598	3,708	ヤマト運輸㈱
	22,293	14,278	8,015	リコー販売㈱
	16,615	25,561	-8,946	ニッポンレンタカーサービス㈱
	9,720	9,450	270	日比谷花壇
	―	216,090	-216,090	プランニングハウス HARA
	―	16,091	-16,091	㈱ワイ・ビー・シー
	―	3,056	-3,056	㈱クレディセゾン
	―	3,000	-3,000	（社福）東京コロニー
計	22,902,416	439,308	22,463,108	

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
預り金	29,566	36,299	-6,733	源泉所得税
計	36,299	5,555	30,744	

Ⅲ　正味財産の部

1　指定正味財産

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
有価証券（株式）	8,870,400,000	5,568,000,000	3,302,400,000	ヤマトホールディングス株式
計	8,870,400,000	5,568,000,000	3,302,400,000	

2　一般正味財産

科目	平成27年3月	平成26年3月	差　　額	備考
有価証券（債券）	―	821,519,900	-821,519,900	北欧投資銀行債券ほか
有価証券（株式）	1,041,994,800	―	1,041,994,800	ヤマトホールディングス株式
普通預金	―	1,860,232	-1,860,232	みずほ銀行銀座中央支店３
流動資産	31,184,016	43,561,339	-12,377,323	現金預金ほか
流動負債	22,931,982	475,607	22,456,375	未払金ほか
計	1,050,246,834	866,465,864	183,780,970	

監　査　報　告　書

公益財団法人　ヤマト福祉財団
　理事長　有富 慶二　殿

平成２７年5月１４日

監事　新里智弘

監事　神保清一

私たち監事は、平成２６年４月１日から平成２７年３月３１日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

理事及び使用人等と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

２　監査意見

（１）　事業報告等の監査結果

一　事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）　計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

◯財団主催の諸会議

◯法人賛助会員名簿

◯平成26年度寄付者名簿

◯役員名簿

財団主催の諸会議

会　議　名	開　催　日	議　　題
理事会		
第１回理事会	H26.　6.　9	（１）助成金選考委員会決定事項の件
		（２）収支管理システム、施設紹介サイトについて
		（３）評議員１名辞任の件
		（４）平成25年度事業報告の承認について
		（５）平成25年度収支決算報告の承認について
第２回理事会	H26.　11.　18	（１）平成26年度事業報告（7月以降）
第3回理事会	H27.　2.　6	（１）平成26年度（11月以降）事業報告の件
		（２）平成27年度事業計画の承認の件
		（３）平成27年度収計画の承認の件
評議員会		
第1回評議員会	H26.　6.　25	（１）平成25年度事業報告について
		（２）平成25年度収支決算書類承認の件
福祉助成金選考委員会	H26.　6.　19	平成26年度障がいのある大学生への奨学金選考の件
第15回小倉昌男賞選考委員会	H26.　10.　16	第15回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の選考について
福祉助成金選考委員会	H27.　3.　25	平成26年度福祉助成金の選考について

寄附金寄贈者名簿

（敬称略：順不同）

寄付者名	寄付者名	寄付者名	寄付者名
町　田　　武	鈴　木　一　義	沖　田　考　正	瀬　戸　　薫
原　田　芳　枝	大　川　誠　一	野　村　信　弘	広島ケナフの会
ヤマトキャリアサービス㈱都城	㈱　ポ　ピ　ン　ズ	ヤマトホールディングス㈱	

夏季カンパ

寄　付　者　名
ヤマト運輸労働組合

賛助会員数一覧

（2015.3.31現在）

	会員数
ヤマト運輸㈱	55,728
ヤマトシステム開発㈱	2,065
ヤマトオートワークス㈱	1,253
ヤマトホームコンビニエンス㈱	1,077
ヤマトボックスチャーター㈱	983
ヤマトグローバルエキスプレス㈱	766
ヤマトロジスティクス㈱	651
ヤマトマルチチャーター㈱	375
ヤマトフィナンシャル㈱	364
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン㈱	348
湖南工業㈱	313
沖縄ヤマト運輸㈱	256
ヤマトパッキングサービス㈱	138
ヤマトマルチメンテナンスソルーションズ㈱	135
ヤマトマネージメントサービス㈱	127
ヤマトコンタクトサービス㈱	109

	会員数
ヤマト・スタッフ・サプライ㈱	107
ヤマトホールデイングス㈱	103
ヤマトクレジットファイナンス㈱	94
ヤマトリース㈱	92
ヤマト運輸労働組合	41
神戸ヤマト運輸㈱	38
ヤマト包装技術研究所㈱	23
ボックスチャーター㈱	19
ヤマトグループ健康保険組合	18
ヤマトオートワークス北信越㈱	16
ヤマトオートワークス岩手㈱	10
ヤマトダイアログメディア㈱	4
エキスプレスネットワーク㈱	3
㈱スワン	1
ヤマトオートワークス沖縄㈱	1
合　　計	65,258

役　員　名　簿

理事・監事

平成27年6月末現在

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	理事長	瀬戸　　薫	ヤマトホールディングス株式会社　取締役相談役
2	理事	渡辺　　修	元環境事務次官
3	同	吉村　久夫	株式会社日経BP　参与
4	同	町田　　武	元三郷市教育委員会　教育委員長
5	同	池田　輝彦	みずほ信託銀行株式会社　顧問
6	同	藤掛　稔子	
7	同	森下　明利	ヤマト運輸労働組合　中央執行委員長
8	同	早川　雅人	ヤマト福祉財団常務理事

NO		氏　　名	役　　職
1	監事	神保　清一	元ヤマト運輸株式会社代表取締役専務執行役員
2	同	新里　智弘	公認会計士

評議員

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	評議員	嘩道　永一	鎌倉市開発建築紛争調停委員
2	同	今野　由梨	ダイヤル・サービス株式会社　代表取締役社長
3	同	藤井　克徳	きょうされん　専務理事
4	同	遠藤　英男	元ヤマト運輸株式会社　監査役
5	同	内田　五郎	元ヤマトシステム開発株式会社　代表取締役社長
6	同	吉井　　毅	元新日本製鉄（現新日本住金）株式会社代表取締役副社長
7	同	上杉　郷一	ヤマト運輸労働組合　副中央執行委員長
8	同	川田　　博	元ヤマトホールディングス株式会社　監査役

福祉助成金選考委員

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	選考委員	朝日　雅也	埼玉県立大学　保健医療福祉学部　社会福祉学科　教授
2	同	大谷　友樹	ヤマトホールディングス株式会社　上席執行役員
3	同	柴崎　憲二	元ヤマト運輸株式会社　監査役
4	同	上杉　郷一	ヤマト運輸労働組合　副中央執行委員長
5	同	瀬戸　　薫	ヤマトホールディングス株式会社　取締役相談役

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	選考委員	瀬戸　　薫	ヤマトホールディングス株式会社　取締役相談役
2	同	藤井　克徳	きょうされん　専務理事
3	同	今野　由梨	ダイヤル・サービス株式会社　代表取締役社長
4	同	渡辺　　修	元環境事務次官
5	同	森下　明利	ヤマト運輸労働組合　中央執行委員長

平成27年度事業計画書、同収支予算書

平成27年度　事業計画書

（自・平成27年4月1日～至・平成28年3月31日）

はじめに

平成25年度から始まった「夢へのかけ橋プロジェクト」は、フォーラム・塾・モデル化資金を組み合わせた三位一体のしくみで実施しています。3年目にあたる平成27年度は、実践塾では第1期塾生が卒業を迎えるため、第2期塾生を募集します。第2期塾は、業態に特化した塾として実施いたします。

「組織やしくみを変えると考え方や行動が変わる」・「経済的自立力を備えた新しい福祉に向かって」とプロジェクトで掲げた考え方で、より多くの人たちが行動を起すよう推進していきます。また、農業分野での実績を重ねた小倉昌男賞受賞者が増え、農業分野での経済的な自立の可能性が高まってきていることから、先行実証プロジェクトを立ち上げます。

助成金については、給料増額支援助成金の内容を充実して、上限100万円助成枠を上限200万円助成枠に変更し、助成総額も増額します。

（公1）助成事業　　（１５５,０００千円）

（1）奨学金　　（２４,０００千円）

（2）助成金　　（１２６,０００千円）

①　障がい者福祉に関する助成（講演会・研修・文化・スポーツ等）　　（１０,０００千円）

②　給料増額支援助成金（障がい者の給料増額につながる設備・備品購入）　（１１５,０００千円）

③　助成金説明会（全国4・5箇所予定）　　（1,０００千円）

（3）諸経費（調査費・贈呈式他費用）　　（5,０００千円）

（公2）研修・育成事業　　（９２,６００千円）

（1）セミナー事業　　（１３,０００千円）

「夢へのかけ橋プロジェクト」として実践塾と連動したフォーラムを東京、大阪の2箇所で開催します。開催にあたり基調報告・小倉昌男賞受賞者による講演に加えて小倉昌男賞受賞者による塾の実施報告、助成金事業の成果報告やビデオ・シンポジウムで構成して実施します。

（2）雇用促進事業　　（7,１００千円）

メール便リニューアルへの対応やヤマト自立センターの活動支援により障がい者就労の拡大を図ります。

（3）育成プロジェクト　　（７２,５００千円）

「夢へのかけ橋プロジェクト」として、より高い工賃を達成することに特に強い意欲のある指導者を集め、小倉昌男賞受賞者による実践塾を開講します。現在開講している4つの塾のうち3塾が期間を終了しますので、再度3塾を公募し、4塾による実践塾を実施します。また、前年に引き続き、先行的・先駆的な取り組みを支援しモデル化するための資金を塾参加施設の申請に応じて提供します。更に塾参加者を対象としてクラウド型管理会計システムを無償提供し、工賃向上のための担当者の取り組みをサポートします。

加えて、農業分野での事業可能性について検証するため、休耕田・耕作放棄地を利用した水稲栽培に少人数で取り組み、商品化と販売を行います。

① 会場費	（5,０００千円）
② 講師費用	（1,５００千円）
③ 事業改革モデル化資金	（４０,０００千円）
④ 管理会計システム運用・改善費	（6,０００千円）
⑤ 諸経費（交通費等）	（１０,０００千円）
⑥ 水稲自然栽培検証プロジェクト	（１０,０００千円）

（公３）表彰事業　（9,０００千円）

（1）小倉昌男賞の贈呈　（9,０００千円）

障がい者就労施設や一般企業等にあって、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団　小倉昌男賞」を贈呈します。

（公４）広報・啓発等事業　（５３,５００千円）

（1）広報事業　（４１,０００千円）

財団ニュースを年4回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、インターネット等を通じて広く一般に啓発広報を行ないます。

（2）事業モデル別実践事例サイトの構築・運用　（4,５００千円）

平成26年度に立ち上げた「事業モデル別実践事例サイト」を運用し、優良事業所について成果を資料化して追加登録するほか、最新情報に更新します。

（3）啓発事業　（2,５００千円）

障がい者本人によるクロネコメール便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。

（3）その他事業（予備費）　（5,５００千円）

以上

平成27年度収支予算書

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（単位：千円）

科　　目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
Ⅰ　事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
（1）基本財産運用収入	85,800	—	85,800	76,800
①基本財産株式配当	85,800	—	85,800	76,800
②基本財産債券利息	0	—	0	0
③基本財産定期預金利息	—	—	—	—
（2）寄付金収入	50,000	—	50,000	50,000
①運用財産	50,000	—	50,000	50,000
②基本財産指定・(繰入増加)	0	—	0	0
（3）賛助会費収入	97,000	—	97,000	98,000
（4）雑収入	0	—	0	0
①受取利息	0	—	0	0
②雑収入	0	—	0	0
事　業　活　動　収　入　計	232,800	—	232,800	224,800
2．事業活動支出				
事業費支出	316,100	—	316,100	301,450
（公1）助成事業	155,000	—	155,000	131,000
①奨学金支給	24,000	—	24,000	24,000
②助成金	126,000	—	126,000	100,000
ⅰ福祉助成金	10,000	—	10,000	10,000
ⅱ給料増額支援助成金	115,000	—	115,000	85,000
ⅲ助成金説明会	1,000	—	1,000	5,000
③諸経費	5,000	—	5,000	7,000
（公2）研修・育成事業	92,600	—	92,600	101,450
①セミナー事業	13,000	—	13,000	24,000
ⅰ会場費	2,000	—	2,000	4,000
ⅱ運営費	4,500	—	4,500	6,000
ⅲビデオ作成費	3,500	—	3,500	3,000
ⅳ諸経費	3,000	—	3,000	11,000
②雇用促進事業	7,100	—	7,100	6,950
ⅰシステム費	600	—	600	450
ⅱ就労支援費	4,500	—	4,500	4,500
ⅲ諸経費	2,000	—	2,000	2,000
③育成プロジェクト	72,500	—	72,500	70,500
ⅰ会場費	5,000	—	5,000	7,000
ⅱ講師諸費	1,500	—	1,500	1,500
ⅲ事業改革モデル化資金	40,000	—	40,000	46,000
ⅳ管理会計ソフト運用費・改善費	6,000		6,000	6,000
ⅴ諸経費	10,000	—	10,000	10,000
ⅵ水稲自然栽培検証プロジェクト	10,000		10,000	0
（公3）表彰事業	9,000	—	9,000	9,000
①贈呈費	3,000	—	3,000	3,000
②会場費	2,000	—	2,000	2,000
③経費	4,000	—	4,000	4,000

科　　目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
（公４）広報・啓発等事業	53,500		53,500	55,000
①広報事業	41,000	—	41,000	35,000
ⅰホームページ運営費	2,000	—	2,000	1,000
ⅱ委託費	9,000	—	9,000	9,000
ⅲ諸経費	30,000	—	30,000	25,000
②事業モデル別実践事例サイトの構築・運用	4,500	—	4,500	10,000
ⅰ構築・運用費	4,000	—	4,000	9,500
ⅱ諸経費	500	—	500	500
③啓発事業	2,500	—	2,500	4,500
ⅰ会場費	1,000	—	1,000	1,000
ⅱ運営費	500	—	500	500
ⅲ共催・講演費	600	—	600	2,500
ⅳ諸経費	400	—	400	500
④その他事業	5,500	—	5,500	5,500
ⅰその他	5,000	—	5,000	5,000
ⅱ諸経費	500	—	500	500
（公５）復興・再生支援事業	0	—	0	0
①震災支援費	0	—	0	0
②諸経費	0	—	0	0
共通	6,000		6,000	5,000
①諸経費	6,000	—	6,000	5,000
管理費支出	—	13,700	13,700	15,610
①人件費	—	1,600	1,600	1,560
②福利厚生費	—	400	400	100
③旅費	—	1,300	1,300	2,000
④通信運搬費	—	3,000	3,000	4,000
⑤備品消耗品費	—	400	400	350
⑥図書印刷費	—	3,000	3,000	3,000
⑦事務室維持費	—	1,300	1,300	1,300
⑧事務機器賃借料	—	700	700	700
⑨会議費	—	1,000	1,000	1,000
⑩賦課金	—	100	100	100
⑪支払手数料	—	300	300	500
⑫雑費	—	600	600	1,000
事業活動支出計	316,100	13,700	329,800	317,060
Ⅱ　投資活動収支の部	0	0	0	0
Ⅲ　財務活動収支の部	0	0	0	0
Ⅳ　予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	-83,300	-13,700	-97,000	-92,260
前期繰越収支差額	—	—	97,000	92,260
次期繰越収支差額	—	—	0	0

※やむを得ぬ場合は、理事長は科目間の流用を行うことができる。